T-01A

ISSUE DATE: '09.11

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

ーWindows Mobile® 6.5 向けー

目次／注意事項
ご使用前の確認
電話
連絡先／PIM機能
あんしん設定
メール／Windows Live
ブラウザ
マルチメディア
ファイルの管理
パソコンとのデータ同期
アプリケーション
便利な機能
端末管理
データ通信／ワイヤレスLAN
文字入力
ネットワークサービス
海外利用
付録／困ったときには
索引

ドコモ
W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式

このたびは、「docomo PRO series T-01A」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。T-01Aはお客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本FOMA端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認のうえご利用ください。

本書についての最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
・「取扱説明書(PDFファイル)」ダウンロード
　http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

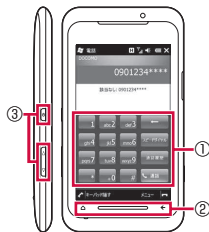
本書は、以下のような検索方法で知りたい機能を探せます。

索引から →P.210	機能の名称や、調べたい項目のキーワード、サービス名で探します。
表紙インデックスから	表紙右端のインデックスを使って、本書をめくりながら探します。

P.2～P.3で詳しく説明しています。

目次から →P.4	目的ごとに分類された目次から探します。
メニュー一覧から →P.186	FOMA端末に表示されるメニューから探します。

- この『T-01A取扱説明書』の本文中においては、「T-01A」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書では、ボタンやアイコンの表記を以下のように省略しています。

	実際のボタン／アイコン	本書での表記例
①	ディスプレイの +0	「0」をタップします。
②	タッチセンサーキー ←	←を押します。
	タッチセンサーキー ━	UIキーを画面の方向になぞります。
	タッチセンサーキー ⌂	⌂を押します。
③	ボタン ⏻	⏻を押します。
	ボタン △	▲を押します。
	ボタン ▽	▼を押します。

- 本書では、操作手順を以下のように表記しています。
タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指またはスタイラスペン（試供品）で軽く叩いて選択する動作です。

表記	意味
「スタート」→「設定」	ディスプレイ左上のまたは画面タイトル部分（ホーム画面ではスタート）をタップし、表示されるスタートメニューからをタップします。
「OK」、「×」をタップする	ディスプレイ右上のOK、×をタップします。

本書の見かた／引きかた（つづき）

「電話から鳴る音を消す（マナーモード）」の記載ページを探すときを例として説明します。

索引から

機能名やサービス名がわかっているときは索引から探します。

表紙インデックスから

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に設定したい機能の説明ページを探します。
章扉には詳しい目次も掲載されています。

- 操作説明の画面は、説明に必要な部分をクローズアップして記載していることがあります。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面と異なる場合があります。

目　次

本書の見かた／引きかた……………………………… 1
目次…………………………………………………… 4
T-01Aの主な機能 ………………………………… 6
安全上のご注意（必ずお守りください）………………… 8
本体付属品および主なオプション品について………… 17

ご使用前の確認 →P.19	•各部の名称と機能 •ホーム画面の見かた •メニューの選択方法などの基本操作 •FOMAカード •電池パックの取り付け／取り外し •充電 •電池残量の確認 •電源を入れる •初期設定 •日付と時刻の設定 •発信者番号通知　など
電話 →P.47	•電話をかける •履歴 •発信者番号の通知／非通知 •スマートダイヤル •スピードダイヤル •連絡先から電話をかける •プッシュ信号 •国際電話 •ハンズフリー •電話を受ける •音量の調節 •公共モード（ドライブモード／電源OFF） •着信音の設定　など
連絡先／PIM機能 →P.57	•連絡先（登録、確認、変更、削除、送信） •UIMマネージャー •電話帳コピーツール •仕事（登録、変更、削除、オプション設定、確認、送信） •予定表（登録、表示、オプション設定、変更、削除、送信） •メモ　など
あんしん設定 →P.69	•暗証番号の設定と変更 •デバイスロック •キー操作ロック •証明書の確認 •通話・通信機能のオン／オフ •おまかせロック　など
メール／Windows Live →P.77	•メールについて •メール（設定､送信､添付､受信､返信､転送） •SMSについて •SMSの送信、受信 •ｉモード.net モバイルモード •Windows Live　など
ブラウザ →P.89	•Webページ表示中の画面操作 •Internet Explorer Mobile（Webページの表示、URLの送信、画像の保存、コピー、ダウンロード、各種設定） •NetFront Browserの利用　など
マルチメディア →P.99	•静止画撮影 •動画撮影 •静止画や動画の整理 •音楽や映像の再生（Kinoma Play、Windows Media Player、PhotoBase、VideoEditor）　など

項目	内容
ファイルの管理／パソコンとのデータ同期 →P.111	•エクスプローラーについて •ファイルやフォルダーの操作 •microSDカード •データ検索 •USBホスト機能 •Microsoft My Phoneの利用 •パソコンとの同期　など
アプリケーション →P.123	•Word Mobile •Excel Mobile •PowerPoint Mobile •OneNote Mobile •Adobe Reader LE　など
便利な機能 →P.131	•電卓 •ゲーム •電子辞典 •GPS •いつもNAVI（無料地図） •検索ウィジェット •Marketplace •アラーム •音設定／通知音設定 •省電力モード •画面表示の変更　など
端末管理 →P.141	•障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る（スキャン機能） •プログラムのインストールと削除 •メモリ使用量の確認 •ボタンの操作調整 •バージョン情報の確認 •リセット（再起動） •マスタークリア　など
データ通信／ワイヤレスLAN →P.151	•パケット通信の利用 •ワイヤレスLAN機能の利用 •Bluetooth®機能の利用 •mopera U •Biz･ホーダイ／Biz･ホーダイ ダブル／Biz･ホーダイ シンプル　など
文字入力 →P.165	•文字の入力方法 •ATOK設定 •文字変換 •単語登録 •学習データのリセット　など
ネットワークサービス →P.171	•留守番電話サービス •キャッチホン •転送でんわサービス •迷惑電話ストップサービス •番号通知お願いサービス •OFFICEED　など
海外利用 →P.177	•国際ローミング（WORLD WING）の概要 •海外でご利用になる前の確認 •滞在先での電話のかけかた／受けかた •海外で利用するための設定　など
付録／困ったときには →P.185	•メニュー一覧 •利用できるサービス •オプション・関連機器のご紹介 •こんな表示が出たら •故障かな？と思ったら、まずチェック •保証とアフターサービス •ソフトウェア更新 •主な仕様 •携帯電話の比吸収率（SAR）について •知的財産権について　など
索引 →P.209	•索引

T-01Aの主な機能

T-01Aは、NTTドコモのFOMA端末です。FOMAは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

高速通信対応 →P.152

- FOMAハイスピードエリア対応で、最大受信速度7.2Mbps、最大送信速度384kbpsでデータの送受信を行います。
  ※最大7.2Mbps・最大384kbpsとは、規格上の最大値であり、実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するときは、通信速度が遅くなる場合があります。

国際ローミング →P.177

- 日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号が海外でもそのまま使えます（GSM・GPRS・3Gエリアに対応）。音声電話やSMSなどを利用できます。

Windows Mobile® 6.5を搭載

- Windows Mobile® 6.5の搭載により、パソコンとのデータ連携やWindows Liveなどのサービスを利用できます。

メール →P.77

- ドコモの携帯電話とSMSのやり取りができます。
- mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、メールアカウントの設定を簡単に行えます。
- ｉモード.net モバイルモードを使って、ｉモード端末やパソコンなどと電子メールのやり取りができます。

ブラウザ →P.89

- パソコン向けのインターネットホームページを見ることができます。
- Internet Explorer MobileとNetFront Browserの2つのブラウザを利用できます。

ワイヤレス通信

- ワイヤレスLAN機能を使って自宅や会社のネットワークに接続したり、公衆無線LANサービスを利用してインターネットにアクセスできます。 →P.154
- Bluetooth対応機器とデータを送受信したり、ハンズフリーで通話したりできます。 →P.158

タッチパネルとモーションコントロールを利用した便利な操作 →P.31

- ディスプレイの項目を指で直接タップして選択したり、指でなぞって画面をスクロールしたりできます。
- FOMA端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示に切り替えることができます。
- UIキー（P.20）の中央部を押さえながらFOMA端末を左右に傾けて、ホーム画面のストライプを切り替えたり、ブラウザの戻る／進む操作を行うことができます。
- FOMA端末を振って指定した動作を実行したり、背面を2回叩いてタスクマネージャーを起動できます。
- 画面上にフローティングパッドを表示して、パソコンのマウス操作と同じようにポインタを動かしたり、上下左右キーでカーソルを移動したりできます。

ホーム画面（Stripe Menu） →P.21

- 時計やカレンダー、作業中の仕事などをガジェット（情報表示パネル）に表示することができます。
- 電話の不在着信やメール受信、アラーム設定時刻になったことをInformationガジェットでお知らせします。
- カテゴリ別に機能が割り当てられたストライプを左右（横画面表示のときは上下）になぞって、すばやく切り替えることができます。
- よく使う機能やファイル、お気に入りなどをサムネイルに割り当てて、呼び出すことができます。

セキュリティ

- 一定時間何も操作をしない状態が続いた場合、ほかの人が使用できないようにパスワードでロックすることができます。 →P.72
- microSDカードにデータを保存するとき、データを暗号化して保存できます。 →P.114
- 外部からFOMA端末に取り込んだファイルを検知して、障害を引き起こす可能性を含むファイルの削除や通知をすることができます。 →P.142

連絡先／PIM機能 →P.57

- 「連絡先」には名前、電話番号、メールアドレスなどの個人データを登録することができます。
- 「連絡先」でメールグループを登録して電子メールやSMSメッセージを送信できます。
- 仕事の状況確認や予定の登録など、スケジュール管理ができます。
- 連絡先や仕事、予定表、メモはパソコンのMicrosoft Outlookと同期を取ることができます。

カメラ機能 →P.100

- タッチパネルと専用のカメラボタンを利用した簡単な操作で静止画や動画を撮影できます。
- オートフォーカス機能によりピント合わせが自動的に行われます。
- 撮影した静止画や動画は、「画像とビデオ」で整理することができます。

音楽や動画の再生 →P.104

- タッチパネルを利用した簡単な操作で、音楽、静止画、動画の再生ができます。
- Windows Media Playerで音楽や動画の再生ができます。パソコンのライブラリと同期することもできます。
- Kinoma Playを使用して、FOMA端末内やWeb上にある音楽やビデオ、写真などを簡単に再生したり、ポッドキャストやRSSリーダーに登録したサイトの最新情報を取得できます。

Officeアプリケーション →P.123

- Word Mobileで新規文書を作成したり、Excel Mobileで新規ファイルを作成したりできます。また、パソコンで作成したWordファイル、Excelファイル、PowerPointファイルを見ることもできます。

便利なツール

- 国語辞書や英和・和英辞書を利用できます。 →P.132
- 「いつもNAVI（無料地図）」は、今いる場所を確認し、周辺情報を検索することができます。 →P.134
- Windows Marketplace for Mobileから好みのアプリケーションをダウンロードして、FOMA端末にインストールすることができます。 →P.135

文字入力機能 →P.165

- 画面上に文字入力パッドを表示して、文字を入力します。3種類のT-Keyboard（QWERTYパッド／数字･記号パッド／10キーパッド）をすばやく切り替えながら入力できます。
- 推測変換を利用して効率よく日本語の入力ができます。

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）※ →P.172
- キャッチホン（有料）※ →P.173
- 転送でんわサービス（無料）※ →P.174
- 迷惑電話ストップサービス（無料） →P.175

※お申し込みが必要です。

T-01Aをご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA端末はｉアプリには対応しておりません。
- 本FOMA端末では、定額制料金サービス「パケ･ホーダイ」／「パケ･ホーダイフル」／「パケ･ホーダイ ダブル」はご利用いただけません。大量のパケット通信を行う場合には、「Biz･ホーダイ」／「Biz･ホーダイ ダブル」／「Biz･ホーダイ シンプル」のご契約をおすすめします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。	水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器、充電用変換ケーブル含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）… P.8
2. FOMA端末の取り扱いについて …………………………… P.9
3. 電池パックの取り扱いについて …………………………… P.10
4. アダプタ（充電器、充電用変換ケーブル含む）の取り扱いについて ……………………………………… P.11
5. FOMAカードの取り扱いについて ………………………… P.12
6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて ……………… P.12

1.FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器、充電用変換ケーブル含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険	
禁止	**火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。** 機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。 また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。
分解禁止	**分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。** 火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
水濡れ禁止	**濡らさないでください。** 水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。
指示	**T-01Aに使用する電池パックおよびアダプタ（充電器、充電用変換ケーブル含む）は、NTTドコモが指定したものを使用してください。** 指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、発火、故障させる原因となります。

⚠警告	
禁止	**電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器、充電用変換ケーブル含む）、FOMAカードを入れないでください。** 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器、充電用変換ケーブル含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

⚠警告

禁止	**強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。** 電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。
禁止	**外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。** ショートによる火災や故障の原因となります。
指示	**ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。** **また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。**
電源プラグを抜く	**使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。** **1.電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。** **2.FOMA端末の電源を切る。** **3.電池パックをFOMA端末から取り外す。** そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パック漏液の原因となります。

⚠注意

禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。** 落下して、けがや故障の原因となります。
禁止	**湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。** 故障の原因となります。
指示	**子供が使用する場合は､保護者が取り扱いの内容を教えてください｡また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。** けがなどの原因となります。
指示	**乳幼児の手の届かない場所に保管してください。** 誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

⚠注意

指示	**FOMA端末をアダプタ（充電器、充電用変換ケーブル含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。** **充電しながらゲームなどを長時間行うと、FOMA端末や電池パック、アダプタ（充電器、充電用変換ケーブル含む）の温度が高くなることがあります。** 温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

2.FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止	**エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。** エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。
禁止	**医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。** FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。
禁止	**FOMA端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。** 火災、感電、故障の原因となります。
指示	**航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。** 電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。 医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
指示	**ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。** **また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し､ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。** 音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

次ページへ続く

⚠警告

 指示	**心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。** 心臓に影響を与える可能性があります。
 指示	**屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。** 落雷、感電の原因となります。
 指示	**高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。** 電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。 ※ご注意いただきたい電子機器の例 補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
 指示	**万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。** ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

 禁止	**ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。** 本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。
禁止	**モーションコントロール（モーションセンサー）ご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。** モーションコントロール（モーションセンサー）は、FOMA端末を傾けたり振ったりして操作をする機能です。振りすぎなどが原因で、人や物などに当たり、重大な事故や破損などにつながる可能性があります。
 禁止	**FOMA端末に金属製などのストラップを付けている場合は、モーションコントロール（モーションセンサー）ご利用の際、ストラップが人や物などに当たらないようご注意ください。** けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

⚠注意

 禁止	**誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。** **液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。** **また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。** 失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
 禁止	**着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。** 難聴になる可能性があります。
 指示	**自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。** 安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。
 指示	**お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。** 下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
電源ボタン 音量ボタン カメラボタン	ポリカーボネート	アルミ蒸着＋UVコーティング
FOMA端末側面（周囲）の銀	ポリカーボネート	スズ蒸着＋UVコーティング

3.電池パックの取り扱いについて

■**電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険	
禁止	**端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。** 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
禁止	**電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。** **また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。** 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
禁止	**火の中に投下しないでください。** 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
禁止	**釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。** 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
指示	**電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。** 失明の原因となります。

⚠警告	
禁止	**落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。** 電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。
指示	**所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。** 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
指示	**電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。** 漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。
指示	**ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。** 電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

⚠注意	
禁止	**一般のゴミと一緒に捨てないでください。** 発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。
禁止	**濡れた電池パックを充電しないでください。** 電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。
指示	**電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。** 皮膚に傷害を起こす原因となります。

4.アダプタ（充電器、充電用変換ケーブル含む）の取り扱いについて

⚠警告	
禁止	**アダプタ（充電器、充電用変換ケーブル含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。** 感電、発熱、火災の原因となります。
禁止	**ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。** 感電の原因となります。
禁止	**DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。** 火災の原因となります。
禁止	**雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器、充電用変換ケーブル含む）には触れないでください。** 落雷、感電の原因となります。
禁止	**充電中は、安定した場所で行ってください。また、充電器、充電用変換ケーブルを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。** FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

次ページへ続く

⚠警告	
禁止	**アダプタ（充電器、充電用変換ケーブル含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。** 感電、火災の原因となります。
濡れ手禁止	**濡れた手でアダプタ（充電器､充電用変換ケーブル含む）のコード、コンセントに触れないでください。** 感電の原因となります。
指示	**指定の電源、電圧で使用してください。** 誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。 ACアダプタ：AC100V DCアダプタ：DC12V･24V（マイナスアース車専用） 海外で利用可能なACアダプタ：AC100V～240V （家庭用交流コンセントのみに接続すること）
指示	**DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。** 指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。
指示	**電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。** 火災の原因となります。
指示	**ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。** 感電、ショート、火災の原因となります。
指示	**アダプタ（充電器､充電用変換ケーブル含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は､アダプタ（充電器､充電用変換ケーブル含む）のコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。** コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。
電源プラグを抜く	**長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。** 感電、火災、故障の原因となります。

⚠警告	
電源プラグを抜く	**万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。** 感電、発煙、火災の原因となります。
電源プラグを抜く	**お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。** 感電の原因となります。

5.FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意	
指示	**FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。** 手や指を傷つける可能性があります。

6.医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告	
指示	**医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。** ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。 ・病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。 ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。 ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。 ・自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

⚠警告	
指示	**満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。** 電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
指示	**植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。** 電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
指示	**自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。** 電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **水をかけないでください。**
  FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器、充電用変換ケーブル含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。
  なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。**
  ・FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
  ・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

次ページへ続く

- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **FOMA端末、アダプタ（充電器、充電用変換ケーブル含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を爪やボールペン、ピンなど先の尖ったものや、指で強く押さないでください。**
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～35℃、湿度は35%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ･ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となります。
- **microSDカード、USBメモリ機器などの使用中は、microSDカード、USBメモリ機器などを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを長期保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  ・満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  ・電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管
  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

  長期保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が1本または2本の状態をお勧めします。

アダプタ（充電器、充電用変換ケーブル含む）についてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

- 次のような場所では、充電しないでください。
  ・湿気、ほこり、振動の多い場所
  ・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電器、充電用変換ケーブル含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。
  故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け/取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- 極端な高温･低温は避けてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
  FOMA端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

  2.4FH1/DS4/OF4
  ▬ ▬ ▬

  2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
  FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。
  1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
  4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
  ▬ ▬ ▬：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
  利用可能なチャンネルは国により異なります。
  航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

次ページへ続く

- Bluetooth機器使用上の注意事項
  本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
  1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

- 無線LANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - ・近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 2.4GHz機器使用上の注意事項
  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
  3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。

注意

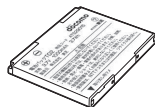
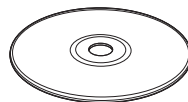
- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されています。
  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。
  技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。
- **Bluetooth機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **無線LAN（WLAN）機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。

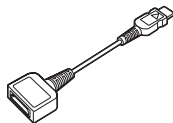
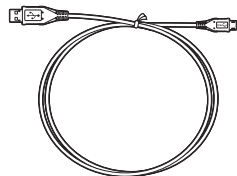
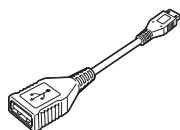
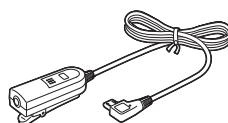
本体付属品および主なオプション品について

■本体付属品

T-01A
（リアカバー T02、保証書含む）

取扱説明書（本書）

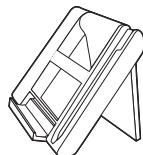
電池パック T02

CD-ROM（1枚）

「お使いになる前にディスク」は、本FOMA端末をパソコンと同期させるソフトウェアが収録されています。

FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01

PC接続用USBケーブル T01

周辺機器接続用USBケーブル T01

イヤホン変換アダプタ（マイク／スイッチ付）T01（保証書含む）

■試供品

スタイラスペン※（1本）

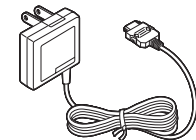
専用シリコンケース※

クリーナー※

立て掛けスタンド※

microSDHCカード※（8GB／T）

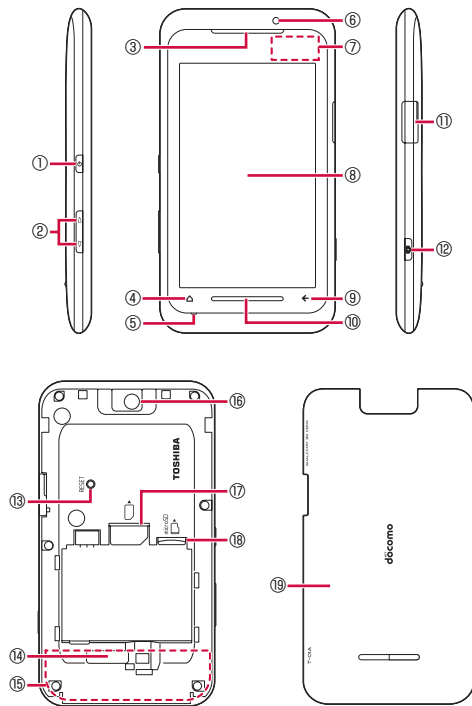
※取扱説明書付き

■主なオプション品

FOMA ACアダプタ 01／02
（保証書・取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.190

ご使用前の確認

各部の名称と機能 20
ホーム画面について .... [Stripe Menu] 21
Windows MobileのToday画面を設定する 28
NetFront Widgets Playerについて
.... [NetFrontWidgetsPlayer] 28
スタートメニューから機能を起動する
.... [スタートメニュー] 29
機能の操作方法を確認する .... [ヘルプ] 30
タッチパネルとモーションコントロールの使いかた ... 31
モーションセンサーを設定する 34
フローティングパッドの使いかた 34
プログラムを切り替える／終了する
.... [タスク マネージャー] 36
FOMAカードを使う 37
電池パック、リアカバーの取り付けかた／取り外しかた ... 38
充電する 40
電池残量の確認のしかた .... [電池残量] 42
電源を入れる／切る .... [電源ON／OFF] 42
初期設定を行う 43
日付と時刻を設定する 44
相手に自分の電話番号を通知する
.... [発信者番号通知設定] 45
自分の電話番号を確認する .... [自局番号表示] 45
オーナー情報を編集する .... [オーナー情報] 45

各部の名称と機能

	名称	説明
①	電源ボタン	長く押して電源をオン／オフします（P.42）。 短く押してスリープモードを設定／解除します。
②	音量ボタン ／	相手の声やスピーカーの音量を調節します（P.53）。 を1秒以上押して、キー操作ロックを設定します（P.72）。 モーションセンサー設定の縦横表示切り替えが無効のとき（P.34）、を1秒以上押して画面の縦横表示を切り替えます。
③	受話口	相手の声が聞こえます。
④	ホームキー	ホーム画面（Today画面）に戻ります。ホーム画面（Today画面）表示中にNFWidgetsPlayer画面（ウィジェットデスクトップ）に切り替えます。
⑤	送話口	自分の声をここから送ります。録音するときはマイクになります。
⑥	お知らせLED	・赤色点灯：充電中 ・青色点滅：電話着信中や不在着信通知があるとき、アラーム動作中など ・緑色1回点灯：電源オン ・緑色点滅：スリープモード
	照度センサー	周囲の明るさを検知して、ディスプレイのバックライトの明るさを自動調節します。
⑦	感圧センサー	感圧式タッチパネル端末のため、ここに感圧センサーが入っています。 ※感圧センサーが入っているため、この部分が凹凸している場合があります。
⑧	ディスプレイ	指またはスタイラスペン（試供品）でなぞって画面をスクロールしたり、項目をタップして選択します。
⑨	バックキー	画面右上に表示される「OK」や「×」をタップしたのと同じ動作を行います。
⑩	UIキー	画面の方向になぞってフローティングパッド（P.34）を起動します。 中央部を押さえながらFOMA端末を左右に傾けて、ホーム画面のストライプを切り替えたり、Webページを戻したり進めたりします。 Webページ表示中などに左右になぞって表示を縮小／拡大できます。

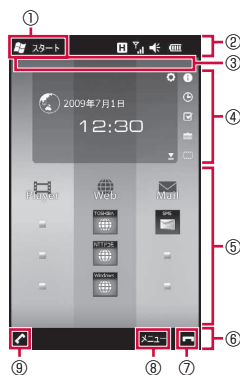
	名称	説明
⑪	外部接続端子	付属のPC接続用USBケーブル T01やイヤホン変換アダプタ（マイク／スイッチ付）T01などを接続します。
⑫	カメラボタン	長く押してカメラを起動します。 撮影画面でシャッターキーとして使用したり、動画撮影を開始／終了します。
⑬	RESETボタン	スタイラスペン（試供品）の先で押して、FOMA端末をリセット（再起動）します（P.148）。
⑭	スピーカー	着信音や音楽の再生音、スピーカーホン利用中に相手の声が聞こえます。
⑮	内蔵アンテナ部分	アンテナが内蔵されています。よりよい条件で通話するために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。
⑯	カメラ	静止画や動画を撮影します（P.100）。
⑰	FOMAカード挿入口	FOMAカードを挿入します（P.37）。
⑱	microSDカード挿入口	microSDカードを挿入します（P.113）。
⑲	リアカバー	－

おしらせ

● 本FOMA端末には、ストラップの取り付け部はありません。

ホーム画面について

[Stripe Menu]

電源を入れるとホーム画面(Stripe Menu)が表示されます。ホーム画面は、を押すかスタートメニューから「Today」をタップして呼び出すことができます。

①スタートメニューを表示します(P.29)。

②**タイトルバー**
FOMA端末の状態を示すアイコンが表示されます（P.22）。

③**事業者名表示エリア**
ローミング中に事業者名を表示できます（P.181）。

④**ガジェットエリア**
4種類のガジェット（情報表示パネル）を切り替えて表示できます（P.23）。

⑤**ストライプエリア**
機能やデータを呼び出します(P.25)。

⑥**メニューバー**
起動中のプログラムや表示中の画面に対応するボタンが表示されます(P.23)。

⑦通話を終了します。表示中の画面を閉じてホーム画面に戻ります。

⑧ストライプとサムネイルの設定をします（P.27、P.28）。

⑨電話画面を表示します（P.48）。

おしらせ

● ホーム画面をWindows MobileのToday画面に変更できます（P.28）。

タイトルバーに表示されるアイコン

タイトルバーにはFOMA端末の状態を示すアイコンが表示されます。アイコンをタップして音量の調節や接続設定などの操作を行うことができます。

通知アイコン
不在着信（P.49）
新着メール（P.81）
新着SMS（P.83）／留守番電話サービスの着信通知（P.172）
伝言メッセージあり（P.172）
新着インスタントメッセージ（P.86）
マイクロソフト社からの通知
パターンデータの更新失敗（P.145）
FOMA端末のSMSメモリフル（P.83）
ビーム受信（P.160）
Bluetooth ヘッドセット接続中（P.158）
Bluetooth データ受信中（P.158）
ワイヤレスLAN検出（P.155）
スピーカーホン オン（P.52）
アラーム動作中（P.136）
公共モード（ドライブモード）（P.54）
重複通知：通知アイコンが重複している場合（アラーム動作中と不在着信など）に表示されます。タップすると、隠れているアイコンを確認できます。

ローミングアイコン
ローミング中（P.178）
GPRS使用可能
EDGE使用可能
3G（パケット）ネットワークエリア（P.82、P.97）／3G（パケット）ネットワークエリア準備中
HSDPA使用可能（P.82、P.97）／HSDPA準備中

データアイコン
ワイヤレスLAN機能オン（P.155）
ワイヤレスLAN接続中（P.155）
データ通信オフ（P.73）
USB接続中（P.119）
パソコンと同期中（P.120）

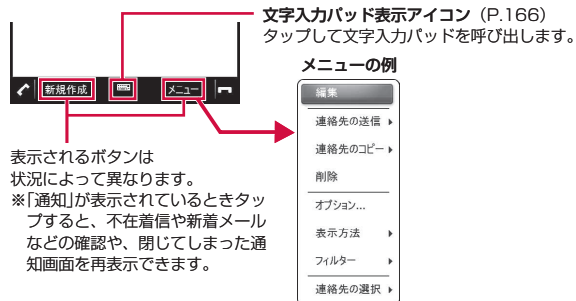
電波アイコン
電波状態（P.42）
圏外（P.42）
電話サービス検索中（P.43）
電話機能オフ（P.73）
GPRS接続中
EDGE接続中
3G（パケット）接続中
HSDPA接続中
GPRS使用中
EDGE使用中

	3G（パケット）使用中
	HSDPA使用中
	音声通話（P.48）
	データ通信接続中
	通話保留中（P.48）
	FOMAカード未挿入（P.37）
音量アイコン	
	マナーモード（バイブのみ）（P.56）
	マナーモード（バイブなし）（P.56）
	スピーカーオン（P.53）
電池レベルアイコン	
	電池レベル（P.42）
	充電中（P.40）
閉じる／OKボタン	
ホーム画面（Today画面）以外の操作画面に表示されるアイコンです。	
×	表示中の画面を閉じます。すべての画面を閉じるとホーム画面（Today画面）に戻ります。
OK	表示されている内容を確認して画面を閉じます。

おしらせ

- プログラムを起動したあと、「×」や「OK」をタップして画面を閉じてもプログラムは起動したままになっています。とくにInternet Explorer MobileやNetFront Browserが起動したままになっていると、自動でインターネットに再接続されることがありますのでご注意ください。起動したプログラムは、タスクマネージャーを使って終了します（P.36）。

メニューバーについて

メニューバーには、起動中のプログラムや表示中の画面に対応するボタンが表示されます。ボタンをタップすると、そのとき利用できる機能やメニューを呼び出すことができます。

ガジェットを利用する

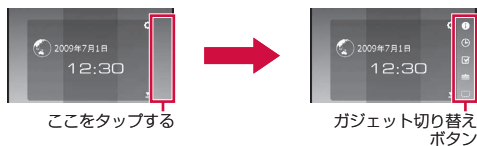
ガジェットエリアでは、以下の4種類の情報表示パネル（ガジェット）を切り替えて表示できます。

ガジェット	説明
Information	未読メールと不在着信の件数、およびアラーム設定あり／なしを表示します。 メール受信時や電話の不在着信時、およびアラーム設定時刻になると、ガジェットは自動的にInformationに切り替わります。
世界時計	1都市（現在地）または2都市（現在地と訪問先）の時刻を表示します。
To Do	作業中の仕事を、期限が近く優先度の高いものから順に3件まで表示します。
カレンダー	1か月のカレンダーを表示します。

ガジェットを切り替える

1 ガジェットエリアの右をタップする

- 横画面表示のときは、ガジェットエリアの上をタップします。

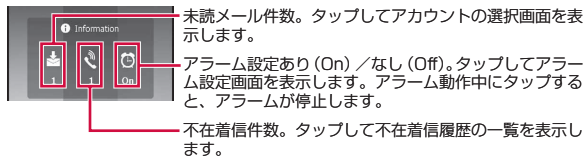
ガジェット切り替えボタンが表示されます。

2 ガジェット切り替えボタンをタップして、ガジェットを切り替える

- ：Information
- ：世界時計
- ：To Do
- ：カレンダー
- ：ガジェットが非表示になります。

ガジェット「Information」を操作する

未読メール件数。タップしてアカウントの選択画面を表示します。

アラーム設定あり（On）／なし（Off）。タップしてアラーム設定画面を表示します。アラーム動作中にタップすると、アラームが停止します。

不在着信件数。タップして不在着信履歴の一覧を表示します。

ガジェット「世界時計」を操作する

- 日付と時刻の設定についてはP.44、アラームの設定についてはP.136を参照してください。

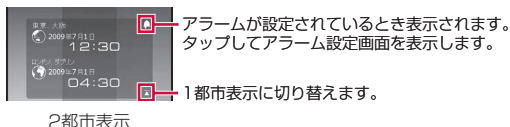
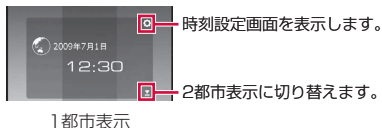
時刻設定画面を表示します。

2都市表示に切り替えます。

1都市表示

アラームが設定されているとき表示されます。タップしてアラーム設定画面を表示します。

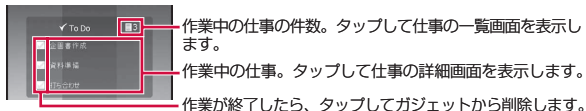
1都市表示に切り替えます。

2都市表示

ガジェット「To Do」を操作する

- 仕事の登録についてはP.61を参照してください。

作業中の仕事の件数。タップして仕事の一覧画面を表示します。

作業中の仕事。タップして仕事の詳細画面を表示します。

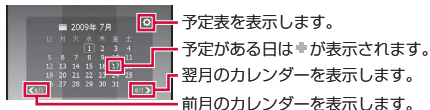
作業が終了したら、タップしてガジェットから削除します。

ガジェット「カレンダー」を操作する

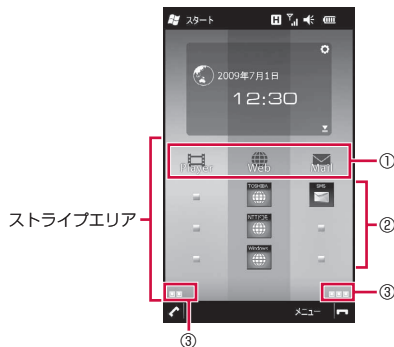
- 予定の登録についてはP.63を参照してください。

予定表を表示します。

予定がある日は■が表示されます。

翌月のカレンダーを表示します。

前月のカレンダーを表示します。

ストライプエリアの操作

ストライプエリアは、カテゴリ別に機能が割り当てられた8本のストライプから構成されています。ストライプを左右（横画面表示のときは上下）になぞると、隠れているストライプを表示できます（P.32）。

①機能ランチャー

あらかじめ設定された機能やメニューを呼び出します。

②サムネイルエリア

サムネイルには、ストライプごとに直近に使用した項目またはユーザーが指定した項目が割り当てられます。通常3個のサムネイルが表示されていますが、ガジェットの方向になぞって残りのサムネイルを表示できます（P.32）。

③ストライプガイド

ストライプを切り替えるとき、左右（横画面表示のときは上下）に隠れているストライプの数を確認できます。

おしらせ

- ストライプの並び順やカラーパターンを変更できます（P.28）。

機能ランチャーについて

機能ランチャーから呼び出せる機能やメニューは以下のとおりです。

機能ランチャー	呼び出される機能／メニュー	
Tools	ActiveSync（P.120）、電卓（P.132）、予定表（P.63）、メモ（P.66）、検索（P.115）、UIMマネージャー（P.60）	
Settings	アラーム（P.136）、ロック（P.72）、ワイヤレスマネージャー（P.73）、オーナー情報（P.45）、タスクマネージャー（P.36）、マナーモード（P.56）、公共モード（P.54、P.55）、ネットワークサービス（P.45、P.172）、東芝Help（P.30）	
	簡単接続設定	ネットワーク設定（P.153）、Wi-Fi設定（P.156）
	各種設定	音設定（P.136）、通知音設定（P.137）、モーションセンサー設定（P.34）、時計（P.44）、スリープモードLED設定（P.43）、動画質設定（P.108）、ブラウザ設定（P.96）、省電力設定（P.137）、事業者名表示（P.181）、フローティングパッド設定（P.35）、モーションセンサー調整（P.34）
Player	Windows Media Player（P.105）	
Web	Internet Explorer Mobile（P.92）	
Mail	アカウントの選択画面（P.79）	
Applications	アプリケーション画面（プログラムの一覧画面）※	
Phone	電話画面（P.48）	
Data Folder	エクスプローラー（P.112）	

※ユーザーによるカスタマイズが可能です（P.26）。

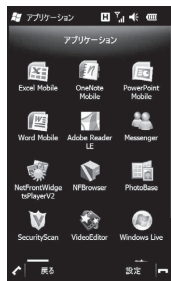
アプリケーション画面をカスタマイズする

WM6.5 初期設定内容	Excel Mobile、OneNote Mobile、PowerPoint Mobile、Word Mobile、Adobe Reader LE、Messenger、NetFrontWidgetsPlayerV2、NFBrowser、PhotoBase、SecurityScan、VideoEditor、Windows Live、いつもNAVI（無料地図）、画像とビデオ、仕事、電子辞典、電話帳コピーツール

機能ランチャー「Applications」をタップして表示されるアプリケーション画面（プログラムの一覧画面）をカスタマイズできます。最大24個のプログラムをリストから選択して登録できます。また、登録の解除や項目の並べ替えができます。

1 ホーム画面で「Applications」をタップする

- 「Applications」が表示されていないときは、ストライプを左右（横画面表示のときは上下）になぞって表示させてください。

アプリケーション画面が表示されます。

「Applications」をタップする　　アプリケーション画面

2 「設定」をタップする

アプリケーション設定画面が表示されます。

アプリケーション設定画面

3 プログラム選択リストで登録したい項目を選択し、「追加」をタップする

■登録を解除する場合

プログラム設定リストで項目を選択し、「外す」をタップします。

■項目を並べ替える場合

プログラム設定リストで項目を選択し、⬆／⬇をタップします。

4 「OK」をタップする

カスタマイズした画面が表示されます。

おしらせ

- 項目をタップしてドラッグモードに切り替えて、そのまま指を離さずドラッグすることもできます。

サムネイルについて

サムネイルには、直近に使用した項目またはユーザーが指定した項目を、各ストライプに最大10個（Toolsのみ最大6個）ずつ割り当てることができます。サムネイルに割り当てられる機能やデータの種類は、ストライプごとに異なります。

ストライプ	サムネイルに割り当てられる機能やデータ
Tools	「Tools」をタップして表示される項目のうち、最近使った項目またはユーザーが指定した項目
Settings	「Settings」をタップして表示される項目のうち、最近使った項目またはユーザーが指定した項目
Player	マイデバイス内のWindows Media Playerで再生可能なファイル（P.105）および再生リスト
Web	Internet Explorer Mobileのお気に入り
Mail	SMSメッセージおよびメールアカウントの受信トレイ
Applications	「アプリケーション画面をカスタマイズする」（P.26）でカスタマイズした画面に表示される項目のうち、最近使った項目またはユーザーが指定した項目
Phone	発信履歴、着信履歴、連絡先、およびNo.1～No.7のスピードダイヤル
Data Folder	マイデバイス内のファイルやフォルダー

サムネイルに割り当てる項目を設定する

「Phone」以外の各ストライプのサムネイルを設定できます。

1 ホーム画面→「メニュー」→「サムネイル設定」

2 サムネイルを設定するストライプを選択する

3 「ユーザー選択」または「最近使った項目」をタップする

- 「最近使った項目」を選択した場合は、「OK」をタップして設定を完了し、ホーム画面に戻ります。
- 操作2で「プレイヤー」、「ウェブ」、「メール」または「データフォルダ」のストライプを選択した場合は、「最近使った項目」は選択できません。

4 「次へ」をタップする

サムネイル設定画面（リスト画面）が表示されます。

サムネイル設定画面
（リスト画面）

5 サムネイル選択リストで割り当てたい項目を選択し、「追加」をタップする

- サムネイル選択リストでフォルダーのアイコンをタップすると、フォルダーが開き、中に含まれるファイルやフォルダーを選択できます。

■割り当てを解除する場合

サムネイル設定リストで項目を選択し、「外す」をタップします。

■項目を並べ替える場合

サムネイル設定リストで項目を選択し、↑／↓をタップします。

6 「OK」をタップする

おしらせ

- 項目をタップしてドラッグモードに切り替えて、そのまま指を離さずドラッグすることもできます。

ストライプを並べ替える

WM6.5 初期設定内容	左から順に、ツール（Tools）、設定（Settings）、プレイヤー（Player）、ウェブ（Web）、メール（Mail）、アプリケーション（Applications）、電話（Phone）、データフォルダ（Data Folder）

1 **ホーム画面→「メニュー」→「ストライプ設定」**

ストライプ設定画面が表示されます。

ストライプ設定画面

2 **ストライプ並び替えエリアで、各ストライプを左右にドラッグして並べ替える**

3 **「OK」をタップする**

ストライプのカラーパターンを変更する

WM6.5 初期設定内容	Oriental

1 **ホーム画面→「メニュー」→「ストライプ設定」**

ストライプ設定画面が表示されます。

2 **カラーバリエーション選択エリアで、表示したいカラーパターンをタップする**

3 **「OK」をタップする**

Windows MobileのToday画面を設定する

ホーム画面をWindows MobileのToday画面に変更します。

1 **「スタート」→「設定」→「Today」→「アイテム」タブ**

2 **「Stripe Menu」のチェックを外し、Today画面に表示したい項目（「Stripe Menu」以外）にチェックを付ける**

■項目を並べ替える場合

「日付」以外の項目を選択し、「上へ移動」／「下へ移動」をタップします。

3 **「OK」をタップする**

おしらせ

- 「Stripe Menu」にチェックを付けると、ホーム画面（Stripe Menu）が表示されます。
- 「Stripe Menu」にチェックを付けるとき、「Stripe Menu」以外の項目にチェックを付けても、それらのチェックは無効となります。

NetFront Widgets Playerについて

[NetFrontWidgetsPlayer]

「ウィジェット」と呼ばれるさまざまなプログラムを、ウィジェットデスクトップに貼り付けて利用できます。ウィジェットデスクトップのメニューから専用のダウンロードサイトにアクセスして、お好みのウィジェットをインストールできます。

ウィジェットプレイヤーを起動する

1 **ホーム画面（Today画面）で⌂を押す**

NFWidgetsPlayer画面（ウィジェットデスクトップ）が表示されます。

おしらせ

- 「スタート」→「NetFrontWidgetsPlayerV2」をタップして、ウィジェットプレイヤーを起動することもできます。
- NetFront Widgets Player V2.0について詳しくは、以下の操作で表示されるヘルプを参照してください。
  ウィジェットデスクトップ→「メニュー」→「オプション」→「ヘルプ」→「はい」

インストールされているウィジェットを表示する

1 ウィジェットデスクトップでをタップする

- が表示されていないときは、「メニュー」→「開く」をタップします。

インストールされているウィジェットの一覧が表示されます。

2 表示させたいウィジェットにチェックを付け、「OK」をタップする

おしらせ

- 同時に表示できるウィジェットの数は5個までです。6個以上表示したい場合は、「メニュー」→「オプション」→「設定」をタップして、最大同時表示ウィジェット数を変更してください。
- ウィジェットの中には、日本語入力に対応していないものが一部あります。日本語入力で正しく動作しない場合は、英語入力してください。

ウィジェットをインストールする

1 ウィジェットデスクトップ→「メニュー」→「管理」→「ダウンロード」→「はい」

NetFront Widgets Playerホームページが開きます。

2 「カテゴリ」タブをタップし、使いたいウィジェットのカテゴリをタップして開く

3 使いたいウィジェットを選択し、「ダウンロード」をタップする

- 「ダウンロード後にファイルを開く」のチェックを外して「はい」をタップすると、ダウンロードしたファイルは「My Documents」に保存されます。「スタート」→「エクスプローラー」→「My Documents」でダウンロードしたファイルをタップし、画面の指示にしたがって操作するとプログラムをインストールできます。
- 「メニュー」をタップすると「名前を付けて保存」または「キャンセル」を選択できます。

おしらせ

- ウィジェットのプログラムをダウンロードするには、あらかじめユーザー登録が必要です。

スタートメニューから機能を起動する

[スタートメニュー]

スタートメニューからFOMA端末に登録されているプログラムや機能を起動したり、FOMA端末の設定を変更したりできます。

1 タイトルバーのまたは画面タイトル部分（ホーム画面では「スタート」）をタップする

スタートメニューが表示されます。

2 指またはスタイラスペン（試供品）で画面を上下になぞってスクロールし、起動したい機能／項目をタップする

おしらせ

- スタートメニューの各項目については、「メニュー一覧」（P.186）を参照してください。
- 本書では、スタートメニューを表示する操作（**1**）を以下のように表記します。
  「スタート」→

スタートメニューの項目を並べ替える

1 スタートメニューで移動したい項目をタップしたままにする

ポップアップメニューが表示されます。

2 「先頭へ移動」をタップする

選択した項目が画面左上へ移動します。
- 「先頭へ移動」で移動した項目は、「下へ移動」で移動できます。

機能の操作方法を確認する

［ヘルプ］

FOMA端末のヘルプを利用する

1 「スタート」→「ヘルプ」

全目次画面が表示されます。

2 確認したい項目をタップする

- ヘルプ画面で以下の機能を利用できます。

目次	全目次を表示します。
検索	検索画面を表示します。「検索」欄に調べたい語句やキーワードを入力し、「検索」をタップします。
⇦	以前表示したヘルプ画面をさかのぼって表示します。
⇨	さかのぼったヘルプ画面を元の画面に戻します。

おしらせ
- ホーム画面→「Settings」→「東芝Help」をタップすると、Stripe Menuの機能に関するヘルプが確認できます。

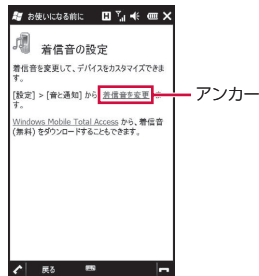
「お使いになる前に」を利用する

FOMA端末の基本的な機能や設定の概要を確認できます。FOMA端末を使い始める前にお読みいただくことをおすすめします。

1 「スタート」→「お使いになる前に」

目次画面が表示されます。

2 確認したい項目をタップする

説明画面が表示されます。
- アンカーをタップすると、その項目の設定画面が表示されます。

オンラインヘルプを利用する

FOMA端末からWindows Mobileのオンラインヘルプを参照できます。

1 「スタート」→「Internet Explorer」→ ⊖ → ⊛ →「Explore Windows Mobile」

タッチパネルとモーションコントロールの使いかた

本FOMA端末のディスプレイはタッチパネルになっており、指またはスタイラスペン（試供品）で直接触れて操作します。また、FOMA端末の向きや動きを検知するモーションセンサーによって、FOMA端末を縦または横に持ち替えたり、振ったり、叩いたりして、画面表示を切り替えたり、機能を起動することができます（モーションコントロール）。

タッチパネル利用上のご注意

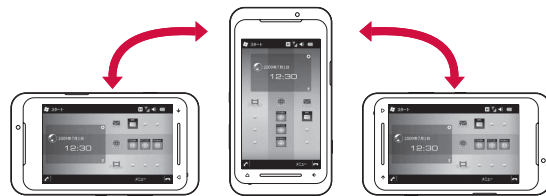
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ・異物を操作面に乗せたままでの操作
  - ・保護シートやシールなどを貼っての操作
- 爪やボールペン、ピンなど先の尖ったものや、指で強く押さないでください。

項目を選択する

画面の項目を指またはスタイラスペン（試供品）で軽く叩きます。

縦／横画面表示を切り替える

FOMA端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

- WM6.5初期設定内容は縦横表示切り替えが無効になっています。モーションセンサー設定で縦横表示切り替えを有効にしてから操作してください（P.34）。

おしらせ

- FOMA端末を垂直に立てた状態で操作してください。FOMA端末を水平に寝かせるとモーションセンサーが正常に働かず、画面表示が切り替わらない場合があります。
- モーションセンサー設定の縦横表示切り替えが無効のときは、▼を1秒以上押して縦／横画面表示を切り替えます。
- 通話中はモーションセンサーの縦横画面の切り替えはできません。

ホーム画面を操作する

ストライプを切り替える

■ストライプを左右になぞって切り替える

- 横画面表示のときは上下になぞります。

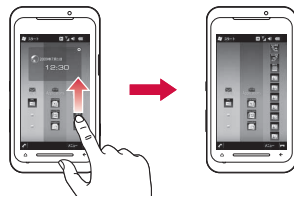
■傾き操作で切り替える

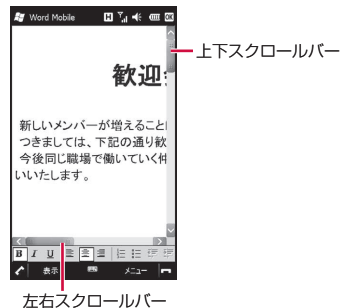
UIキーの中央部を押さえながらFOMA端末を左右に傾けます。

- 横画面表示のときは手前／向こう側に傾けます。

サムネイルエリアを伸ばす

サムネイルエリアをガジェットの方向になぞります。

- 伸ばしたサムネイルエリアは、逆の方向になぞるか、操作しないまま約5秒経過すると、元の状態に戻ります。

スクロールする

仕事や予定表の一覧やWord Mobileのドキュメントなど、1画面で表示しきれないときは、スクロールバーが表示されます。スクロールバーをドラッグするか、画面を上下／左右方向になぞって、隠れている部分を表示します。

パンする

Webページやオフィスアプリケーションのドキュメント、静止画の拡大表示時など、1画面で表示しきれないときに、画面そのものを全方向にドラッグして見たい部分を表示します。

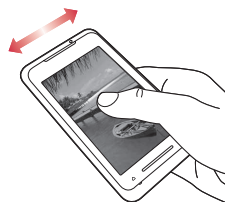
表示を拡大／縮小する

Internet Explorer MobileやExcel Mobileなど、一部のアプリケーションでは、UIキーを右になぞって表示を拡大し、左になぞって縮小することができます。

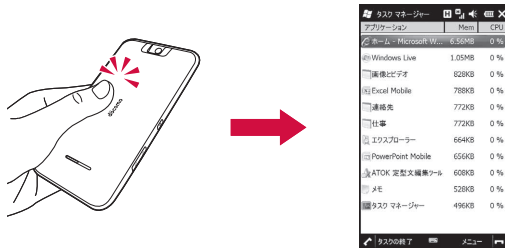
- 横画面表示のときは、上になぞって拡大し、下になぞって縮小します。

シェイク操作で指定した動作を行う

FOMA端末を1回振って、指定した動作を行います。

- WM6.5初期設定内容はシェイク操作が無効になっています。モーションセンサー設定でシェイクによる起動を有効にしてから操作してください（P.34）。

タップ2回操作でタスクマネージャーを起動する

FOMA端末の背面を2回叩いて、タスクマネージャー（P.36）を起動します。

- WM6.5初期設定内容はタップ2回操作が無効になっています。モーションセンサー設定でタップ2回によるタスクマネージャーの起動を有効にしてから操作してください（P.34）。

おしらせ

- 2回続けて確実にタップしてください。2回のタップの間隔が短すぎたり開きすぎたりすると、モーションセンサーが正常に働かず、タスクマネージャーが起動しない場合があります。
- FOMA端末を机やテーブルなどに置く際、衝撃を与えると、モーションセンサーが誤動作する場合があります。

モーションセンサーを設定する

WM6.5 初期設定内容	縦横切替えを有効にする：無効 Stripe Menu＆ブラウザで傾き操作を有効にする：有効 タップ2回によるタスクマネージャーの起動：無効 シェイクによる起動を有効にする：電話を起動：無効

モーションコントロール（縦横表示切り替え、傾き操作、タップ2回操作、シェイク操作）の有効／無効を設定します。また、シェイク操作で行う動作を指定します。

1 **「スタート」→「設定」→「システム」→「モーションセンサー設定」**

2 **有効にしたい操作にチェックを付ける**

- 「シェイクによる起動を有効にする」にチェックを付けた場合は、シェイク操作で行う動作を選択します。

3 **「OK」をタップする**

おしらせ

- ホーム画面→「Settings」→「各種設定」→「モーションセンサー設定」をタップして設定することもできます。

モーションセンサーを調整する

モーションコントロールが正しく動作しない場合は、モーションセンサーを調整してください。

1 **「スタート」→「設定」→「システム」→「モーションセンサー調整」**

2 **FOMA端末を水平な机などの上に置き、「調整」をタップする**

3 **調整が完了したことを知らせる画面が表示されたら、「×」をタップして画面を閉じる**

4 **「OK」をタップする**

おしらせ

- ホーム画面→「Settings」→「各種設定」→「モーションセンサー調整」をタップして調整することもできます。

フローティングパッドの使いかた

フリーカーソルパッドとマルチファンクションパッドを切り替えて使用できます。

■フリーカーソルパッド

パソコンでマウスを操作するのと同じ感覚で操作できます。画面上にポインタを表示し、フリーカーソルエリア内を指またはスタイラスペン（試供品）でなぞって、ポインタを移動します。

■マルチファンクションパッド

上下左右ボタンでカーソルを移動して項目を選択します。

フローティングパッドを起動する

UIキーを画面の方向になぞります。

フローティングパッドが表示されます。

おしらせ

- カメラ使用中はフローティングパッドを起動できません。

フローティングパッドを消す

フローティングパッドを消すには、以下の3とおりの方法があります。

- パッド内の「×」をタップします。
- パッド移動つまみをドラッグして、フローティングパッドを画面の外に引き出します。
- 起動したときと同様に、UIキーを画面の方向になぞります。

フローティングパッドを設定する

WM6.5 初期設定内容	フローティングパッドを使う：有効 右きき用

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「フローティングパッド設定」

2 「フローティングパッドを使う」にチェックを付ける、またはチェックを外す

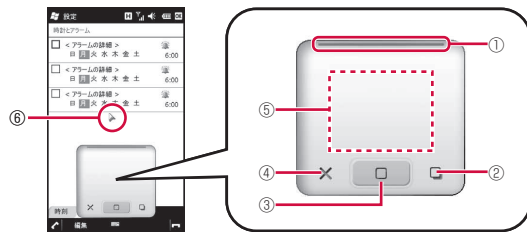
- チェックを外した場合は操作4に進みます。

3 「右きき用」または「左きき用」をタップする

4 「OK」をタップする

おしらせ

- ホーム画面→「Settings」→「各種設定」→「フローティングパッド設定」をタップして設定することもできます。

フリーカーソルパッドの使いかた

①**パッド移動つまみ**
指またはスタイラスペン（試供品）でドラッグして、フリーカーソルパッドを移動します。

②**パッド切り替えボタン**
1秒以上タップして、マルチファンクションパッドに切り替えます。

③**タップボタン**
ポインタの位置をタップしたのと同じ動作を行います。

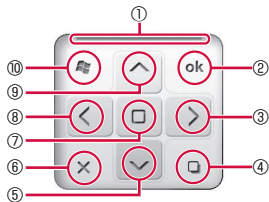
④**終了ボタン**
フリーカーソルパッドを消します。

⑤**フリーカーソルエリア**
指またはスタイラスペン（試供品）でなぞってポインタを移動します。

⑥**ポインタ**

おしらせ

- テキスト選択可能な画面でフリーカーソルエリアをタップすると、テキスト選択モードに切り替わります。そのまま指を離さずポインタをドラッグして、テキストを選択できます。

マルチファンクションパッドの使いかた

①**パッド移動つまみ**
指またはスタイラスペン（試供品）でドラッグして、マルチファンクションパッドを移動します。
②**ok／閉じるボタン**
画面右上に表示される「OK」や「×」をタップしたのと同じ動作を行います。
③**右ボタン**
カーソルを右に移動します。
④**パッド切り替えボタン**
1秒以上タップして、フリーカーソルパッドに切り替えます。
⑤**下ボタン**
カーソルを下に移動します。
⑥**終了ボタン**
マルチファンクションパッドを消します。
⑦**決定ボタン**
カーソルで選択している項目を確定／実行します。
⑧**左ボタン**
カーソルを左に移動します。
⑨**上ボタン**
カーソルを上に移動します。
⑩**スタートメニューボタン**
スタートメニューを表示します。

プログラムを切り替える／終了する
［タスク マネージャー］

タスクマネージャーを起動して、実行中のプログラムを確認したり、切り替えたり、終了させることができます。
起動したプログラムは、終了させるまで起動したままになっています。実行中のプログラムが多くなるとメモリ不足になり、FOMA端末の動作が遅くなります。使っていないプログラムは、タスクマネージャーを使って終了させてください。

プログラムを切り替える

1 「スタート」→「タスク マネージャー」
実行中のプログラムの一覧画面が表示されます。

2 切り替えたいプログラムをタップする

3 「メニュー」→「切り替え」

おしらせ
- 「スタート」→「設定」→「システム」→「タスク マネージャー」をタップしても、タスクマネージャーを起動できます。
- ホーム画面→「Settings」→「タスクマネージャー」をタップしても、タスクマネージャーを起動できます。

プログラムを終了する

1 「スタート」→「タスク マネージャー」
実行中のプログラムの一覧画面が表示されます。

2 終了したいプログラムを選択し､「タスクの終了」をタップする

■実行中の全プログラムを終了する場合
実行中のプログラムの一覧画面で「メニュー」→「すべてのタスクの終了」→「はい」をタップします。

FOMAカードを使う

FOMAカードは、電話番号などのお客様情報を記憶しているICカードです。FOMA端末にFOMAカードが正しく取り付けられていないと、電話の発着信やメールの送受信などの操作が行えません。

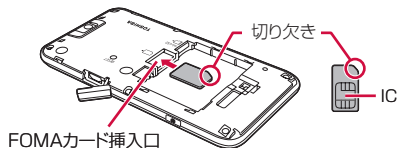
- FOMAカードについて詳しくは、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

- FOMAカードの取り付け／取り外しは、FOMA端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。

FOMAカードを取り付ける

1 **IC面を下にして、FOMAカードを図の向きでFOMAカード挿入口の奥まで差し込む**

- リアカバーと電池パックの取り外しかたについては、「電池パックを取り外す」（P.39）を参照してください。

FOMAカードを取り外す

1 **FOMAカード挿入口からFOMAカードをゆっくり引き抜く**

おしらせ

- FOMAカードを取り扱うときは、IC部分に触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、FOMAカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、FOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 取り出したFOMAカードはなくさないようご注意ください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コードとPIN2コードという2つの暗証番号があります。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（P.71）。

FOMAカードの違いについて

FOMAカード（青色）とFOMAカード（緑色／白色）との間で、以下の違いがあります。

項目	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）
FOMAカードの連絡先（P.58）に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大40桁
WORLD WING（P.38）	利用不可	利用可

ご使用前の確認

WORLD WINGについて

WORLD WINGは、FOMAカード（緑色／白色）を本サービス対応のFOMA端末に取り付けることで、海外でも同じ携帯電話番号で電話の発着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

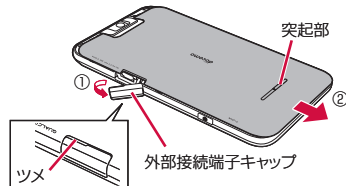
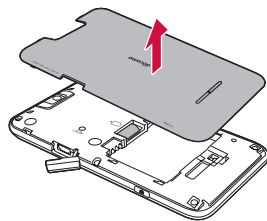
- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 万が一、海外でFOMAカード（緑色／白色）を紛失・盗難された場合は、速やかにドコモにご連絡いただき、利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」を参照してください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料も、お客様のご負担となりますのでご注意ください。

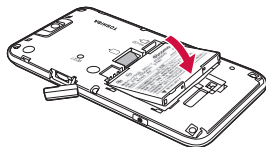
電池パック、リアカバーの取り付けかた／取り外しかた

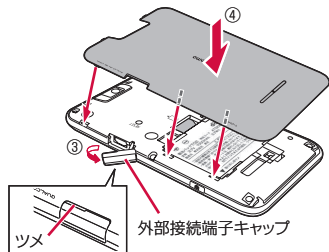
- 電池パックとリアカバーの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、FOMA端末のディスプレイなどが傷つかないよう、手に持って行ってください。
- 本FOMA端末専用の電池パック T02をご利用ください。

電池パックを取り付ける

1 外部接続端子キャップを開け（①）、リアカバーの突起部を押さえながら矢印の方向にスライドさせる（②）

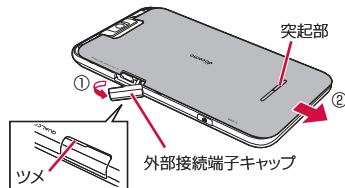
- 外部接続端子キャップを開ける際は、ツメを利用して、矢印の方向に開けてください。
- 外部接続端子キャップを閉めたままリアカバーをスライドさせると、破損する恐れがありますのでご注意ください。

2 リアカバーを上に持ち上げて取り外す

3 電池パックを取り付ける

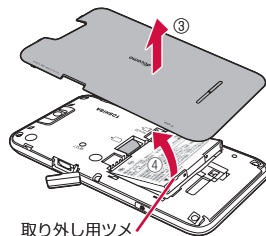
- 電池パックの⊕⊖が表示されている面を上にして、電池パックの金属端子をFOMA端末の金属端子に合わせてから、矢印の方向にはめ込みます。

4 外部接続端子キャップを開け(③)、リアカバーを約2mm開けた状態でFOMA端末の溝に合わせる(④)

- 外部接続端子キャップを開ける際は、ツメを利用して、矢印の方向に開けてください。

5 リアカバーを矢印の方向にスライドさせ(⑤)、外部接続端子キャップを閉める(⑥)

電池パックを取り外す

1 外部接続端子キャップを開け(①)、リアカバーの突起部を押さえながら矢印の方向にスライドさせる(②)

- 外部接続端子キャップを開ける際は、ツメを利用して、矢印の方向に開けてください。
- 外部接続端子キャップを閉めたままリアカバーをスライドさせると、破損する恐れがありますのでご注意ください。

2 リアカバーを取り外し(③)、電池パックを取り外す(④)

- 電池パックの取り外し用ツメを利用して、矢印の方向に持ち上げて取り外します。

充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

■充電時のご注意

- 必ずFOMA端末に電池パックを取り付けて充電してください。
- FOMA端末を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。また、データ通信や通話など消費電流の大きい機能を連続して使用すると、充電中でも電池が減り続け、電池切れに至る場合があります。
- 充電中はFOMA端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。FOMA端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。FOMA端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 以下の場合、充電エラーになりお知らせLEDが赤色に点滅します。
  ・充電電圧が高くなった場合
  ・電池パックが過充電／過放電した場合
  ・5時間以上たっても充電が完了しなかった場合
  充電エラーになると、起動中の機能が終了し、キー操作が制限されます。充電器を取り外すか電池パックを取り外してください。

■充電時間（目安）

本FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

PC接続用USBケーブル T01（付属品）	約160分
FOMA ACアダプタ 01／02（別売）	約160分
FOMA DCアダプタ 01／02（別売）	約160分

■十分に充電したときの使用時間（目安）

使用環境や電池パックの状態によって使用時間は異なります。詳しくは、P.199を参照してください。

連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約250時間 移動時（自動）：約130時間 移動時（3G固定）：約160時間
	GSM	静止時（自動）：約180時間
連続通話時間	FOMA／3G	約210分
	GSM	約200分

■電池パックの寿命について

電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなります。充電しながら、通話などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。
1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが、問題ありません。

- 環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

Li-ion 00

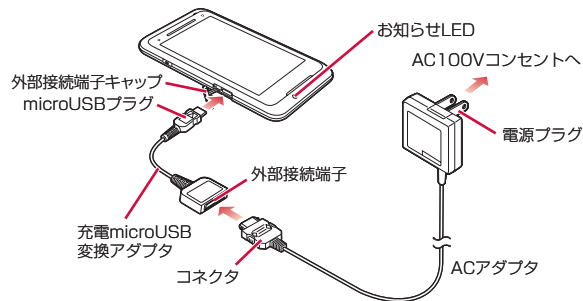
■充電用のアダプタについて

本FOMA端末では、以下のACアダプタ（別売）とDCアダプタ（別売）をご利用になれます。

● 詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

FOMA ACアダプタ 01（別売）	AC100Vのみに対応しています。
FOMA ACアダプタ 02／FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）	AC100Vから240Vまで対応していますが、電源プラグの形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で使用する場合は、渡航先のコンセントに適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
FOMA DCアダプタ 01／02（別売）	－

ACアダプタを使って充電する

FOMA ACアダプタ 01／02（別売）と付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタ T01を使って充電する方法を説明します。

1 ACアダプタのコネクタを、充電microUSB変換アダプタの外部接続端子に差し込む

• 矢印の表記面を上にしたコネクタを、ラベル面を上にした外部接続端子に水平に差し込みます。

2 FOMA端末の外部接続端子キャップを開け、充電microUSB変換アダプタのmicroUSBプラグを差し込む

• microUSBプラグは、刻印がある面を上にして水平に差し込みます。

3 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

• 充電中はお知らせLEDが赤く点灯します。
• 充電が完了すると、お知らせLEDが消灯します。

4 充電が終わったら、FOMA端末からmicroUSBプラグを抜く

5 充電microUSB変換アダプタの外部接続端子からACアダプタのコネクタを抜く

• コネクタの両脇にあるリリースボタンを押しながら、水平に引き抜いてください。

6 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

おしらせ

● FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01は、FOMA端末とACアダプタを接続するためのアダプタです。FOMA USB接続ケーブルなどと組み合わせてパソコンと接続しても、データの送受信や充電を行うことはできません。パソコンとの接続には、付属のPC接続用USBケーブル T01をご使用ください。
● FOMA端末の電源を切った状態で充電を開始すると、お知らせLEDが赤く点灯するまでしばらく時間がかかることがあります。

■PC接続用USBケーブルを使って充電する

FOMA端末とパソコンを付属のPC接続用USBケーブル T01で接続すると、FOMA端末をパソコンから充電することができます。

- パソコンとの接続のしかたは、P.119を参照してください。
- PC接続用USBケーブルを使って充電しながらパケット通信をご利用になるには、USB接続の設定をマスストレージモードにしてください（P.114）。
- Active SyncモードでパソコンとUSB接続を行うと、パソコン上に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面または「同期セットアップ ウィザード」画面が表示される場合があります。パソコンと同期（P.117）せず充電のみ行いたい場合は、「キャンセル」を選択してください。

電池残量の確認のしかた

[電池残量]

タイトルバー（P.21）に電池残量の目安を示すアイコンが表示されます。

アイコン						
電池残量	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	レベル0	充電中

電池が切れそうになると

電池アラームが鳴り、警告メッセージが表示されて少したつと、自動的に電源が切れます。警告メッセージが表示されたら、すぐに使用中のデータを保存し、充電を始めてください。

おしらせ

- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、FOMA端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。

電源を入れる／切る

[電源ON／OFF]

電源を入れる

1 FOMA端末が1回振動し、お知らせLEDが緑色に点灯するまで、を押したままにする（約2秒）

お知らせLEDは緑色に点灯したあと、すぐに消えます。
「NTT docomo」が表示されて少したつと、Windows Mobile画面が表示され、続けてホーム画面が表示されます。

■はじめて電源を入れたとき

お買い上げ後、はじめて電源を入れたときは、画面の指示にしたがって初期設定を行います（P.43）。

■電波状態を確認する

タイトルバーに電波の受信状態を示すアイコンが表示されます。
が表示されたときは、FOMAサービスエリア外か電波の届かない場所にいます。

アイコン					
電波状態	強	⟷		弱	圏外

おしらせ

- 本FOMA端末は国際ローミングに対応しているため、電源を入れた直後は対応しているネットワークの検索に時間がかかることがあります。検索中は⁝が表示されます。
- FOMAカードが挿入されていない状態で電源を入れると、「通信事業者によっては緊急通報が可能です。」と表示されますが、国内では緊急通報（110番、119番、118番）ができません。

電源を切る

1 電源OFF確認画面が表示されるまで、⏻を押したままにする

2「電源OFF」をタップする

FOMA端末の電源が切れます。

電源OFF確認画面

スリープモードについて

FOMA端末を一定時間操作しなかったときは、自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。
また、操作中に⏻を押してもスリープモードになります。スリープモード中は、お知らせLEDが緑色に点滅します。
スリープモード中に⏻を押すと、スリープモードを解除できます。

おしらせ

- スリープモード中に電話着信やSMS受信があると、スリープモードは解除されます。
- 以下のいずれかの操作で、スリープモード中のお知らせLEDを点滅させるかどうかを設定できます。
  - ・「スタート」→「設定」→「システム」→「スリープモードLED設定」→「On」／「Off」→「OK」
  - ・ホーム画面→「Settings」→「各種設定」→「スリープモードLED設定」→「On」／「Off」→「OK」

初期設定を行う

はじめてFOMA端末の電源を入れたときやマスタークリア（P.149）後に再起動したときは、画面の指示にしたがって初期設定を行います。

1 Windows Mobile画面をタップする

- 画面のどこをタップしてもかまいません。

2 画面の補正をする

- スタイラスペン（試供品）を使って、画面の指示にしたがってタップします。詳しくは、P.139を参照してください。

3 日付と時刻を設定し、「次へ」をタップする

- タイムゾーンが「GMT+9　東京、大阪」になっていることを確認します。
- 日付欄の▼をタップして表示されるカレンダーから、今日の日付を選択します。
- 時、分、秒のそれぞれをタップして選択（反転）し、▼／▲で時刻を合わせます。

「初期設定中です。しばらくお待ちください。設定完了までに数分かかります。電池パックを抜いたりすると故障の原因となります。設定中は電源をオフしないよう御注意下さい。設定完了後には自動で再起動します。」という画面が表示され、しばらくするとFOMA端末の電源が切れます。そのまま少し待つと、FOMA端末が自動的に再起動します。

4 mopera Uの自動設定を行う

- インターネット接続サービスmopera Uに加えてBiz・ホーダイ／Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルを契約された場合は、パケット通信接続の設定を自動で行います（マスタークリア後は設定されません）。詳しくは、P.160を参照してください。

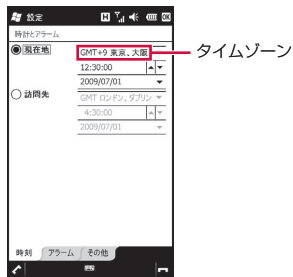
5 パターンデータの自動更新設定を行う

- パターンデータの自動更新設定については、P.145を参照してください。

初期設定が完了し、ホーム画面が表示されます。

日付と時刻を設定する

1 「スタート」→「設定」→「時計とアラーム」→「時刻」タブ

時刻設定画面が表示されます。

時刻設定画面

2 「現在地」をタップし、タイムゾーン、現在時刻、日付を設定する

- タイムゾーンが「GMT+9　東京、大阪」になっていることを確認します。
- 時、分、秒のそれぞれをタップして選択（反転）し、▼／▲で時刻を合わせます。
- 日付欄の▼をタップして表示されるカレンダーから、今日の日付を選択します。

3 「OK」→「はい」

おしらせ

- ホーム画面→「Settings」→「各種設定」→「時計」をタップして設定することもできます。
- 世界時計（P.24）を2都市表示にして、日本以外の国の時刻を同時に表示させたい場合は、「訪問先」をタップしてタイムゾーンを選択してください。訪問先設定後は再び「現在地」をタップして、「現在地」が選択されている状態にしてから設定を終了してください。
- 時刻設定後も月当たり数秒程度の誤差が生じます。定期的に時刻を修正されることをおすすめします。
- FOMA端末とパソコンを同期させると、FOMA端末の時刻はパソコンの時刻に合わせて更新されます。

日付と時刻の表示形式を設定する

日付の表示形式を設定する

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「地域」→「日付」タブ

2 短い形式および長い形式を選択する

- 「区切り記号」欄をタップして、記号を入力して変更できます。
- 画面上部のサンプル欄で、変更後の表示イメージを確認できます。

3 「OK」をタップする

時刻の表示形式を設定する

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「地域」→「時刻」タブ

2 時刻の形式を選択する

- 「区切り記号」欄をタップして、記号を入力して変更できます。
- 画面上部のサンプル欄で、変更後の表示イメージを確認できます。

3 「OK」をタップする

相手に自分の電話番号を通知する

[発信者番号通知設定]

電話をかけたとき、自分の電話番号を相手の電話機に表示させることができます。

- 電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。
- 圏外では発信者番号通知設定の操作は行えません。

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「ネットワークサービス」→「5. 発信者番号通知」→「2. 発信者番号通知設定」

2 「通知する」をタップする

ネットワークに接続します。

3 「ok」をタップする

おしらせ

- 電話をかけるたびに発信者番号の通知／非通知を指定することができます（P.49）。通話ごとに指定する設定のほうが、発信者番号通知設定よりも優先されます。
- ホーム画面→「Settings」→「ネットワークサービス」→「5. 発信者番号通知」→「2. 発信者番号通知設定」をタップして設定することもできます。

発信者番号通知の設定を確認する

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「ネットワークサービス」→「5. 発信者番号通知」→「1. 発信者番号通知設定確認」

ネットワークに接続して、現在の設定を確認します。

2 「ok」をタップする

おしらせ

- ホーム画面→「Settings」→「ネットワークサービス」→「5. 発信者番号通知」→「1. 発信者番号通知設定確認」をタップして確認することもできます。

自分の電話番号を確認する

[自局番号表示]

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「電話」→「電話」タブ

画面上部にお客様の電話番号が表示されます。

おしらせ

- オーナー情報でもお客様の電話番号を確認できます。

オーナー情報を編集する

[オーナー情報]

お客様ご自身の情報を入力することができます。

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「オーナー情報」

2 必要な項目に情報を入力する

「オーナー情報」タブ	電話番号を確認し、名前、勤務先、住所、電子メールアドレスを入力します。
「メモ」タブ	メモを入力します。

3 「OK」をタップする

おしらせ

- ホーム画面→「Settings」→「オーナー情報」をタップして編集することもできます。

電話

■電話のかけかた
電話をかける.. 48
発着信履歴を利用して電話をかける.......... [通話履歴] 49
1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする
.... [186／184] 49
相手を絞り込みすばやく発信する
.... [スマートダイヤル] 50
スピードダイヤルを利用して発信する
.... [スピードダイヤル] 50
連絡先から電話をかける.. 51
プッシュ信号（DTMF）を送信する............................ 51
国際電話を利用する .... [WORLD CALL] 51
ハンズフリーを利用する..................... [ハンズフリー] 52

■電話の受けかた
電話を受ける.. 52
通話中に相手の声の音量を調節する.......... [受話音量] 53
着信音量やスピーカー音量を調節する....... [着信音量] 53

■電話に出られないとき／その他の通話設定
公共モード（ドライブモード）を利用する
.... [公共モード（ドライブモード）] 54
公共モード（電源OFF）を利用する
.... [公共モード（電源OFF）] 55

■着信音／マナーモード
着信を音で知らせる.. 55
電話から鳴る音を消す......................... [マナーモード] 56

電話をかける

1 をタップする

電話画面が表示されます。

2 相手の電話番号を入力する

■電話番号を間違えたときは

- ←をタップして入力した番号を消します。←をタップしたままにすると、入力した番号がすべて消えます。

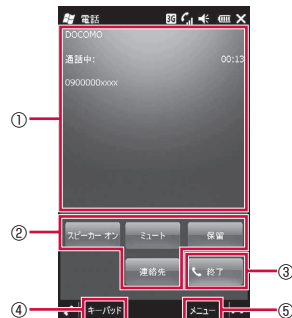
3 通話をタップする

4 通話が終了したら終了をタップする

電話画面

おしらせ

- 本FOMA端末では、テレビ電話は利用できません。
- 連絡先に登録されている電話番号と入力した電話番号が一致した場合は、名前が表示されます。
- 連絡先に登録されていない電話番号を入力した場合は、「該当なし」と表示されます。
- 通話中にディスプレイの表示が消えてスリープモードになったときは、⏻を押すとディスプレイを再表示できます。
- 「スタート」→「電話」をタップするか、ホーム画面→「Phone」をタップしても電話画面を表示できます。
- 本FOMA端末は、通話終了音（相手が先に電話を切ったときに聞こえる「プープー」という音）が鳴りません。

通話中画面の見かた

①状態表示エリア

サービスプロバイダ名、通話相手の情報、通話時間が表示されます。

②保留

通話を一時保留します。※

ミュート

自分の音声が相手に聞こえなくなります。

スピーカー オン／オフ

ハンズフリーを利用する場合に「スピーカー オン」をタップします（P.52）。

連絡先

連絡先の編集および新規作成ができます。

③終了

通話を終了します。

④キーパッド

タップすると電話画面が表示され、電話番号を入力できます。

⑤メニュー

タップすると、通話の保留、ミュート、スピーカーオン／オフ、連絡先の表示、メモの作成などができます。

※「キャッチホン」および「転送でんわサービス」をご契約いただいていない場合、通話中に「保留」をタップしても、一時保留にはなりません。

※保留音は本FOMA端末では聞こえません。

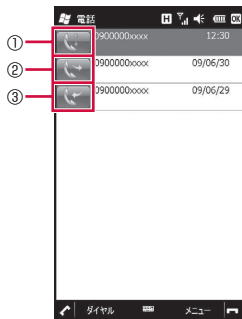
おしらせ

- 着信時に相手の番号が通知されなかった場合、状態表示エリアに「非通知」（非通知設定／公衆電話の着信の場合）、または「不明」（通知不可能の場合）と表示されます。

発着信履歴を利用して電話をかける

[通話履歴]

1 →「通話履歴」

通話履歴一覧が表示されます。

①不在着信

不在着信があったことを示します。

②発信

電話を発信したことを示します。

③着信

着信があったことを示します。

2 かけたい相手を選択する

通話履歴詳細画面が表示されます。

3 「ダイヤル」をタップする

4 通話が終了したら をタップする

- 通話時間を表示する場合は、「通話履歴」→「メニュー」→「通話時間」をタップします。

リダイヤルする

1 を2回タップする

最新の発信履歴に電話をかけます。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

[186／184]

電話をかけたときに自分の電話番号を相手の電話機に表示させることができます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。
- 自分の電話番号を通知するかどうかを、一括して設定する方法については、「相手に自分の電話番号を通知する」（P.45）を参照してください。

1 →「1」「8」「6」（通知）／「1」「8」「4」（非通知）を入力する

2 相手の電話番号を入力する

3 をタップする

相手を絞り込みすばやく発信する

［スマートダイヤル］

数字や記号を入力するごとに通話履歴や連絡先を絞り込んで検索することができます。

例：「2」「3」の順に絞り込む

1 →「2」を入力する

連絡先の1文字目に「2」、「A」、「B」、「C」を含む候補が表示されます。

- キーパッドの数字に対応したアルファベットも検索の対象となります。
- 数字「0」～「9」以外に、「＊」、「#」も検索できます。
- アルファベットを検索する場合、スペース、ダッシュ「'」、ハイフン「-」、アンダーバー「_」に続く文字も検索します（「2」を入力した場合、「_2」や「'A」も検索します）。

2 「3」を入力する

連絡先の2文字目に「3」、「D」、「E」、「F」を含む候補が表示されます。

3 相手を選択し、「ダイヤル」をタップする

おしらせ

- 検索結果に相手が表示されない場合は、「メニュー」→「連絡先」をタップして、発信先を選択してください。

スピードダイヤルを利用して発信する

［スピードダイヤル］

よくかける連絡先をスピードダイヤルに登録しておくと、該当するキーを1秒以上タップするだけで発信できます。

スピードダイヤルを登録する

1 →「スピードダイヤル」

スピードダイヤルリストが表示されます。

2 「メニュー」→「新規作成」

連絡先の選択画面が表示されます。

3 登録する相手を選択する

スピードダイヤル画面が表示されます。

4 登録する「電話番号」を選択する

5 「短縮番号」で割り当てる番号を選択し、「OK」をタップする

おしらせ

- 短縮番号1は、「留守番電話」に割り当てられています。「1」を1秒以上タップすると、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
- 登録する際は、短縮番号1以外の番号に割り当ててください。
- 連絡先からスピードダイヤルに登録するには、連絡先の名前を選択して「メニュー」→「スピードダイヤルに追加」→「短縮番号」で割り当てる番号を選択します。
- スピードダイヤルを削除するには、スピードダイヤルリストで削除したい相手を選択して、「削除」→「はい」をタップします。

スピードダイヤルで発信する

1 をタップし、短縮番号が割り当てられたキーを1秒以上タップする

登録された相手に発信されます。

- 短縮番号が2桁の場合は、スピードダイヤルリストで短縮番号をタップします。

連絡先から電話をかける

1 「スタート」→「連絡先」

連絡先画面が表示されます。

2 発信する相手を選択する

3 発信する電話番号をタップする

おしらせ

- 発信する相手を1秒以上タップし、ポップアップメニューから電話をかけることもできます。

プッシュ信号（DTMF）を送信する

FOMA端末からプッシュ信号を送信し、チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

1 通話中に「キーパッド」をタップする

2 「0」～「9」、「＊」、「＃」を入力する

おしらせ

- 電話画面のキーパッド操作音をあらかじめオフにしてからご使用ください。キーパッド操作音をオフにしておかないと、プッシュ信号を正しく送信できません。
  →「メニュー」→「オプションの表示」→「電話」タブをタップしてキーパッドから「オフ」を選択し、「OK」をタップします。

国際電話を利用する

[WORLD CALL]

- 海外での利用については、「海外利用」（P.177）を参照してください。
- 通信事業者によっては、発信者番号が通知されなかったり、正しく表示されないことがあります。この場合、着信履歴から電話をかけることはできません。

WORLD CALLについてのご不明な点は、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。

1 →「0」「1」「0」→国番号→地域番号（市外局番）→相手の電話番号を入力する

- 地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

2 通話 をタップする

3 通話が終了したら 終了 をタップする

おしらせ

- 電話画面表示中に「0」を1秒以上タップして「＋」を入力すると、国際アクセス番号（009130010）に変換されます。国番号から入力して国際電話をかけることができます。

ハンズフリーを利用する

［ハンズフリー］

スピーカーホンに切り替える

通話中の相手の音声をスピーカーから流して通話することができます。

1 通話中に「スピーカー オン」をタップする

が表示されます。

■スピーカーホンをオフにする場合

「スピーカー オフ」をタップします。

おしらせ

● スピーカーホンがオンになっているときは、FOMA端末を耳にあてないでください。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

2 「応答」をタップする

• デバイスロック中は、「応答」を右になぞります。また、「ロックの解除」をタップすると、通常の通話中画面になります。

■着信を拒否する場合

「拒否」をタップします。

• デバイスロック中は、「拒否」を右になぞります。

3 通話が終了したら 終了 をタップする

おしらせ

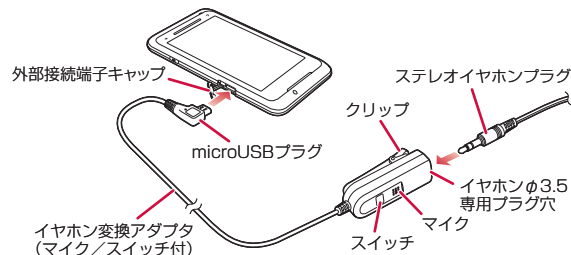
● 本FOMA端末は応答保留ができません。
● 通話中にディスプレイの表示が消えてスリープモードになったときは、を押すとディスプレイを再表示できます。
● デバイスロックについて詳しくは、「ほかの人が使用できないようにする」（P.72）を参照してください。

■着信中の表示について

● 相手の電話番号が通知されたとき
相手の電話番号が画面に表示されます。連絡先に登録されている電話番号と一致した場合は、名前が画面に表示されます。
● 相手の電話番号が通知されなかったとき
非通知理由が表示されます。

ステレオイヤホンマイクの使いかた

付属のイヤホン変換アダプタ（マイク／スイッチ付）T01にFOMA端末とステレオイヤホン（別売）を接続すると、マイク横のスイッチを押すだけでかかってきた電話を受けることができます。

ステレオイヤホンマイクを取り付ける

1 ステレオイヤホンプラグをイヤホン変換アダプタ（マイク／スイッチ付）のイヤホンφ3.5専用プラグ穴に差し込む

2 FOMA端末の外部接続端子キャップを開け、イヤホン変換アダプタ（マイク／スイッチ付）のmicroUSBプラグを差し込む

• microUSBプラグを外部接続端子に差し込む際は、プラグの向きを確認してから差し込んでください。

ワンタッチで電話を受ける

1 電話がかかってきたら、マイク横のスイッチを押す

・スイッチを2秒以上押すと、着信を拒否できます。

2 通話が終了したら、マイク横のスイッチを2秒以上押す

通話中に相手の声の音量を調節する

[受話音量]

WM6.5 初期設定内容	レベル2

1 通話中に▲(音量大)または▼(音量小)を押す

おしらせ

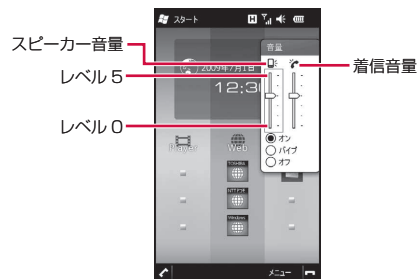
- 通話中以外は受話音量を調節することはできません。
- 通話中にタイトルバーの音量アイコンまたは、をタップし、受話音量のスライダーを上下になぞって調節することもできます。

着信音量やスピーカー音量を調節する

[着信音量]

WM6.5 初期設定内容	(着信音量):レベル3 (スピーカー音量):レベル3

電話やメールの着信音はとで調節できます。「時計とアラーム」のアラーム、「予定表」のアラーム、「Kinoma Play」や「Windows Media Player」、「動画」などの再生音はで調節できます。

電話

待受中／着信中に着信音の音量を調節する

着信音量の調節は基本的に（着信音量）で行います。（スピーカー音量）は、（着信音量）のレベルに対し補助調整として使用します。

1 タイトルバーの音量アイコンまたは、をタップする

2 （着信音量）または（スピーカー音量）のスライダーを上下になぞって、着信音量を調節する

おしらせ
- （着信音量）または（スピーカー音量）のどちらかを「レベル0」に設定すると音が鳴りません。
- 着信中に（着信音量）を変更した場合、次回の着信から反映されます。着信中に（スピーカー音量）を変更した場合は、着信中の音量から反映されます。
- （スピーカー音量）の「バイブ」や「オフ」をタップすると、音が鳴らなくなります。

着信中に着信音を一時的に消す

1 着信中に（音量大）または（音量小）を押す

アラームや再生音の音量を調節する

1 タイトルバーの音量アイコンまたは、をタップする

2 （スピーカー音量）のスライダーを上下になぞって、音量を調節する

おしらせ
- （スピーカー音量）の「バイブ」や「オフ」をタップすると、音は鳴りません。

公共モード（ドライブモード）を利用する

［公共モード（ドライブモード）］

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードに設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 圏外など、電波が受信できないときでも設定／解除できます。
- 公共モード設定中でも電話をかけることができます。
- 本機能はデータ通信中はご利用できません。

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「公共モード」

2 「On」をタップする

タイトルバーにが表示されます。

■公共モード（ドライブモード）を解除する場合

「公共モード中」→「解除する」をタップします。
- タイトルバーのをタップして、「解除する」をタップすることもできます。

おしらせ
- 公共モード（ドライブモード）とマナーモードを同時に設定することはできません。公共モード（ドライブモード）設定中にマナーモードに設定すると、公共モード（ドライブモード）は解除されます。
- 公共モード設定中は、以下の音が鳴りません。
  - ・電話着信音
  - ・メール、SMS着信音
  - ・「時計とアラーム」のアラーム音
  - ・予定表のアラーム音
  - ・電池切れのアラーム音
  - ・各プレイヤーの再生音（ステレオイヤホン（別売）接続時を含む）
- ホーム画面→「Settings」→「公共モード」をタップして設定することもできます。

公共モード（ドライブモード）に設定すると

お客様のFOMA端末に電話がかかってきても着信音は鳴りません。通話履歴には不在着信として記憶されます。

- 電話をかけてきた相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。
- メール受信時の着信音は鳴らず、メールの受信を示すメッセージが表示されます。
- 電源が入っていない場合や画面に圏外（Y!）が表示されている場合は、公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れずに圏外（Y!）が表示されているときと同じガイダンスが流れます。

公共モード（電源OFF）を利用する

［公共モード（電源OFF）］

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。
公共モード（電源OFF）に設定すると、電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 →「＊」「2」「5」「2」「5」「1」→通話

公共モード（電源OFF）が設定されます（ホーム画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■公共モード（電源OFF）を解除する場合

→「＊」「2」「5」「2」「5」「0」→通話

■公共モード（電源OFF）の設定を確認する場合

→「＊」「2」「5」「2」「5」「9」→通話

公共モード（電源OFF）に設定すると

「＊」「2」「5」「2」「5」「0」をタップして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

- 電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

着信を音で知らせる

WM6.5 初期設定内容	着信パターン：標準の着信音 着信音：Ring01-WindowsPhone キーパッド：操作音（短）

着信音のパターンやメロディ、キーパッドの操作音を設定します。

1「スタート」→「設定」→「個人」→「電話」→「電話」タブ

2 サウンドに関する設定をする

「着信パターン」、「着信音」、「キーパッド」を設定します。

3「OK」をタップする

電話から鳴る音を消す

［マナーモード］

マナーモードを設定すると、振動で着信をお知らせします。

電話

音量調節で設定する

1 **タイトルバーに表示されている音量アイコンのまたはをタップする**

2 **「バイブ」をタップする**

タイトルバーにが表示されます。

■マナーモードを解除する場合

タイトルバーに表示されている音量アイコンのをタップし、「バイブ」以外をタップします。

Windows Mobileから設定する

1 **「スタート」→「設定」→「個人」→「マナーモード」**

2 **「マナーモード(バイブのみ)」→「OK」**

タイトルバーにが表示されます。

■マナーモードを解除する場合

「スタート」→「設定」→「個人」→「マナーモード」→「解除」／「マナーモード（バイブなし)」→「OK」

おしらせ

- マナーモードと公共モード（ドライブモード）を同時に設定することはできません。マナーモードを設定中に公共モード（ドライブモード）を設定すると、マナーモードは解除されます。
- マナーモード設定中には、以下の音が鳴りません。カメラのシャッター音やビデオの開始音、終了音は鳴ります。
  - ・電話着信音
  - ・メール、SMS着信音
  - ・「時計とアラーム」のアラーム音
  - ・予定表のアラーム音
  - ・電池切れのアラーム音
  - ・各プレイヤーの再生音（ステレオイヤホン（別売）接続時を含む）
- ホーム画面→「Settings」→「マナーモード」をタップして設定することもできます。

連絡先／PIM機能

■連絡先を使う

連絡先に登録する .... [連絡先] 58
連絡先の内容を確認する.. 59
連絡先の内容を変更する.. 59
連絡先を削除する 60
連絡先情報を送信する.. 60
UIMマネージャーを利用する...... [UIMマネージャー] 60
電話帳コピーツールを利用する... [電話帳コピーツール] 61

■仕事を管理する

仕事を登録する .... [仕事] 61
仕事の内容を変更する.. 62
仕事を削除する 62
仕事のオプション設定.. 62
仕事の内容を確認する.. 62
仕事を送信する 63

■スケジュールを管理する

予定を登録する .... [予定表] 63
予定表を表示する 64
予定表のオプション設定.. 64
予定表の内容を変更する.. 64
予定を削除する 65
予定を送信する 65

■メモを利用する

メモを利用する .... [メモ] 66

連絡先に登録する

[連絡先]

FOMA端末（本体）の連絡先（Outlook連絡先）と、FOMAカードの連絡先（SIMカード連絡先）に電話番号などを登録できます。

- お客様のFOMAカードをほかのFOMA端末に挿入して、FOMAカードに登録した連絡先を利用できます。
- 連絡先に登録できるのは以下の内容です（「SIM カード連絡先」に登録できるのは「名前」、「電話番号」、「電子メール」のみです）。

タブ	項目	内容
詳細	名前	姓と名、それぞれのフリガナ、ニックネームが登録できます。
	画像	着信時や通話中に表示される画像を登録できます。
	勤務先、部署、役職	勤務先名、部署名、役職名を登録できます。
	表題	登録した連絡先の表示のしかたを設定できます。
	勤務先電話、勤務先FAX、勤務先住所	勤務先の電話、FAX、住所を登録できます。
	IM	インスタントメッセージの宛先を登録できます。
	電子メール	電子メールのアドレスを登録できます。
	携帯電話	携帯電話の電話番号を登録できます。
	着信音	連絡先に個別の着信音を設定できます。
	Webページ	ホームページのURLなどを登録できます。
	事業所、自宅電話、自宅住所	事業所名、自宅の電話番号、自宅の住所を登録できます。
	分類項目	連絡先のカテゴリを選択できます。
	その他の住所～子供	その他の住所、ポケットベル、自動車電話、自宅のFAX、会社の代表電話番号、勤務先／自宅その他の電話番号、PHS番号、その他のインスタントメッセージ宛先、その他の電子メールアドレス、秘書、秘書の電話、上司、ID番号、アカウント、カスタマーID、誕生日、記念日、配偶者、子供の情報を登録できます。
メモ	–	メモを入力できます。

1 「スタート」→「連絡先」→「新規作成」

連絡先の種類の選択画面が表示されます。

2 「Outlook 連絡先」または「SIM カード連絡先」をタップする

3 必要な項目を入力する

- 「分類項目」を設定すると、関連のある連絡先をグループ化して管理できます。表示される分類項目から選択するか、「新規」をタップして新しい項目を作成します。
- 連絡先に写真を登録するには、「画像の選択」をタップして画像ファイルを選択するか、「カメラ」をタップして写真を撮影します。登録した画像ファイルは、この連絡先から着信したときに電話画面に表示されます。

4 「OK」をタップする

おしらせ

- 連絡先に電話番号を入力するときに、自動的に表示される市外局番を変更するには、連絡先一覧で「メニュー」→「オプション」をタップし、設定されている市外局番を変更します。
- 連絡先を分類項目で表示している場合、新しく作成した連絡先は表示中の分類項目に登録されます。
- ホーム画面→「Phone」→「メニュー」→「連絡先」をタップして設定することもできます。

メールグループに登録する

メールグループに登録した相手に、一斉にメールを送信することができます。

1 「スタート」→「連絡先」→「新規作成」

2 「電子メールグループ」または「SMSグループ」をタップする

3 グループ名を入力する

4 「メンバーの追加」をタップし、登録したい連絡先をタップする

- 連絡先の検索方法については、P.59を参照してください。

5 「完了」をタップする

登録したメンバーがリストに表示されます。

- メンバーを削除する場合は、削除したいメンバーを選択し、「メニュー」→「メンバーの削除」→「はい」をタップします。

6 「OK」をタップする

メンバーにメールを送信する

1 「スタート」→「連絡先」

2 送信したいグループをタップする

3 「電子メール」または「SMS」をタップする

4 件名、本文などを入力し、「送信」をタップする

詳しくは、「メール／Windows Live」（P.77）を参照してください。

連絡先の内容を確認する

1 「スタート」→「連絡先」

連絡先一覧が表示されます。

2 確認したい連絡先をタップする

最新の発着信履歴が、電話番号やメールアドレスなどの情報と一緒に表示されます。

連絡先を検索する

表示方法により検索対象が異なります。表示方法が、「名前」の場合は名前が、「勤務先」の場合は勤務先が検索対象となります。

1 「スタート」→「連絡先」

連絡先一覧が表示されます。

2 「1」、「A」、「ア」～「ワ」タブをタップして検索対象を表示する

- 「名前の入力」欄に入力して検索することもできます。

おしらせ

- 「1」、「A」、「ア」～「ワ」タブをタップしたままにして表示されるインデックスから、連絡先の頭文字で検索することもできます。
- 分類項目から検索するには、連絡先一覧で「メニュー」→「フィルター」をタップし、連絡先の「分類項目」をタップします。すべての連絡先を表示するには、「すべての連絡先」をタップします。

連絡先の内容を変更する

1 「スタート」→「連絡先」

2 変更したい連絡先をタップする

3 「メニュー」→「編集」

4 変更する箇所を入力し、「OK」をタップする

連絡先を削除する

1 「スタート」→「連絡先」

2 削除したい連絡先をタップして概要を表示する

3 「メニュー」→「連絡先の削除」または「SIM カード連絡先の削除」→「はい」

連絡先情報を送信する

連絡先をBluetooth通信で送信することができます。

1 「スタート」→「連絡先」

2 送信したい連絡先をタップして概要を表示する

3 「メニュー」→「連絡先の送信」→「ビーム」

送信先の検索が始まります。以降は画面の指示にしたがって操作します。

おしらせ

- Bluetooth通信で連絡先を送信するには、FOMA端末と相手先のBluetooth機能がオンになっており、検出可能なモードに設定されている必要があります。

UIMマネージャーを利用する

[UIMマネージャー]

FOMA端末（本体）とFOMAカードの連絡先の情報を相互にコピーすることができます。

1 「スタート」→「UIMマネージャー」

2 確認したい連絡先のアイコン(FOMAカード／本体)をタップする

連絡先一覧が表示されます。

3 利用したい連絡先にチェックを付け、「メニュー」をタップする

以下から利用したい項目を選択します。

削除	チェックを付けている連絡先データを削除します。
本体へコピー／UIMへコピー	チェックを付けている連絡先データをFOMAカードから本体へ／本体からFOMAカードへコピーします。
オプション	FOMAカードから本体へ連絡先をコピーするときの登録先を設定します。
全選択	すべての連絡先データにチェックを付けます。
全選択解除	すべての連絡先データのチェックを外します。

おしらせ

- 本体に登録されている連絡先をUIMマネージャーから削除しようとすると、項目によっては削除されない場合があります。その場合は、連絡先を開いてから削除（P.60）してください。
- ホーム画面→「Tools」→「UIMマネージャー」をタップして連絡先をコピーすることもできます。
- UIMマネージャーを利用して、連絡先に登録されている電子メールアドレスをFOMAカードへコピーすることはできません。コピーする場合は以下の操作を行います。
  「スタート」→「連絡先」→コピーしたい連絡先をタップしたままにする→「連絡先のコピー」→「SIMへ」

電話帳コピーツールを利用する

[電話帳コピーツール]

電話帳コピーツール（以下、本ソフトウェア）は、本FOMA端末と相手端末（FOMAまたはWindows Mobile）間で、Bluetooth通信またはmicroSDカードを利用した連絡先データの全件移行を行うためのソフトウェアです。

- Bluetooth通信で移行する場合は、本ソフトウェアを起動する前に本FOMA端末と相手端末のBluetooth機能が有効になっていることをあらかじめご確認ください（P.158）。
- microSDカードで移行する場合は、本ソフトウェアを起動する前にmicroSDカードが挿入されていることをあらかじめご確認ください（P.113）。
- 詳しい操作説明および対応機種については、ドコモのホームページをご覧ください。

連絡先データをコピー先に送信する

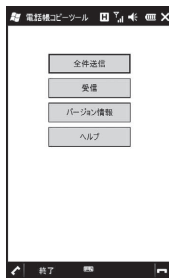
1 「スタート」→「電話帳コピーツール」

- 初回起動時は使用許諾契約書を読み、「同意します」をタップします。

2 「全件送信」→「Bluetooth」／「外部メモリ」

「外部メモリ」を選択した場合は、microSDカードに連絡先データがコピーされます。

- 「Bluetooth」を選択した場合は、画面の指示にしたがって操作し、相手端末に連絡先データをコピーします。

3 「OK」をタップする

連絡先データをコピー元から受信する

1 「スタート」→「電話帳コピーツール」

2 「受信」→「上書登録」／「追加登録」

- 以降は画面の指示にしたがって操作し、コピー元から連絡先データをコピーします。

3 「OK」をタップする

仕事を登録する

[仕事]

仕事を登録して、期限や進捗状況を管理できます。優先度やアラームを設定したり、項目別に分類することもできます。

- 仕事に登録できるのは以下の内容です。

タブ	項目	内容
仕事	件名	仕事の名称を登録します。
	優先度	優先度を設定します。
	進捗状況	作業中か、終了した仕事かを設定します。
	開始日	開始日を設定します。
	期限	期限を設定します。
	パターン	1回だけの仕事か、定期的（毎週、毎月、毎年）な仕事かを設定します。
	アラーム	アラームを通知する日時を設定します。
	分類項目	関連する仕事をグループ化します。フィルターの条件として指定できます。
	秘密度	秘密にする度合いを設定します。
メモ	－	メモを入力できます。

1 「スタート」→「仕事」

仕事の一覧が表示されます。

2 「メニュー」→「新しい仕事」

次ページへ続く

3 件名を入力し､優先度､開始日､期限などを入力する

• 「分類項目」を設定すると、関連のある仕事をグループ化して管理できます。表示される分類項目から選択するか、「新規」をタップして新しい項目を作成します。

4 「OK」をタップする

おしらせ
- 件名のみの仕事を登録する場合は、「ここをタップして新しい仕事を追加」をタップして件名を入力することもできます。
- 「ここをタップして新しい仕事を追加」が表示されないときは､「メニュー」→「オプション」→「仕事入力バーを表示する」にチェックを付けます。
- 「パターン」で「1回」以外を選択した場合は､「進捗状況」「開始日」「期限」を設定することはできません。

仕事の内容を変更する

1 「スタート」→「仕事」

2 変更したい仕事をタップし､「編集」をタップする

3 変更する箇所を入力し､「OK」をタップする

仕事を削除する

1 「スタート」→「仕事」

2 削除したい仕事をタップして詳細を表示する

3 「メニュー」→「削除」→「はい」

仕事のオプション設定

仕事のアラームや表示方法に関する設定を行います。

1 「スタート」→「仕事」→「メニュー」→「オプション」

2 必要な項目にチェックを付け､「OK」をタップする

項目	説明
新しいアイテムにアラームを設定する	新しい仕事を登録する際、開始日または期限を設定したときに、自動的にアラームを設定します。
開始日と期限を表示する	仕事を一覧表示する際、開始日と期限を表示します。
仕事入力バーを表示する	「ここをタップして新しい仕事を追加」のバーを表示します。

仕事の内容を確認する

仕事の表示方法を変更する

仕事を並べ替えたり、フィルター機能を利用することができます。

1 「スタート」→「仕事」→「メニュー」→「並べ替え」または「フィルター」

2 該当項目をタップする

おしらせ
- フィルター機能で絞り込んだ内容を元に戻す場合は､「メニュー」→「フィルター」→「すべての仕事」をタップします。ただし、「作業中の仕事」または「終了した仕事」で絞り込んでいる場合は、チェックが付いている項目を再度選択してください。

仕事の状態を設定する

登録した仕事の状態（作業中、作業の終了）を設定できます。

1 「スタート」→「仕事」

2 設定する仕事のチェックを外す(作業中)またはチェックを付ける(作業の終了)

仕事を送信する

仕事の内容をBluetooth通信で送信することができます。

1 「スタート」→「仕事」

2 送信したい仕事をタップして詳細を表示する

3 「メニュー」→「ビーム」

送信先の検索が始まります。以降は画面の指示にしたがって操作します。

おしらせ

● Bluetooth通信で仕事を送信するには、FOMA端末と相手先のBluetooth機能がオンになっており、検出可能なモードに設定されている必要があります。

予定を登録する

［予定表］

仕事の予定などを登録して、開始日時や終了日時などを管理できます。

● 予定表に登録できるのは以下の内容です。

タブ	項目	内容
予定	件名	名称を設定します。
	場所	場所を設定します。
	開始	開始日時を設定します。
	終了	終了日時を設定します。
	終日	終日の予定にするかどうかを設定します。
	パターン	1回だけの予定か、定期的（毎週、毎月、毎年）な予定かを設定します。
	アラーム	事前通知（開始日よりどのくらい前に通知するか）を設定します。
	分類項目	関連する予定をグループ化します。フィルターの条件として指定できます。
	出席者	出席者を連絡表から選択します。設定した場合、入力した予定を出席者に通知できます。 ※あらかじめ出席者の連絡先に、電子メールアドレスを登録しておく必要があります。
	公開方法	予定の種類を設定します。
	秘密度	秘密にする度合いを設定します。
メモ	－	メモを入力できます。

1 「スタート」→「予定表」→「メニュー」→「新しい予定」

2 件名を入力し、場所、開始日時や終了日時などを入力する

- 予定の事前通知（アラーム）を行う場合は、「アラーム」を「通知」にして、通知するまでの時間を設定します。

3 「OK」をタップする

おしらせ

● 終日のイベントは、予定表の一番上に表示されます。
● ホーム画面→「Tools」→「予定表」をタップして設定することもできます。

予定表を表示する

表示する単位を切り替える

1「スタート」→「予定表」

2「日」／「週」／「月」／「年」／「予定一覧」をタップする

日、週、月、年、予定一覧をタップするたびに、予定表の画面が切り替わります。

おしらせ

- 「メニュー」→「表示」から表示する単位を切り替えることもできます。
- 月／年の表示で日付を選択すると、日単位の表示に切り替わります。
- 年単位の表示では、6週目の日付とその1週間前の日付が「／」で表示されます。「／」部分の日付を選択する場合は、「／」をタップしたまま上下にずらし、該当する日付が表示されたところで離すと、日単位の表示に切り替わります。

指定した日の予定を表示する

1「スタート」→「予定表」→「メニュー」→「指定の日付へ移動」

カレンダーが表示されます。

2 表示したい日付をタップする

予定表のオプション設定

予定表の表示形式やアラームのパターンなどを設定します。

1「スタート」→「予定表」→「メニュー」→「ツール」→「オプション」

2「全般」タブと「予定」タブで必要な項目を設定し、「OK」をタップする

「全般」タブ	既定の画面	予定表を起動したときの表示方法を設定します。
	週の最初の曜日	カレンダーの左端を日曜日または月曜日にするかを設定します。
	週単位の表示	1週間のうち何日表示するかを設定します。
	30分単位で表示する	日単位／週単位表示での時間軸が30分単位で表示されます。
	週番号を表示する	チェックを付けると、月単位表示の左端に週番号が表示されます。
「予定」タブ	新しいアイテムにアラームを設定する	チェックを付けると、予定登録時に自動的にアラームを設定します。
	アイコンの表示	予定登録画面に表示するアイコンを設定します。
	会議出席依頼の送信方法	出席者に予定を通知する方法を設定します。

予定表の内容を変更する

1「スタート」→「予定表」

- 月単位、年単位で表示している場合は、変更したい予定が登録されている日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。

2 変更したい予定をタップする

3「メニュー」→「編集」

4 変更する箇所を入力し、「OK」をタップする

予定を削除する

1 「スタート」→「予定表」

- 月単位、年単位で表示している場合は、削除したい予定が登録されている日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。

2 削除したい予定をタップして詳細を表示する

3 「メニュー」→「削除」→「はい」

予定を送信する

会議出席依頼を送信する

OutlookまたはOutlook Mobileを使用している相手に電子メールで会議出席依頼を送信できます。

1 「スタート」→「予定表」

- 月単位、年単位で表示している場合は、送信したい予定が登録されている日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。

2 会議出席依頼を送信したい予定をタップして詳細を表示する

3 「メニュー」→「編集」

4 「出席者」をタップし、「必須出席者の追加」または「任意出席者の追加」をタップして出席を依頼したい連絡先を追加する

- 新しい連絡先を追加する場合は、「メニュー」→「新しい連絡先」をタップし、連絡先に登録後「選択」をタップします。

5 「完了」→「OK」→「はい」

予定表の内容がOutlookメールの「送信トレイ」に保存されます。

おしらせ

- メールで出席依頼を送信する場合は、次回FOMA端末をパソコンと同期させるときに出席者に送信されます。
- 会議出席依頼の送信方法は、「メニュー」→「ツール」→「オプション」→「予定」タブの「会議出席依頼の送信方法」で設定します。

予定をBluetooth通信で送信する

1 「スタート」→「予定表」

- 月単位、年単位で表示している場合は、送信したい予定が登録されている日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。

2 送信したい予定をタップして詳細を表示する

3 「メニュー」→「ビーム」

送信先の検索が始まります。以降は画面の指示にしたがって操作します。

おしらせ

- Bluetooth通信で予定を送信するには、FOMA端末と相手先のBluetooth機能がオンになっており、検出可能なモードに設定されている必要があります。

メモを利用する

[メモ]

メモを作成する

手書きやキーボード入力でメモを作成できます。

入力モードを設定する

1 「スタート」→「メモ」→「メニュー」→「オプション」

- 初回起動時は、「メモ」をタップしたあと「OK」をタップしてから操作を続けてください。

2 「既定のモード」で入力モードを選択し、「OK」をタップする

手書き	絵を描いたり、手書きで文字を書いてメモを作成します。
入力	文字入力パッドで文字をタップしてメモを作成します。

おしらせ

- 手書きモードを選択しても、文字入力パッドを表示すると既定のモードが入力モードに切り替わります。再度手書きモードに変更するには、「メニュー」→「描画」をタップしてください。
- ホーム画面→「Tools」→「メモ」をタップして作成することもできます。

メモに絵を描く（手書き）

1 「スタート」→「メモ」→「新規」

2 絵を描く

絵のまわりに選択ボックスが表示されます。

3 描画が終わったら「OK」をタップする

おしらせ

- 描画範囲を選択する場合は、画面上で1秒以上タップしてください。十字が表示されたら、そのままドラッグして選択できます。画面から指を離すと選択範囲が確定されます。

メモを作成する（文字入力パッド入力）

- 文字の入力方法については、「文字を入力する」（P.166）を参照してください。

1 「スタート」→「メモ」→「新規」

2 文字入力パッドで入力し、「OK」をタップする

ボイスメモを録音／再生する

ボイスメモを録音する

録音した音声は、音声ファイルとして登録したり、メモに音声を添付したりできます。

1 「スタート」→「メモ」

メモ画面が表示されます。

2 「メニュー」→「録音ツール バーの表示」

- 音声ファイルとして登録する場合は手順4に進みます。
- メモに音声を添付する場合は手順3に進みます。

3 「新規」をタップ

メモ入力画面が表示されます。録音ツールバーが消えた場合は手順2を繰り返します。

4 ●(録音)をタップして録音を開始する

5 ■(停止)をタップして録音を終了する

おしらせ

- メモに音声を添付した場合は、録音終了後に「OK」をタップしてメモ一覧に戻ります。
- メモに音声を添付すると、メモ入力画面に🔊が表示されます。
- 音声ファイルとして登録した場合もメモ一覧に表示されます。

ボイスメモを再生する

1 「スタート」→「メモ」

メモ画面が表示されます。

2 再生したいメモをタップする

メモ入力画面が表示されます。音声ファイルをタップした場合は録音内容が再生されます。

3 対象のをタップする

録音内容が再生されます。

録音形式を変更する

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「入力」

2 「オプション」タブ→「録音形式」のリストから形式を選択する

3 「OK」をタップする

おしらせ

- メモ一覧で「メニュー」→「オプション」→「入力オプション」をタップし、「オプション」タブで変更することもできます。

メモを削除する

1 「スタート」→「メモ」

2 削除したいメモをタップして詳細を表示する

3 「メニュー」→「ツール」→「削除」→「はい」

メモを送信する

メモの内容をBluetooth通信で送信することができます。

1 「スタート」→「メモ」

2 送信したいメモをタップして詳細を表示する

3 「メニュー」→「ツール」→「ビーム」

送信先の検索が始まります。以降は画面の指示にしたがって操作します。

おしらせ

- Bluetooth通信でメモを送信するには、FOMA端末と相手先のBluetooth機能がオンになっており、検出可能なモードに設定されている必要があります。

あんしん設定

■暗証番号について

FOMA端末で利用する暗証番号について 70

PINコードを設定する 71

PINロックを解除する 72

■携帯電話の操作を制限する

ほかの人が使用できないようにする....[デバイスロック] 72

キー操作を無効にする...................... [キー操作ロック] 72

デバイスロック／キー操作無効の通知アイコン
について 73

証明書を確認する 73

■発着信を制限する

通話・通信機能のオン／オフを切り替える
.... [ワイヤレスマネージャー] 73

■その他の「あんしん設定」について

その他の「あんしん設定」一覧 74

おまかせロックを利用する.. 74

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。FOMA端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- 入力した端末暗証番号、ネットワーク暗証番号、PIN1／PIN2コード、PINロック解除コードは、「＊」で表示されます。

■各種暗証番号に関するご注意

・設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
・暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
・FOMA端末をロックするためのパスワードを忘れてしまった場合は、「マスタークリア」を実行してパスワードを再設定してください。その他の暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までご相談ください。

FOMA端末をロックするための暗証番号

「デバイスロック」で使用するための暗証番号です。安全のため、このパスワードは設定しておくことをおすすめします。

- この暗証番号が設定されていない場合、第三者が無断で「マスタークリア」（P.149）や「デバイスロック」の設定（P.72）などの重要な操作を実行できてしまいます。
- 「マスタークリア」を実行して、初期設定画面から新たに暗証番号を設定し直すことができます。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ・スマートフォン・ケアでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
※「My docomo」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

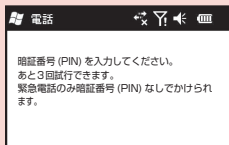
PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（P.71）。
PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2コードは、ユーザー証明書利用時や発行申請などに使用する4～8桁の暗証番号です。
※本FOMA端末ではPIN2コードを利用する機能はありません。

- 別のFOMA端末で利用していたFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PIN1／PIN2コードの入力を3回連続して間違えると、PIN1／PIN2コードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

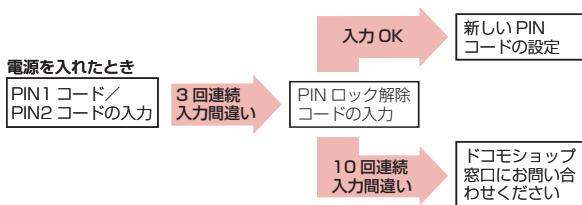
注意

- 電源を入れたときに「PIN1コード解除画面」で、緊急電話がかけられるメッセージが表示されますが、国内では緊急通報（110番、119番、118番）ができません。

暗証番号 (PIN) を入力してください。
あと3回試行できます。
緊急電話のみ暗証番号 (PIN) なしでかけられます。

PINロック解除コード（PUK）

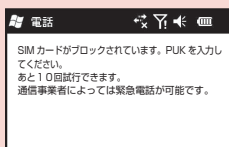
PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、FOMAカードがロックされます。

電源を入れたとき
PIN1 コード／PIN2 コードの入力
→ 3 回連続入力間違い →
PIN ロック解除コードの入力
→ 入力 OK → 新しい PIN コードの設定
→ 10 回連続入力間違い → ドコモショップ窓口にお問い合わせください

注意

- 「PINロック解除コード（PUK）を入力する画面」で、緊急電話がかけられるメッセージが表示されますが、国内では緊急通報（110番、119番、118番）ができません。

電話

SIM カードがブロックされています。PUK を入力してください。
あと10回試行できます。
通信事業者によっては緊急電話が可能です。

PINコードを設定する

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「電話」→「セキュリティ」タブ

2 「電話使用時に暗証番号（PIN）を要求」をタップする

暗証番号を入力する画面が表示されます。

3 暗証番号を入力し、「入力」をタップする

「電話使用時に暗証番号（PIN）を要求」にチェックが付きます。

4 「OK」をタップする

おしらせ

- はじめて暗証番号を入力する場合は、0000を入力してください。

PINコードを変更する

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「電話」→「セキュリティ」タブ

2 「暗証番号の変更」をタップする

PIN1コードの変更ができます。

■PIN2コードを変更するには

「スタート」→「設定」→「個人」→「電話」→「セキュリティ」タブ→「暗証番号2の変更」をタップします。

3 古い暗証番号を入力し、「入力」をタップする

4 新しい暗証番号を入力し、「入力」をタップする

5 新しい暗証番号を再入力し、「入力」をタップする

6 「OK」をタップする

PINロックを解除する

PIN1コード、PIN2コードの入力を3回連続して間違えると、FOMAカードがロックされます。PINロック解除コードを入力してロックを解除したあと、新しいPIN1コード（暗証番号）を設定します。

1 **PINロック解除コードの入力画面で、8桁のPINロック解除コードを入力し、「入力」をタップする**

2 **「新しい暗証番号」を入力し、「新しい暗証番号」を再入力する**

3 **「入力」→「入力」をタップする**

ほかの人が使用できないようにする［デバイスロック］

FOMA端末を操作しない状態が一定時間続いたときに、画面のタップやボタン操作ができないように自動的にロックします。

- デバイスロック中でも、以下の操作を行うことができます。
  - ・緊急通報番号（110番、119番、118番）に電話をかける（PINロック未解除時／FOMAカード未挿入時を除く）
  - ・電話を受ける
  - ・メールを受信する

1 **「スタート」→「設定」→「ロック」→「パスワード」タブ**

2 **「パスワード入力が必要になるまでの時間」にチェックを付け、時間を選択する**

3 **パスワードの種類を選択し、「パスワード」と「確認入力」にパスワードを入力する**

4 **「OK」→「はい」**

■デバイスロックを解除するには

を左右になぞってパスワードを入力し、をタップします。

- をタップすると連絡先が起動します。
- をタップするとメールが起動します。

おしらせ

- パスワードをお忘れにならないようにメモを取ることをおすすめします。
- ホーム画面→「Settings」→「ロック」をタップしてデバイスロックを設定することもできます。

パスワードを変更する

1 **「スタート」→「設定」→「ロック」→パスワードを入力→「ロックの解除」**

2 **「パスワード」と「確認入力」に新しいパスワードを入力し、「OK」をタップする**

3 **「はい」をタップする**

キー操作を無効にする［キー操作ロック］

カバンやポケットの中で誤ってボタンが押されても、動作しないように設定できます。

- ロック中でも、以下の操作を行うことができます。
  - ・電話を受ける
  - ・メールを受信する

1 **を1秒以上押す**

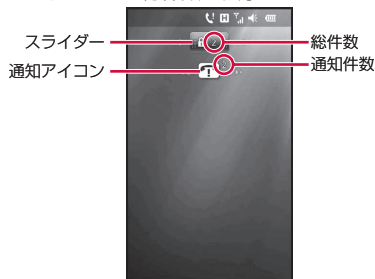
が表示され、画面のタップや、以外のボタン操作ができなくなります。

■ロックを解除するには

を左右になぞります。

あんしん設定

デバイスロック／キー操作無効の通知アイコンについて

デバイスロック画面に「タップまたはスライドしてください。」が表示されているとき、スライダーをタップすると通知アイコンが表示されます。
通知アイコンを左右になぞって、不在着信や新着メールなどを確認できます。
伝言メッセージ以外の各通知アイコンには通知の件数（2件以上ある場合）、スライダーには総件数が表示されます。

デバイスロック画面

通知アイコン	
(icon)	伝言メッセージあり（P.172）
(icon)	不在着信（P.49）
(icon)	新着電子メール（P.81）
(icon)	新着SMSメッセージ（P.83）

証明書を確認する

FOMA端末にインストールされている証明書の情報を確認できます。

1 **「スタート」→「設定」→「システム」→「証明書」**

通話・通信機能のオン／オフを切り替える

［ワイヤレスマネージャー］

WM6.5 初期設定内容	電話：On Bluetooth：Off Wi-Fi：Off

電話機能や通信機能のオン／オフを切り替えることができます。

1 **「スタート」→「設定」→「接続」→「ワイヤレスマネージャー」**

ワイヤレスマネージャー画面が表示されます。

2 **設定する項目名をタップする**

「On」と「Off」は項目名をタップするたびに切り替わります。
- 利用できない場合は、「利用不可」と表示されます。

電話	電話機能のオン／オフを切り替えます。
Bluetooth	Bluetooth機能のオン／オフを切り替えます。
Wi-Fi	ワイヤレスLAN機能のオン／オフを切り替えます。

3 **「完了」をタップする**

おしらせ
- ホーム画面→「Settings」→「ワイヤレスマネージャー」をタップして切り替えることもできます。

その他の「あんしん設定」一覧

本章で紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがありますのでご活用ください。

機能／サービス名称	目的	参照先
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	P.175
番号通知お願いサービス	発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	P.176
ソフトウェア更新	必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	P.197
スキャン機能	障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	P.142

おしらせ

- 見知らぬ着信履歴には、電話をかけ直さないようにご注意ください。特に、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしてのおかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。

おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、連絡先などの個人データにロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーを守ります。また、お申し込み時にロックがかからない場合で、1年以内に通信が可能になった場合、自動的にロックがかかります。ただし、解約・利用休止・電話番号変更・紛失時などで新しいFOMAカードの発行（番号を指定してロックした場合のみ）を行った場合は、1年以内であっても自動的にロックはかかりません。
お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

- ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります。（ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合には無料になります。）また、ケータイあんしんパックご契約の場合、ケータイあんしんパック定額料金内でご利用いただけます。

おまかせロックの設定／解除

フリーダイヤル　0120-524-360　受付時間　24時間
※パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

おまかせロックを起動すると

待受画面に「おまかせロック中です」と表示されます。

- 電源ON／OFF操作を除いたキー操作ができなくなります。
- FOMAカードやmicroSDカードにはロックがかかりませんのであらかじめご了承ください。

■ご注意

- 本FOMA端末は、一部ロック対象や、ロック中の動作に制限があります。
  ・おまかせロック中でもSMSは受信しますが、参照できません。
  ・おまかせロック中は発着信はできません。
- FOMA端末の圏外・電源OFF時・電話「OFF」設定中、海外での使用時はロックおよびロック解除はできません。その他お客様のご利用方法などにより、ロックがかからない場合があります。
- 電源ON／OFF操作はできますが、電源OFFを行ってもロックは解除されません。
- 「デュアルネットワークサービス」をご契約のお客様がmovaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
- ご契約者の方と本FOMA端末を所持している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードを本FOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「ドコモ･スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。
- 接続先限定をお申し込みのFOMAカードをご利用時に、本FOMA端末を紛失した際は、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。
- FOMAカードにPINロックを設定している場合に、ロック状態で電源断になると、ロック解除ができなくなります。その際には、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。

メール／Windows Live

■メールを利用する
メールについて 78
メールを使うために必要な設定をする 79

■メールの送受信と操作
電子メールを作成して送信する .... [新規作成] 80
ファイルを添付する 81
作成中の電子メールを保存しておき、あとで送信する ... 81
電子メールを受信する 81
電子メールに返信する .... [返信] 81
電子メールを転送する .... [転送] 82
電子メールを削除する 82
パケット通信回線を切断する 82
添付ファイルを確認する／保存する 82
メールアカウント内のメールBOXを操作する 82

■SMSを使う
SMSについて 83
SMSを作成して送信する 83
SMSを受信したときは 83

■ｉモード.net モバイルモードを利用する
ｉモード.net モバイルモード 84

■Windows Liveを利用する
Windows Live 84
Windows Liveにサインインする
.... [Windows Live] 85
Windows Liveのインターフェース 86
Messengerを利用する 86
Windows Liveメールを利用する 87

メールについて

本FOMA端末では、電子メールをプロバイダから送受信したり、携帯電話ネットワークを使ってSMSを送受信することができます。
- 電子メールを使用するには、事前にメールアカウントを設定する必要があります。
- 電子メールを利用したあとに手動で回線を切断する場合は、「パケット通信回線を切断する」（P.82）を参照してください。

一定の間隔でメールサーバに接続するように設定すると、擬似的にメールを自動受信できますが、従量制データ通信をご利用の場合、サーバに接続するたびに料金がかかります。

メールをはじめるまでの流れ

■パケット通信で接続する

■ワイヤレスLANで接続する

利用形態を決める

↓

- **公衆無線 LAN サービスで接続する**
  サービス提供者と契約して接続に必要な情報を入手する
- **企業内 LAN に接続する**
  ネットワーク管理者に問い合わせて接続に必要な情報を入手する
- **家庭内など個人環境で接続する**
  アクセスポイントを設置して取扱説明書などから接続に必要な情報を入手する

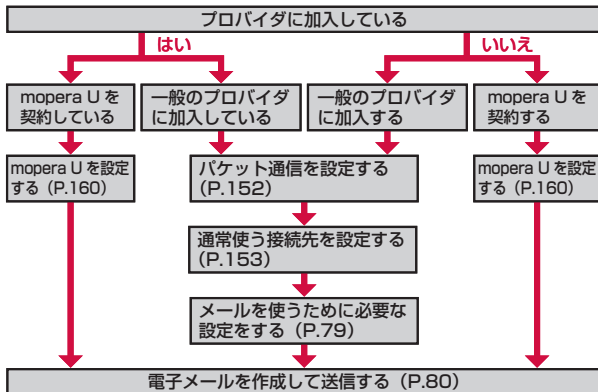
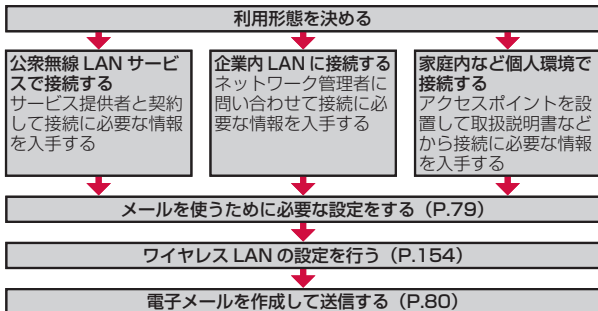
↓

メールを使うために必要な設定をする（P.79）

↓

ワイヤレス LAN の設定を行う（P.154）

↓

電子メールを作成して送信する（P.80）

おしらせ

- パソコンやほかの携帯電話とメールを送受信した場合、利用環境によっては絵文字やHTMLメールなどの内容が正しく表示されない場合があります。

ご利用料金について
- 電子メールの送受信では、画面に表示される文字や画像以外に通信が必要なデータが含まれており、その部分も課金の対象となります。

mopera Uについて
- 別途お申し込みが必要です。
- インターネット接続サービスのmopera Uにお申し込みいただいたお客様は、FOMA端末ですぐにインターネットをご利用になれます。詳しくは、ドコモのホームページでご確認ください。
- mopera U未契約の方は、「スタート」→「mopera U端末設定」からアクセスすると、お申し込み画面（オンラインサインアップ）に進むことができます。

Biz・ホーダイ／Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルについて
- mopera Uに加えてBiz・ホーダイ、Biz・ホーダイ ダブル、またはBiz・ホーダイ シンプルを契約すると、定額制サービスをご利用になれます。Biz・ホーダイ、Biz・ホーダイ ダブル、およびBiz・ホーダイ シンプルについては、「Biz･ホーダイ／Biz･ホーダイ ダブル／Biz･ホーダイ シンプル」（P.162）を参照してください。
- Biz・ホーダイ、Biz・ホーダイ ダブル、またはBiz・ホーダイ シンプルを契約された場合は、「mopera U(Biz・ホーダイ)」を通常使う接続先に設定してください。
- Biz・ホーダイ、Biz・ホーダイ ダブル、およびBiz・ホーダイ シンプルの適用外の通信を行う場合は、ご利用料金が高額にならないようにご注意ください。

メールを使うために必要な設定をする

メールの送受信を行う前に、メールアカウントを設定する必要があります。

mopera Uのメールアカウントを設定する場合

「mopera U」のメール設定が簡単に行えます。

- あらかじめmopera Uの契約が必要です。

1 「スタート」→「mopera U端末設定」

2 画面の指示にしたがい設定する

mopera U端末設定（P.160）
詳細な設定を行う場合は、「一般プロバイダのメールアカウントを設定する場合」（P.79）の手順6の表を参照の上、「スタート」→「電子メール」→「メニュー」→「オプション」→アカウントを選択する→「アカウントの設定の編集」から、設定してください。

一般プロバイダのメールアカウントを設定する場合

最大6件のメールアカウント（Outlookメール以外）を設定することができます。

1 「スタート」→「電子メール」

アカウント選択画面が表示されます。

2 「電子メールの設定」をタップする

3 電子メールアドレス、パスワードを入力し、「次へ」をタップする

4 「インターネットから電子メール設定を自動的に取得する」にチェックを付け、「次へ」をタップする

このオプションを選択すると、手動でメール設定をしなくても、メールサーバにより自動的に設定されます（サーバの種類によっては、自動的に設定されない場合があります）。

5 自動設定が完了したら「次へ」をタップする

■自動設定が失敗した場合

電子メールのプロバイダの種類からインターネット電子メールを選択し、メールサーバを設定します。

- 受信メールサーバと送信メールサーバは、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
- 送信メールサーバのポート番号を入力する必要がある場合は、「送信（SMTP）メール サーバー」欄に以下のように入力します。（例：mail.mopera.net:584）
- 送信メールサーバによっては、メール送信時に異なるユーザー名とパスワードが必要な場合があります。この場合は、「送信サーバーで認証を要求する」にチェックを付けたあと、「送信電子メールに同じ名前とパスワードを使用する」のチェックを外してください。
- ご利用のプロバイダがメールのセキュリティを高めるためにSSL接続を使用している場合、「サーバーの詳細設定」をタップし、「受信電子メールにはSSLが必要」「送信電子メールにはSSLが必要」にチェックを付けます。「ネットワーク接続」の一覧からインターネット接続に使用するデータ接続を選択します。

6 「全ダウンロード設定の確認」をタップし、必要に応じて以下の項目を設定する

自動送受信	インターネットに自動接続し、メッセージを送受信する時間間隔を選択します。 電池の減りを防ぐため、自動送受信の時間間隔をあまり短く設定しないことをおすすめします。
メッセージのダウンロード	FOMA端末にメッセージをダウンロードする日数を設定します。
［送信］をクリックしたとき送受信を実行する	送信メールを送信トレイに保存する場合はチェックを外します（WM6.5初期設定内容は、「送信」をタップするとすぐメッセージが送信される設定になっています）。チェックを外すと、「メニュー」→「送受信」をタップしなければメッセージは送信されません。
ローミング時に自動送受信スケジュールを使用する	インターネットに自動接続する間隔が設定されている場合、FOMA端末へのデータローミングも行えます。この方法は、接続料金がかかるため、通常はチェックを外しておくことをおすすめします。

次ページへ続く

メッセージの削除時	FOMA端末から削除したメールは、サーバ上でも削除するよう設定します。
メッセージ形式	HTML形式かテキスト形式で送受信するかを設定します。
メッセージのダウンロード制限	メールのダウンロードサイズを設定します。
添付ファイルのダウンロード	添付ファイルのダウンロードサイズを設定します。

おしらせ

- ホーム画面→「Mail」をタップして設定することもできます。

メールアカウントのオプションを設定する

署名を作成する

SMS、Outlookメール、登録した複数のメールアカウントのメール、Windows Liveメールそれぞれに自動的に挿入する署名を作成します。

1 「スタート」→「電子メール」→アカウントを選択してタップする

2 「メニュー」→「ツール」→「オプション」

3 「アカウント」タブ→「署名」

4 「アカウントの選択」で署名を使用したいアカウントを選択する

5 「このアカウントで署名を使用する」にチェックを付ける

- 返信／転送するときに署名を挿入する場合は、「返信／転送時に使用する」にチェックを付けます。

6 署名を入力し、「OK」をタップする

その他のオプションを設定する

1 「スタート」→「電子メール」→アカウントを選択してタップする

2 「メニュー」→「ツール」→「オプション」

3 必要な項目を設定し、「OK」をタップする

「アカウント」タブ	それぞれのアカウントの設定を変更できます。新しいアカウントを設定するには「新しいアカウント」をタップします。メールを開くたびにメールアカウントを選択する場合は、「メールを開く際にアカウントを選択する」にチェックを付けます。
「メッセージ」タブ	メールの返信、送信、削除、移動の設定ができます。
「アドレス」タブ	送信先の設定に使用する連絡先を選択できます。
「保存場所」タブ	FOMA端末とmicroSDカードの空き容量、添付ファイルのサイズを確認できます。また、microSDカードに添付ファイルを保存するように設定したり、「[削除済みアイテム]を空にする」で削除済みアイテムの削除タイミングを設定したりすることもできます。

電子メールを作成して送信する

[新規作成]

1 「スタート」→「電子メール」→電子メールアカウントをタップする

2 「メニュー」→「新規」

メッセージ作成画面が表示されます。

3 「宛先」に電子メールアドレスを入力する

- 複数の相手に送信する場合はセミコロン（;）で区切ります。
- 「宛先」をタップすると連絡先に保存されているメールアドレスを選択できます。
- スクロールバーを上に移動して、CC／BCCの宛先にメールアドレスを入力することができます。

4 件名を入力する

メッセージ作成画面

5 **メッセージを入力し､｢送信｣をタップする**

作成したメールが送信されます。

- 作成したメールを送信トレイに保存することもできます（P.79）。
- よく使用するメッセージをすばやく挿入するには、「メニュー」→「マイ テキスト」をタップします。
- スペルチェックを実行するには､｢メニュー｣→｢スペル チェック｣をタップします。
- 優先度を設定するには､｢メニュー｣→｢メッセージのオプション｣で設定します。

おしらせ

● メッセージを分割して送信する機能には対応していません。

ファイルを添付する

1 **メッセージ作成画面(P.80)で､｢メニュー｣→｢挿入｣→｢画像｣／｢ボイス メモ｣／｢ファイル｣**

2 **添付するファイルを選択する／音声を録音する**

3 **メッセージを入力し､｢送信｣をタップする**

作成中の電子メールを保存しておき、あとで送信する

電子メールを一時保存する

1 **メッセージ作成画面(P.80)で､｢メニュー｣→｢下書きに保存｣**

「下書き」フォルダーに保存されます。

保存した電子メールを編集して送信する

1 **｢スタート｣→｢電子メール｣→電子メールアカウントを選択する**

2 **画面左上にある▼をタップする**

3 **｢下書き｣→送信したいメールをタップする**

4 **必要に応じてメッセージを変更し､｢送信｣をタップする**

電子メールを受信する

自動送受信（P.79）を「手動実行」に設定している場合は、以下の操作を行います。

1 **｢スタート｣→｢電子メール｣→電子メールアカウントをタップする**

2 **｢メニュー｣→｢送受信｣**

- 送信トレイにメールが保存されている場合は、「送受信」をタップすると保存されているメールが送信されます。

3 **画面左上にある▼をタップする**

4 **｢受信トレイ｣→読みたいメールをタップする**

メールの内容が表示されます。

おしらせ

● タイトルバーに✉が表示された場合は、メニューバーの「通知」→「表示」をタップします。1件のときはメールの内容を表示し、2件以上のときは受信トレイを表示します。
● メール受信時は、「通知を音で知らせる」（P.137）で設定した通知音が鳴ります。
● パケット通信でメールを受信したあとは、ほかのアプリケーションなどに切り替えても、パケット通信を切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動で回線を切断する場合は、「パケット通信回線を切断する」（P.82）を参照してください。

電子メールに返信する

[返信]

1 **返信したいメールを開き､｢メニュー｣→｢返信／転送｣→｢返信｣**

2 **メッセージを入力し､｢送信｣をタップする**

電子メールを転送する

［転送］

1 転送したいメールを開き、「メニュー」→「返信／転送」→「転送」
2 宛先を入力する
3 メッセージを入力し、「送信」をタップする

電子メールを削除する

1 削除したいメールを開き、「メニュー」→「削除」

おしらせ
- メール一覧の表示中に削除することもできます。
  削除したいメールを選択表示→メニューバーの「削除」→「はい」
- 電子メールの返信、転送、削除は以下の手順でも操作できます。
  返信、転送、または削除したいメールをタップしたままにする→ポップアップメニューから操作したいメニューをタップする

パケット通信回線を切断する

メールを送受信したあと、手動で回線を切断します。

1 タイトルバーの3GまたはHをタップする
2 「切断」をタップする

おしらせ
- 切断するまでインターネットに接続されています。

添付ファイルを確認する／保存する

添付ファイルを確認する

1 メールを開き、ファイル名をタップする
ファイル形式にあったアプリケーションで添付ファイルが開きます。

添付ファイルを保存する

1 メールを開き、ファイル名をタップしたままにする
2 「名前を付けて保存」→「保存」

おしらせ
- 「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」とメッセージが表示された場合は、メッセージをタップするか、「メニュー」→「メッセージのダウンロード」をタップしてください。「次回接続して電子メールを受信するときに、メッセージとすべての添付ファイルをダウンロードします。」と表示されたら、ファイルのダウンロードがはじまり、終了するとファイル名が表示されます。
  メッセージと添付ファイルを取得する際のメッセージ表示は、メールアカウントの種類によって異なります。

メールアカウント内のメールBOXを操作する

メールを並べ替える

1 メール一覧の表示中に「メニュー」→「ツール」→「並べ替え」
「メッセージの種類」、「差出人」、「受信日時」、「件名」で並べ替えることができます。

フォルダーを作成する

1 **メール一覧の表示中に「メニュー」→「ツール」→「フォルダーの管理」**

フォルダーをタップしたままにして「新しいフォルダー」→フォルダー名を入力し、「OK」をタップします。

おしらせ

- 受信トレイからメッセージを選択して「メニュー」→「移動」→新しく作成したフォルダーをタップし、「選択」をタップすると選択したメッセージを移動させることができます。

SMSについて

FOMA端末へ電話番号で全角最大70文字（半角英数字のみの場合は160文字）まで、文字メッセージを送受信できるサービスです。

SMSを作成して送信する

1 **「スタート」→「電子メール」**

2 **アカウント選択画面で「SMS メッセージ」をタップする**

3 **「メニュー」→「新規」**

4 **宛先に送信先の携帯電話番号を入力する**

- 複数の相手に送信する場合は、セミコロン（;）で区切ります。
- 「宛先」をタップすると連絡先に保存されている携帯電話番号を検索して選択できます。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「+」、「国／地域番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国／地域番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください。）

5 **メッセージを入力する**

6 **「送信」をタップする**

おしらせ

- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 宛先に“#”または“*”がある場合、SMSを送信できません。
- 送信するSMSの有効期限は変更できません（3日固定）。

SMSを受信したときは

電話機能をオンに設定している場合は、SMSを自動的に受信します。受信したSMSは「受信トレイ」に保存されます。電話機能がオフの場合は、オンに設定するまで携帯電話会社側のサーバで保管されます。

1 **「スタート」→「電子メール」**

2 **アカウント選択画面で「SMS メッセージ」をタップする**

3 **画面左上にある▼をタップする**

4 **「受信トレイ」→読みたいメールをタップする**

メッセージの内容が表示されます。

おしらせ

- 受信したSMSをFOMAカードに19件までコピーできます。コピーする場合は、メッセージを表示してコピーしたい内容を選択し、「メニュー」→「SIMカードにコピー」をタップします。
- SMS受信時は、「通知を音で知らせる」（P.137）で設定した通知音が鳴ります。
- FOMA端末のメモリ空き容量が少なくなると、タイトルバーにが表示され、SMSを受信できません。古いSMSを削除してください。
- 連絡先に登録されている電話番号とSMSの送信元の電話番号が一致した場合は、SMS受信時に名前が表示されます。
- 本FOMA端末からメールサーバへ、SMSメッセージがあるかどうか問い合わせることはできません。

ｉモード.net モバイルモード

ｉモード.netとは

ｉモード.netとは、パソコンやスマートフォンからもｉモードメールを送受信できるサービスです。モバイルモードはｉモード.netの画面モードの1つであり、スマートフォンに適したシンプルな画面構成でご利用いただけます。

- ｉモード.netはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモード.netの詳細については、ｉモード.netウェブサイト（http://imode.net）をご覧ください。

ｉモード.net モバイルモードを使うための準備

- ブラウザは、Internet Explorer Mobileをご利用ください。
- スクリプトとCookieを「有効」に設定してください（P.95）。
- 以下の操作で、表示設定を「デスクトップ」に設定してください。
  「スタート」→「Internet Explorer」→ → →「表示」→「デスクトップ」

ｉモード.net モバイルモードを利用する

1 「スタート」→「ｉモード.net モバイルモード」

ブラウザが立ち上がり、モバイルモードTOP画面へ通信を開始します。

2 TOP画面が表示されたらdocomo ID、Passwordを入力し「ログイン（T-01A用）」をタップする

認証が正常に終了すると、受信メール一覧画面が表示されます。

- 詳しい利用方法については、ｉモード.net モバイルモードのTOP画面→「ヘルプ」でご確認ください。

おしらせ

- ご利用には別途ｉモード対応機種が必要です。
- ご利用方法やご利用頻度により、パケット通信料金が高額になる場合がありますので、Biz・ホーダイまたはBiz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルでのご利用をおすすめいたします。
- その他注意事項は、ｉモード.net モバイルモードのTOP画面→「ご利用上のご注意」でご確認ください。

Windows Live

Windows Liveは、マイクロソフト社が提供するオンラインサービスです。電子メールやブログを利用したり、Messengerでチャットをしたりすることができます。
Windows Liveには以下の機能があります。

機能	説明
Live Search	ウェブ、画像、ニュース、地図などの情報を検索します。
Windows Live Messenger	デスクトップ、オンライン、モバイルで、友人や家族とチャットできるサービスです。
Windows Live Mail	Hotmailおよびサードパーティのアカウントを含むすべての電子メールアカウントを管理できます。1か所から複数の電子メールアカウントを参照し、返信できます。
Windows Live Hotmail	電子メールメッセージ、カレンダー、連絡先管理、スパム対策などのサービスを利用できます。
Windows Live Contacts	Windows Liveスペースがアップデートされたり、オンライン上の内容が更新されたりすると、そのプレビューを表示できます。また、Hotmailで電子メールを送信する以外にLive Contactsを利用するなど、さまざまな方法で直接連絡をとることができます。
Windows Live Spaces	Messengerや写真をオンライン上で共有したり、自分だけのスペースを利用できる無料ブログサービスです。

■Windows Live IDについて

Windows Live IDでは、一般のプロバイダから提供されている個人でご利用の電子メールアドレスや、お勤め先でご利用の電子メールアドレスをそのままアカウント名として利用できます。また、Hotmailなどのインターネット上で提供される無料の電子メールアドレスを使用することもできます。

- Windows Liveのアカウント（ID）を取得する方法については、「Windows Liveにサインインする」を参照してください。

おしらせ

- Windows Liveをご利用になる際は、FOMA端末をインターネットに接続する必要があります。インターネットへの接続方法は、P.152を参照してください。
- アカウント（ID）の取得について詳しくは、以下のホームページをご覧ください。
  http://www.microsoft.com/japan/mscorp/liveid/default.mspx

Windows Liveにサインインする

[Windows Live]

はじめてWindows Liveをご利用になる際は、Windows Live ID（お手持ちのWindows Live MailまたはHotmailのメールアドレス）を使ってサインインします。

1 **「スタート」→「Windows Live」**

2 **「ここをクリックしてサインインします。」をタップする**

3 **Windows Liveの使用条件とMicrosoftオンライン プライバシーポリシーを読んだあと、「承諾」をタップする**

4 **ご利用のWindows Live MailまたはHotmailアドレスとパスワードを入力し、「パスワードを保存する」にチェックを付け、「次へ」をタップする**

- メールアドレスをお持ちでない場合は、「Windows Live IDの作成」をタップし、画面の指示にしたがってアカウント（ID）を取得してください。

5 **ホーム画面にWindows Liveを表示させる場合はチェックを付け、「次へ」をタップする**

- ホーム画面に「Stripe Menu」が設定されている場合は、ホーム画面にWindows Liveを表示できません。以下の操作で「Stripe Menu」を非表示にします。
  「スタート」→「設定」→「Today」→「アイテム」タブをタップし、「Stripe Menu」のチェックを外す

6 **FOMA端末と同期させる情報を選択する**

■「Windows Liveの知り合いの連絡先情報を携帯電話のアドレス帳に保存する」を選択した場合

Windows Liveの連絡先が、本FOMA端末の連絡先とLive Messengerの両方に追加されます。

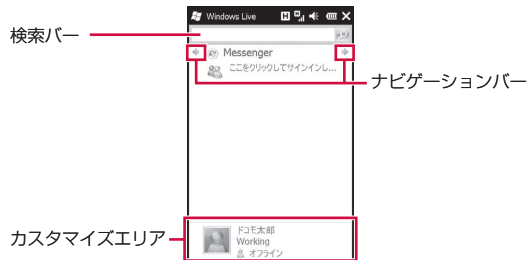
■「電子メールを同期する」を選択した場合

Windows Live MailまたはHotmailの受信トレイにあるメッセージが、本FOMA端末にダウンロードされます。

7 **「次へ」をタップする**

8 **同期が完了したら「完了」をタップする**

Windows Liveのインターフェース

Windows Liveのメイン画面には検索バー、ナビゲーションバー、カスタマイズエリアが表示されます。
ナビゲーションバーを利用して、Windows Live Messenger、同期ステータス、Live Mailを切り替えます。カスタマイズエリアには、自分の画像を表示することができます。

Messengerを利用する

Windows Live Messengerを使用すると、オンラインでインスタントメッセージを送受信できます。
パソコンのWindows Live Messengerと同様、以下の機能を利用できます。

- 文字や音声のインスタントメッセージ
- 複数のユーザー同士の会話
- 絵文字
- オンライン状態が表示される知り合いリスト
- 画像などのファイルの送受信
- オンライン状態や表示名の変更
- オンライン状態、グループなどで知り合いを分類表示
- 知り合いがオフラインのときでもメッセージを送信

Windows Live Messengerを開く

1 「スタート」→「Messenger」

Windows Live Messenger画面が表示されます。

■サインインする場合

Windows Live Messenger画面で「サインイン」をタップします。
※セットアップ完了後、はじめてサインインするときに、Messengerの知り合いのアドレス帳に追加されたことを知らせるメッセージが表示されることがあります。画面の指示にしたがって操作してください。

■サインアウトする場合

「メニュー」→「サインアウト」をタップします。

会話を始める

1 **サインイン後のMessenger画面でオンラインの知り合いを選択し､｢メッセージの送信｣をタップする**
メッセージ画面が表示されます。

2 **文字入力欄に文字メッセージを入力する**
- 絵文字を挿入する場合は、「メニュー」→「絵文字の追加」をタップし、絵文字一覧から選択します。

3 **｢送信｣をタップする**

4 **会話を終了するには､｢メニュー｣→｢会話を終了｣をタップする**

おしらせ
- ファイルを送信するには「メニュー」→「送信」をタップし、ファイルの種類を選択します。
- 進行中の会話にほかの知り合いを招待するには､｢メニュー｣→｢オプション」→「参加者の追加」をタップします。
- Windows Live Messengerの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  http://messenger.live.jp/

Windows Liveの知り合いを追加する

Windows Live Messengerまたは本FOMA端末の連絡先から、Windows Liveの知り合いを追加できます。

Windows Live Messengerの知り合いを追加する場合

1 **サインイン後のMessenger画面で｢メニュー｣→｢新しい知り合いの追加｣**

2 **知り合いの電子メールアドレスを入力し､｢OK｣をタップする**

連絡先から知り合いを追加する場合

1 **｢スタート｣→｢連絡先｣→｢新規作成｣→｢Windows Live｣**

2 **画面を下にスクロールして｢IM｣欄をタップし､相手のWindows Live IDである知り合いの電子メールアドレス、またはその他のメールアドレスを入力する**

3 **｢OK｣→｢はい｣または｢いいえ｣をタップし､画面の指示にしたがって知り合いを追加する**

おしらせ
- 必要に応じて知り合いのその他の情報も入力できます。

Windows Liveメールを利用する

インターネット上で提供される無料のWindows Live Hotmailアカウントで Windows Liveにサインインすると、Windows Live メール（Hotmail）をメールアカウントの1つとして使用することができます。メールアカウントに「Hotmail」が表示されますので、以下の手順でメールの操作を行ってください。

1 **｢スタート｣→｢電子メール｣**

2 **｢Hotmail｣**

3 **メールの操作を行う**

おしらせ
- Hotmailサービスの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  http://messenger.live.jp/

Windows Liveメールのオプション設定

1 「スタート」→「Windows Live」→「メニュー」→「オプション」
2 設定する項目をタップする
3 登録する内容を設定し、「完了」をタップする

項目	説明
1.［Today］画面のオプション	Today画面にWindows Liveを表示するかどうかを設定します。
2.同期オプション	・Windows Liveの知り合いの連絡先情報を本FOMA端末の連絡先に保存するかどうかを設定します。 ・重複する連絡先情報を結合するかどうかを設定します。
3.同期スケジュール	同期の頻度と時間を設定します。
4.同期の状態	同期の結果を表示します。
5.ローミング	ローミング時にWindows Liveを有効にするかどうかを設定します。
6.電子メール	メッセージプレビューのサイズ、すぐにメッセージを送信するかどうか、返信／転送時に元のメッセージを含めるかどうかを設定します。
7.Messenger	音声メモを自動再生するかどうか、またメモの通知方法や使用するフォントを設定します。
8.バージョン情報	Windows Liveのバージョン情報を表示します。

ブラウザ

ブラウザを使うための準備 90
Webページ表示中の画面操作 91
Internet Explorer Mobileを利用する
.... [Internet Explorer Mobile] 92
NetFront Browserを利用する........... [NFBrowser] 96
パケット通信回線を切断する 97

ブラウザを使うための準備

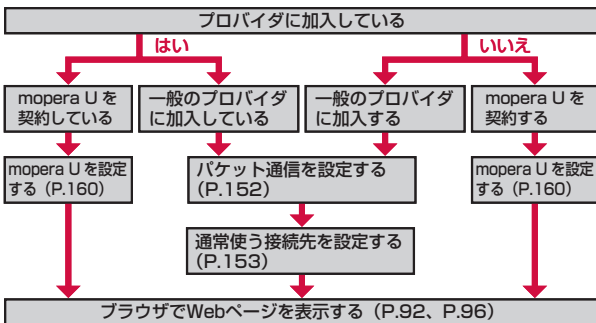
以下の2つのブラウザを利用できます。

- **Internet Explorer Mobile**（P.92）
  本FOMA端末で主に使用されるブラウザです。ほかのアプリケーションからインターネットに接続するとき、自動的に起動します。
- **NetFront Browser**（P.96）
  複数のWebページを同時に開いて切り替えながら表示したり、倍率指定できるズーム機能や軽快なスクロール機能を使用したりして、見たい部分をすばやく表示できます。

Webページを表示するまでの流れ

本FOMA端末では、パケット通信またはワイヤレスLANによる接続でブラウザを利用できます。

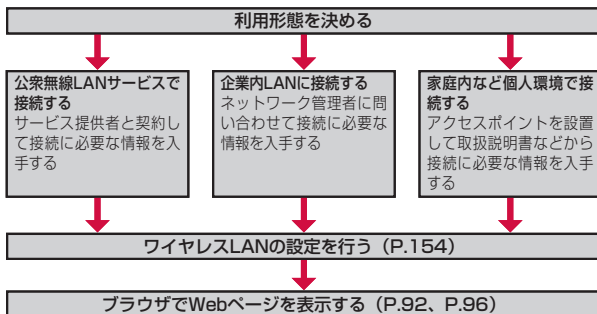
■パケット通信で接続する

- 詳しくは、「パケット通信を利用する」（P.152）を参照してください。

おしらせ

mopera Uについて
- 別途お申し込みが必要です。
- インターネット接続サービスのmopera Uにお申し込みいただいたお客様は、FOMA端末ですぐにインターネットをご利用になれます。詳しくは、ドコモのホームページでご確認ください。
- mopera U未契約の方は、「スタート」→「mopera U端末設定」からアクセスすると、お申し込み画面（オンラインサインアップ）に進むことができます。

Biz・ホーダイ／Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルについて
- mopera Uに加えてBiz・ホーダイ、Biz・ホーダイ ダブル、またはBiz・ホーダイ シンプルを契約すると、定額制サービスをご利用になれます。Biz・ホーダイ、Biz・ホーダイ ダブル、およびBiz・ホーダイ シンプルについては、「Biz･ホーダイ／Biz･ホーダイ ダブル／Biz･ホーダイ シンプル」（P.162）を参照してください。
- Biz・ホーダイ、Biz・ホーダイ ダブル、またはBiz・ホーダイ シンプルを契約された場合は、「mopera U(Biz・ホーダイ)」を通常使う接続先に設定してください。
- Biz・ホーダイ、Biz・ホーダイ ダブル、およびBiz・ホーダイ シンプルの適用外の通信を行う場合は、ご利用料金が高額にならないようにご注意ください。

■ワイヤレスLANで接続する

- 詳しくは、「ワイヤレスLAN機能を利用する」（P.154）を参照してください。

Webページ表示中の画面操作

■ページを縦表示／横表示にする

FOMA端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます（P.31）。

- WM6.5初期設定内容は縦横表示切り替えが無効になっています。モーションセンサー設定で縦横切替えを有効にしてから操作してください（P.34）。
- FOMA端末を垂直に立てた状態で操作してください。FOMA端末を水平に寝かせるとモーションセンサーが正常に働かず、画面表示が切り替わらない場合があります（P.31）。
- モーションセンサー設定の縦横切替えが無効のときは、を1秒以上押して縦／横画面表示を切り替えます。

■画面表示を拡大／縮小する

以下の3とおりの方法でWebページの表示を拡大／縮小できます。

ズームバー	→をタップしてズームバーを表示します。または、画面を1秒以上タップしてポップアップメニューを表示し、「ズーム」をタップしてズームバーを表示します。 ズームバーの「＋」／「－」をタップするか、スライダーを上下になぞって拡大／縮小します。
UIキー	UIキーを右になぞって拡大し、左になぞって縮小します（P.33）。
画面のダブルタップ	画面をダブルタップ（2回続けてタップ）して拡大します。拡大前の表示に戻すには、再度ダブルタップします。

■スクロール／パンする

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にドラッグして見たい部分を表示します。スクロール中またはパン中に表示されるナビウィンドウで、ページ全体のどの部分が表示されているかを確認できます（P.32、P.33）。

■傾き操作で直前のページに戻る／進む

UIキーの中央部を押さえながら、FOMA端末を左に傾けてページを戻し、右に傾けて戻る前のページに進めます（P.32）。

- 横画面表示のときは、手前に傾けてページを戻し、向こう側に傾けて戻る前のページに進めます。

おしらせ

- NetFront Browserを使用してWebページを表示しているときは、傾き操作は行えません。

ブラウザ

Internet Explorer Mobileを利用する

[Internet Explorer Mobile]

Internet Explorer Mobileを使って、インターネットの携帯向けサイトやPCサイトを閲覧できます。

- Webページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

Internet Explorer Mobileを起動する

1 「スタート」→「Internet Explorer」

ドコモのホームページ（http://www.nttdocomo.co.jp/）が表示されます。

- ホーム画面で「Web」をタップしても起動できます。

おしらせ

- 起動したブラウザは、ほかのアプリケーションに切り替えたり、「×」をタップしたりして画面を閉じても、しばらくは実行中のままになっています（その後、自動で終了します）。この間に再度ブラウザを立ち上げると、閲覧していたWebページが再表示されます。
- ブラウザの実行中にパケット通信回線を切断しても、インターネットが自動的に再接続される場合があります。電池の減りを防ぐためにも、インターネットのご利用が終わったら、タスクマネージャーでブラウザを終了させてください（P.36）。
- ブラウザを終了しても、パケット通信回線を切断するかタイムアウトにならない限り、インターネットに接続されたままになっています。パケット通信回線を切断するには、P.97を参照してください。

URLを入力してWebページを表示する

1 Webページ表示中に をタップする

アドレスバーが表示されます。

2 アドレスバーをタップする

3 URLを入力し、 をタップする

おしらせ

- アドレスバー右端の▼をタップして、以前表示したWebページのURLリストから選択することもできます。
- マルチファンクションパッドを使ってアドレスバーにカーソルを移動することはできません。
- Webページがうまく表示されないときや動作が遅いときは、インターネットの一時ファイル（キャッシュ）を削除して、データ記憶用メモリを空けてください（P.95）。

履歴からWebページを表示する

1 Webページ表示中に、 → →「履歴」

履歴画面が表示されます。

2 表示したいWebページの履歴をタップする

Internet Explorer Mobileのボタンとコントロール

Webページは通常、全画面で表示されています。画面右下のをタップすると、Webページを操作するためのボタンとコントロールが表示されます。

	アイコン／名称	説明
①	／	セキュリティで保護されたサイト／一般サイトのページを表示中です。
②		アドレスバーに入力されているURLにアクセスし、表示を最新の情報に更新します。
③	アドレスバー	URLを入力します。
④	ズームバー	ページを拡大／縮小します。
⑤		ボタンとコントロールを表示します。
		メニューを表示します。
		ズームバーを表示します。
		文字入力パッドを表示します。
		お気に入りを表示します。
		1つ前のページに戻ります。

お気に入りに登録してすばやく表示する

お気に入りにリンクを登録する

WM6.5 初期設定内容	Explore Windows Mobile、NTTドコモ ホーム、Set up PC synchronization、TOSHIBA MOBILE PLAZA、Webフィルタリングサービス、Windows Live、Windows Mobile Extras、Windows Mobileホーム、WindowsMedia.com、ドコモ サイト

1 登録したいWebページを表示して、→→

お気に入りの追加画面が表示されます。

2 名前（タイトル）を確認／変更し、「追加」をタップする

おしらせ

- Webページを1秒以上タップしてポップアップメニューを表示し、「お気に入りに追加」をタップして登録することもできます。
- あらかじめお気に入りにフォルダーを追加しておくと、操作2でリンクを登録するフォルダーを選択できます。

お気に入りにフォルダーを追加する

1 Webページ表示中に、→→

フォルダーの追加画面が表示されます。

2 フォルダー名を入力し、「追加」をタップする

お気に入りからWebページを表示する

1 Webページ表示中に、→

お気に入り画面が表示されます。

2 表示したいWebページのタイトルをタップする

お気に入りの名前を変更する

1 Webページ表示中に、→

お気に入り画面が表示されます。

2 名前を変更したいタイトル／フォルダーを1秒以上タップして選択する

3 をタップする

お気に入りの編集画面／フォルダーの編集画面が表示されます。

4 名前を変更し、「OK」をタップする

お気に入りからリンクを削除する

1 Webページ表示中に、→

お気に入り画面が表示されます。

2 削除したいタイトル／フォルダーを1秒以上タップして選択する

3 →「はい」

Webページの表示方法を変更する

1 Webページ表示中に、→→「表示」

2 「モバイル」／「デスクトップ」をタップして選択する

文字サイズを変更する

1 Webページ表示中に、→→「表示」→「文字サイズ」

2 「最大」／「大」／「中」／「小」／「最小」

WebページのURLを送信する

1 Webページ表示中に、→→「ツール」→「リンクを送る」

「アカウントの選択」画面が表示されます。

2 アカウントまたは「SMSメッセージ」をタップする

表示中のWebページのURLが、本文に挿入されます。

3 宛先などを入力し、「送信」をタップする

Webページに表示されている画像を保存する

1 Webページ表示中に、保存したい画像を1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

2 「イメージを保存」をタップする

「画像の保存」画面が表示されます。

3 名前を確認／変更し、保存するフォルダーとファイル形式、保存する場所を選択する

- 「メイン メモリ」を選択すると、FOMA端末のMy Documentsの下に保存されます。

4 「保存」をタップする

Webページ中のテキストをコピーする

コピーしたテキストは、ほかのアプリケーションなどで貼り付けて利用できます。

1 Webページ表示中に、→→「コピー／貼り付け」→「選択」

2 コピーしたいテキストを指またはスタイラスペン（試供品）でなぞる

選択したテキストが反転表示されます。

3 「コピー」をタップする

おしらせ

- 以下の操作でテキストをコピーすることもできます。
Webページを1秒以上タップしてポップアップメニューを表示→「選択」→テキストを選択→「コピー」

Webページからデータをダウンロードする

1 **Webページ表示中に、ダウンロードしたいデータのリンク（ファイル名や「ダウンロード」など）をタップする**

2 **ファイルを「My Documentsにダウンロードしますか？」という画面が表示され、「はい」をタップする**

- 「My Documentsにダウンロードしますか？」の画面で「メニュー」→「名前を付けて保存」をタップすると、データを任意の場所に保存できます。

3 **「はい」をタップする**

FOMA端末にデータがダウンロードされ、続いてインストールが開始されます。

- インストール中、「このプログラムの発行者は不明です。発行者が信頼できる場合のみインストールしてください。続行しますか？」というメッセージが表示されます。問題なければ「はい」をタップします。

4 **インストールが完了すると、正常にインストールされた旨の画面が表示され、「OK」をタップする**

表示しているWebページをホーム（起動時のページ）に設定する

WM6.5 初期設定内容	ユーザー設定のページ（http://www.nttdocomo.co.jp/）

1 **Webページ表示中に、→→「ツール」→「オプション」→「ホーム ページ」→「現在のページ」→「完了」**

- 「既定のホーム ページ」を選択すると、Internet Explorer Mobileの初期画面がホームに設定されます。

ホームに設定されているWebページを表示する

1 **Webページ表示中に、→→「ホーム ページ」**

履歴やキャッシュを削除する

Webページの表示動作が遅くなったときは、インターネットの一時ファイル（キャッシュ）を削除して、データ記憶用メモリを空けてください。

1 **Webページ表示中に、→→「ツール」→「オプション」→「閲覧の履歴」**

2 **「一時ファイル」／「Cookie」／「履歴」→「クリア」→「はい」→「完了」**

セキュリティを設定する

1 **Webページ表示中に、→→「ツール」→「オプション」→「プライバシーとセキュリティ」**

2 **項目を設定する**

スクリプトを有効にする	チェックを外すと、安全性をより高めることができます。
Cookieを有効にする	チェックを外してCookieを受信しないようにすると、安全性をより高めることができます。
セキュリティ保護のないページに移動するときに警告する	セキュリティ保護のため、チェックを外さないことをおすすめします。

3 **「完了」をタップする**

おしらせ

- Cookieを有効にすると、同じWebページに再度アクセスしたとき、前回入力した情報がCookieによって取り出されるため、同じ情報を再び入力する手間が省けます。また、ページが表示されるまでの時間が短縮されるなどの利便性が得られます。Cookieを無効にすると、一部のWebサービスが利用できなくなる場合がありますのでご注意ください。

ブラウザの高速化を設定する

WM6.5 初期設定内容	ブラウザ高速動作：有効

Internet Explorer Mobileの動作を速くする設定をします。

1「スタート」→「設定」→「システム」→「ブラウザ設定」

2「ブラウザ高速動作」にチェックを付ける

省電力設定（P.137）のCPU速度の設定と関わりなく、CPU速度を最高にして高速化します。ただし、バッテリーを多く消費します。

3「OK」をタップする

おしらせ

● ホーム画面→「Settings」→「各種設定」→「ブラウザ設定」をタップしても設定できます。

NetFront Browserを利用する

[NFBrowser]

URLを入力してWebページを表示する方法を説明します。

1「スタート」→「NFBrowser」

ドコモのホームページ（http://www.nttdocomo.co.jp/）が表示されます。

2「メニュー」→「URL 入力」

URL入力画面が表示されます。

3 URLを入力する

- ▼をタップして、「http」または「https」を選択します。
- 履歴からタイトルを選択して入力することもできます。

4「ok」をタップする

入力したURLのWebページが表示されます。

おしらせ

● 新しく入力したURLを別のウィンドウで開く場合は、操作3で「メニュー」→「別ウィンドウで開く」→ブランク（blank）ページをタップします。

パケット通信回線を切断する

ブラウザやメールなど、インターネット接続が必要なアプリケーションは、インターネットをご利用後にアプリケーションを終了しても、パケット通信回線を切断するかタイムアウトになるまでインターネットに接続されたままになっています。パケット通信回線を切断するには、以下の操作をしてください。

1 **タイトルバーの3GまたはHをタップする**

2 **「切断」をタップする**

おしらせ

- ブラウザの実行中にパケット通信回線を切断しても、インターネットが自動的に再接続される場合があります。電池の減りを防ぐためにも、インターネットの閲覧が終わったら、タスクマネージャーでブラウザを終了させてください（P.36）。
- インターネットの接続中にFOMA端末がスリープモードに入っても、インターネット接続はバックグラウンドで継続します。電池の減りを防ぐためにも、インターネットのご利用が終わったら、パケット通信回線切断を行ってください。
- ワイヤレスLANでインターネットに接続している場合は、必要に応じてワイヤレスLAN機能を無効にしてください（P.155）。

マルチメディア

カメラをご利用になる前に... 100
静止画を撮影する .... [静止画撮影] 102
動画を撮影する .... [動画撮影] 102
静止画や動画を整理する...................... [画像とビデオ] 103
音楽や映像を再生する.. 104

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

FOMA端末に内蔵されているカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。撮影した静止画／動画は、マイ ピクチャフォルダー／マイ ビデオフォルダーに保存され、「画像とビデオ」（P.103）などで閲覧できます。また、保存先をmicroSDカードに設定することもできます（P.101）。

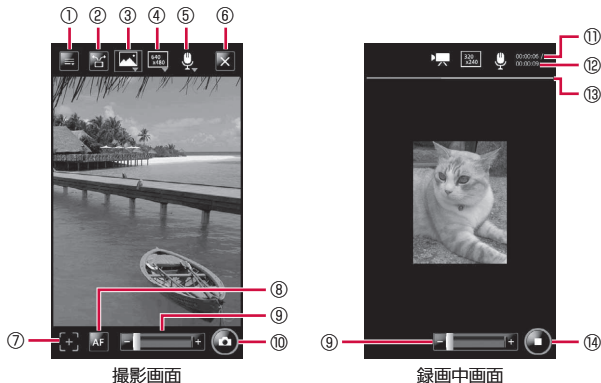
カメラの利用にあたって

撮影するときのご注意

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が不足している場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が出ることがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影するときは、FOMA端末が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時にFOMA端末が動くと、撮影画像がぶれる原因になります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のシャッター音や動画撮影の開始音、終了音は鳴りますのでご注意ください。

カメラ機能について

撮影画面の見かた

撮影画面　　録画中画面

撮影画面のアイコンをタップすると、設定を変更できます。

①メニュー

撮影モード	撮影モードを設定します（P.101）。
画像とビデオ	保存した静止画／動画を閲覧したり、削除したりします。
設定	撮影モードごとにオプション設定を行います（P.101）。
ヘルプ	カメラのヘルプを表示します。
バージョン情報	カメラの情報を表示します。
終了	カメラを終了します。

②縦横切り替え：モーションセンサー設定の縦横切替えが有効のときは表示されません（P.34）。

③撮影モード

通常	通常の静止画を撮影します。
ビデオ	動画を撮影します。
連写	1回のシャッターで9枚連続の静止画を撮影します。
タイマ	設定時間が経過すると自動的にシャッターが切れます。

④解像度：撮影するサイズを表示します（「カメラのオプションを設定する」（同ページ上）の表）。
⑤オーディオ：音声録音の有効／無効を表示します。
⑥カメラ終了
⑦オートフォーカス調整：緑（成功）／赤（失敗）
⑧オートフォーカス：調整中は白いアイコンが表示されます。
⑨ズームバー：スライダーを左右になぞって倍率を変更します。
撮影モードや解像度によって選択できる倍率が異なります。

サイズ320×240	最大ズーム倍率約6.4倍（23段階） （ビデオモードは最大ズーム倍率約2.1倍（10段階））
サイズ640×480	最大ズーム倍率約3.2倍（12段階） （ビデオモードはズーム不可）
サイズ1280×960	最大ズーム倍率約1.6倍（7段階） （ビデオモードは非対応）
サイズ1600×1200	最大ズーム倍率約1.2倍（4段階） （ビデオモードは非対応）
サイズ2048×1536	ズーム不可

⑩シャッター
⑪録画時間
⑫録画可能時間
⑬プログレスバー：録画経過が赤で表示されます。
⑭録画停止

カメラのオプションを設定する

静止画や動画を撮影する前に、撮影モードごとにカメラのオプションを設定します。

1 「スタート」→「カメラ」→☰→「設定」

2 必要な項目を設定し、「OK」をタップする

「基本設定」タブ	**保存先**	撮影した静止画／動画の保存先を「本体」／「SDカード」から選択します。
	撮影後にプレビューする	撮影後、静止画／動画のプレビュー表示の有効／無効を設定します。
「フォト」タブ	**フォーマット**	jpg固定となります。
	画質	静止画の画質を「エコノミー」／「ノーマル」／「ファイン」から選択します。
	解像度（通常、タイマ）	撮影するサイズを「320×240」／「640×480」／「1280×960」／「1600×1200」／「2048×1536」から選択します。
	解像度（連写）	撮影するサイズを「640×480」／「2048×1536」から選択します。
	セルフタイマ	自動でシャッターが切れるまでの時間を「5秒」／「10秒」／「15秒」から選択します。
「ビデオ」タブ	**フォーマット**	録画データのフォーマット形式を「3gp」／「mp4」から選択します。
	画質	動画の画質を「エコノミー」／「ノーマル」／「ファイン」から選択します。
	解像度	撮影するサイズを「320×240」／「640×480」から選択します。
	撮影制限時間	録画の制限時間を「15秒」／「30秒」／「10分」から選択します。
	撮影時の音声録音	音声録音の有効／無効を設定します。

静止画を撮影する

［静止画撮影］

WM6.5 初期設定内容	保存先：本体 撮影後にプレビューする：オン フォーマット：jpg(変更不可) 画質：ノーマル 解像度：640×480 セルフタイマ：5秒

1 を1秒以上押す

- 「スタート」→「カメラ」をタップしてもカメラを起動できます。

2 撮影モードアイコンをタップして、(通常)に切り替える

3 被写体にカメラを向ける→

ピントが合うと緑色のオートフォーカスアイコンが表示されます。

4 ／

シャッター音が鳴り、撮影した静止画がプレビュー表示されます。

- 静止画を削除する場合は、または をタップし、「削除」→をタップします。
- 「撮影後にプレビューする」（P.101）を無効にしている場合は、プレビュー表示されずに自動保存されます。
- →「送信」をタップすると、撮影した静止画をメールに添付できます。

5 をタップする

撮影した静止画が保存されます。

おしらせ

- 撮影した静止画はJPEG形式で保存されます。
- カメラを起動した状態で約1分間何も操作をしないと、カメラは終了します。

動画を撮影する

［動画撮影］

WM6.5 初期設定内容	保存先：本体 撮影後にプレビューする：オン フォーマット：3gp 画質：ノーマル 解像度：320×240 撮影制限時間：15秒 撮影時の音声録音：オン

1 を1秒以上押す

- 「スタート」→「カメラ」をタップしてもカメラを起動できます。

2 撮影モードアイコンをタップして、(ビデオ)に切り替える

3 被写体にカメラを向ける→／

開始音が鳴り、動画撮影が始まります。

4 撮影を停止するときは、／

終了音が鳴り、撮影した動画がプレビュー表示されます。

- 動画を削除する場合は、または をタップし、「削除」→をタップします。
- 「撮影後にプレビューする」（P.101）を無効にしている場合は、プレビュー表示されずに自動保存されます。
- →「再生」をタップすると、撮影した動画を確認できます。
- →「送信」をタップすると、撮影した動画をメールに添付できます。

5 をタップする

撮影した動画が保存されます。

おしらせ

- 動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。
- カメラを起動した状態で約1分間何も操作をしないと、カメラは終了します。

静止画や動画を整理する

［画像とビデオ］

「画像とビデオ」を利用して、FOMA端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。

本FOMA端末が対応しているファイルの種類と拡張子は以下のとおりです。

種類	ファイル形式
画像	BMP、GIF、JPG、PNG、TIFF
ビデオ	3GPP、MP4、Windows Media Video

1「スタート」→「画像とビデオ」

「マイ ピクチャ」フォルダーのファイル一覧が表示されます。

画像とビデオのメニュー

■静止画／動画の一覧でファイルを選択しているとき

項目		説明
送信		選択中の静止画／動画が添付された新規メールを作成します。
ビーム		選択中の静止画／動画を、Bluetooth通信で送信します。
連絡先に保存※1		選択中の静止画を連絡先に登録します。
削除		選択中の静止画／動画を削除します。
編集	切り取り	選択中の静止画／動画を切り取ります。
	コピー	選択中の静止画／動画をコピーします。
	貼り付け	コピーまたは切り取った静止画／動画を貼り付けます。
	新しいフォルダー	新規フォルダーを作成します。
スライドショーの再生※1		フォルダー内の静止画をスライドショーで表示します。 ・再生中に画面をタップすると、以下の操作アイコンが表示されます。 ：表示の回転 ／：再開／一時停止 ／：前の静止画を表示／次の静止画を表示 ：終了
［Today］の背景に設定する※1※2		選択中の静止画をスタートメニューとToday画面の背景イメージに設定します。
移動	マイピクチャ	マイピクチャフォルダーが表示されます。
	マイデバイス	マイデバイスフォルダーが表示されます。
	フォルダー	閲覧するフォルダーを選択します。
ツール	プロパティ	静止画のプロパティを表示します。
	並べ替え	名前／日付／サイズ順に並べ替えます。
	オプションの表示	静止画をメールに添付するときの画像サイズや回転するときの方向の設定、スライドショー再生時の設定をします。

※1 静止画を選択しているときのみ利用できます。
※2 選択しているファイルによっては、設定できない場合があります。

■静止画を表示しているとき

項目		説明
ズーム※1		選択中の静止画をズーム表示します。
スライドショーの再生		フォルダー内の静止画をスライドショーで表示します。
［Today］の背景に設定する※2		選択中の静止画をスタートメニューとToday画面の背景イメージに設定します。
画像のビーム		選択中の静止画をBluetooth通信で送信します。
保存	連絡先に保存	選択中の静止画を連絡先に登録します。
	名前を付けて保存	選択中の静止画を別の名前を付けて保存します。
編集		静止画を編集します。
プロパティ		静止画のプロパティを表示します。
オプション		静止画をメールに添付するときの画像サイズや回転するときの方向の設定、スライドショー再生時の設定をします。

※1 選択しているファイルによっては、ズームできない場合があります。
※2 選択しているファイルによっては、設定できない場合があります。

音楽や映像を再生する

- マナーモード設定中は、各プレイヤーを利用して音楽や映像を再生しても音は鳴りません。ステレオイヤホン（別売）を接続しても、イヤホンから音は鳴りません。

Kinoma Playを利用する

[Kinoma Play]

Kinoma Playは、FOMA端末に保存してある写真や音楽、動画などを簡単に再生できたり、ポッドキャストやRSSリーダーに登録したサイトの最新情報を取得できるマルチメディアブラウザです。
Kinoma Playで再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、画像／楽曲／動画によってはサポートされているファイル形式であっても再生できない場合があります。

●画像ファイル

ファイル形式／コーデック
JPEG、PNG、BMP、GIF

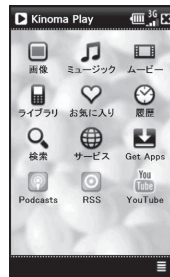
●音楽ファイル

ファイル形式／コーデック
MP3、AAC、aacPlus v2、Windows Media Audio 9、FLAC、uncompressed、AMR

●動画ファイル

ファイル形式／コーデック
MPEG-4 Video SP、AVC/H.264、H.263、Windows Media Video 9

1 「スタート」→「Kinoma Play」

- 初回起動時は使用許諾契約書をお読みになったうえで、「同意する」にチェックを付け、「アクティベート」をタップします。

おしらせ

- 初回起動時およびポッドキャストやRSSリーダーの更新、YouTubeのご利用やアプリダウンロードを行う場合には、別途パケット通信料がかかります。
- コンテンツの内容によっては、通信料金が高額になる場合がありますので、Biz・ホーダイ／Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルのご利用をおすすめします。

Windows Media Playerを利用する

[Windows Media Player]

Windows Media Playerを使って音楽や動画を再生することができます。

- FOMA端末のデータ記憶用メモリの空き容量がなくなると、Windows Media Playerを起動できません。メモリ使用量を確認し、FOMA端末のデータ記憶用メモリの空き容量を確保してください（P.147）。

再生できるファイル形式

Windows Media Playerで再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、楽曲／動画によっては再生できるファイル形式であっても再生できない場合があります。

●音楽ファイル

ファイル形式／コーデック	拡張子
Windows Media Audio	wma
MP3	mp3
AAC	aac、mp4、m4a、3gp

●動画ファイル

ファイル形式／コーデック	拡張子
Windows Media Video	wmv、asf
MPEG-4 Simple Profile	mp4
H.264	mp4、3gp、3g2、m4v

Windows Media Playerを開く

1 **「スタート」→「Windows Media」→「メニュー」→「ライブラリ」**

ライブラリ画面が表示されます。

2 **カテゴリ（「マイ ミュージック」／「マイ ビデオ」／「マイ テレビ」／「再生リスト」）をタップし、再生したいアイテムをタップする**

- 保存したファイルが表示されない場合は、「メニュー」→「ライブラリの更新」をタップします。

3 **「再生」をタップする**

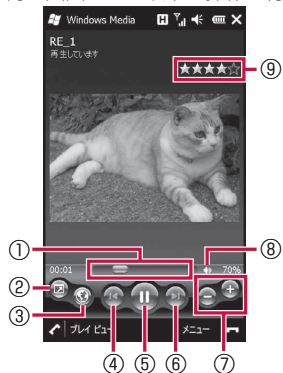
再生画面が表示され、楽曲／動画の再生が始まります。

画面とメニュー

Windows Media Playerには、以下の3種類の初期画面があります。

初期画面	説明
再生画面	再生コントロール（再生／一時停止、次へ、前へ、音量など）とビデオウィンドウが表示される最初の画面です。
プレイビュー画面	再生中のファイルおよび再生リストを一覧表示します。
ライブラリ画面	この画面で楽曲や動画を選択して、再生します。楽曲／動画は、マイミュージック、マイビデオなどのカテゴリに分類されています。

再生画面の操作

再生画面では、以下の操作が行えます。

①再生の進行状況を表示します。スライダーを動かして、任意の位置から再生できます。
②動画を全画面表示します。
③WindowsMedia.comのホームページへ接続します。
④再生中のファイルの先頭、または前のファイルを再生します。
⑤ファイルを再生／一時停止します。
⑥次のファイルを再生します。
⑦音量を調節します。
⑧音量のオン／オフを切り替えます。
⑨5段階レベルで評価をタップします。
※★マークは「ライブラリ」からファイルを再生する場合のみ、表示されます。

ライセンス保護されたファイルについて

保護されたファイルをパソコンからFOMA端末にコピーする場合、パソコンのWindows Media Playerを使ってFOMA端末と同期させてください。同期により保護されたファイルは、ライセンスとともにコピーされます。ファイルの同期について詳しくは、パソコンのWindows Media Playerのヘルプをご覧ください。

パソコンのライブラリと同期する

Windows Media Playerのライブラリとパソコンの楽曲／動画を同期させることができます。

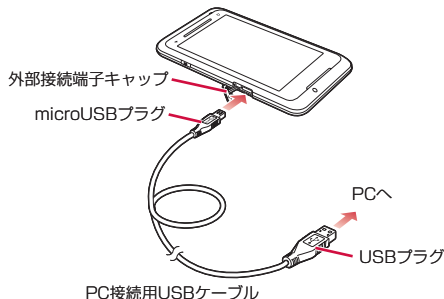
- ライセンス保護された楽曲／動画は、著作権情報とともにFOMA端末にコピーされます。
- あらかじめ、ActiveSync（P.118）またはWindows Mobileデバイスセンター（P.120）でFOMA端末とパソコンの同期の設定を行っておく必要があります。
- あらかじめUSB接続の設定をActive Syncモードにしてください（P.114）。

同期を行うには、パソコンのWindows Media Playerのバージョン10以降が必要です。

■同期の準備／ライブラリの同期

（例：パソコン側がWindows Media Player11の場合）

1 **FOMA端末の外部接続端子キャップを開け、付属のPC接続用USBケーブル T01を使用して、FOMA端末をパソコンに接続する**

- PC接続用USBケーブルのmicroUSBプラグは、刻印がある面を上にしてFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込みます。
- PC接続用USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。

2 **パソコンのWindows Media Playerを起動する**

はじめてFOMA端末と同期させるときは、デバイスの設定画面が表示されます。

マルチメディア

3 パソコンのWindows Media Player 同期 タブをクリックする

4 同期させる楽曲をライブラリからデバイス側にドラッグアンドドロップする

5 同期の開始(S) をクリックする

ライブラリの同期が始まります。

■FOMA端末に取り付けたmicroSDカードとの同期

（例：パソコン側がWindows Media Player11の場合）

1 パソコンのWindows Media Playerで、次のデバイス をクリックする

以降の操作は、「同期の準備／ライブラリの同期」（P.106）の手順4以降を参照してください。

おしらせ

- パソコンのWindows Media Playerの使用方法については、Windows Media Playerのヘルプを参照してください。

プレイビューを使って再生する

再生したい順番に楽曲／動画をプレイビュー（再生待ちリスト）に登録することができます。

- プレイビューは一時的なリストのため、FOMA端末の電源を切ると、内容が消去されます。必要に応じて再生リストに登録することをおすすめします。

■プレイビューに登録する

1 「スタート」→「Windows Media」→「メニュー」→「ライブラリ」

ライブラリ画面が表示されます。

2 カテゴリ(「マイ ミュージック」／「マイ ビデオ」／「マイ テレビ」／「再生リスト」)をタップし、登録したい楽曲／動画を選択する

3 「メニュー」→「再生待ちに追加」

プレイビューに登録されます。
登録したい楽曲／動画の数だけ操作を繰り返します。

■プレイビューから再生する

1 ライブラリ画面→「プレイビュー」→「再生」

楽曲／動画の再生が始まります。

再生リストを使って再生する

ここでは、プレイビューから再生リストを作成／再生する操作を説明します。

■再生リストを作成する

1 プレイビューに楽曲／動画を登録する

詳しくは、「プレイビューに登録する」（上記）を参照してください。

2 「プレイビュー」→「メニュー」→「再生リストの保存」

3 再生リスト名を入力し、「終了」をタップする

■再生リストを使って楽曲／動画を再生する

1 ライブラリ画面→「再生リスト」

2 再生リストを選択し、「再生」をタップする

再生リストの再生が始まります。

動画の画質を設定する

［動画質設定］

WM6.5 初期設定内容	鮮やか

動画再生時に、高画質化エンジンを使用するかどうかを設定します。

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「動画質設定」

動画質設定画面が表示されます。

2 「鮮やか」／「自然」／「Off」→「OK」

おしらせ

- ホーム画面→「Settings」→「各種設定」→「動画質設定」をタップして設定することもできます。

マルチメディア

PhotoBaseを利用する

本FOMA端末で撮影した静止画のトリミングやコントラスト調整をしたり、フレームを貼り付けたりすることができます。

1 「スタート」→「PhotoBase」

「マイ ピクチャ」フォルダーのファイル一覧が表示されます。

2 編集したい静止画をタップしたままにしてから離す

- 静止画を表示中に画面を左右になぞると、前後の静止画に切り替わります。

3 静止画を編集し、✓→✓をタップする

アイコン	説明
／ズーム	静止画を縮小／拡大して表示します。
戻る	前の画面に戻ります。
スライドショー	フォルダー内の静止画をスライドショーで再生します。
詳細設定	：静止画をトリミングします。 ：静止画を回転／反転して表示します。 ：静止画の解像度をMMS／QVGA／VGA／カスタムから選択します。 ：静止画のコントラストを調整します。 ：静止画にフレームを貼り付けます。
メール送信	編集した静止画をメールで送信します。
プロパティ	静止画のプロパティを表示します。
決定または保存	選択／編集した内容を決定または保存します。
削除	静止画を削除します。

VideoEditorを利用する

本FOMA端末で撮影した静止画を組み合わせてフォトムービーを作成したり、撮影した動画に音楽や音声、字幕などを追加したりできます。編集したファイルはYouTubeで公開することができます。

1 「スタート」→「VideoEditor」

2 「ビデオの編集」／「フォトムービーの作成」／「ストーリーボードの作成」をタップする

3 静止画／動画を選択し、編集する

4 「保存」をタップする

おしらせ

- コンテンツの内容によっては、通信料金が高額になる場合がありますので、Biz・ホーダイ／Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルのご利用をおすすめします。

ファイルの管理／パソコンとのデータ同期

■ファイルの管理

ファイルを管理する........................ [エクスプローラー] 112
microSDカードを使う.. 113
データを検索する.. [検索] 115
USBホスト機能について.. 115
Microsoft My Phoneを利用する
.... [Microsoft My Phone] 116

■パソコンとのデータ同期

ActiveSync／Windows Mobileデバイスセンター
でできること... 117
ActiveSyncのインストールと設定........................... 118
Windows Mobileデバイスセンターのインストール
と設定... 120
Bluetooth通信で同期する.. 121

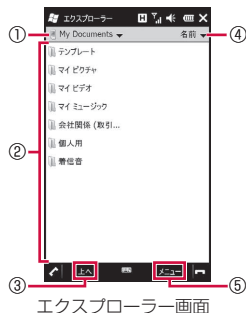
ファイルを管理する

［エクスプローラー］

エクスプローラーを使って、FOMA端末やmicroSDカードに保存されたファイルのコピーや移動、削除、フォルダーの作成などができます。

エクスプローラーを起動する

1 「スタート」→「エクスプローラー」

エクスプローラーが起動し、フォルダーとファイルの一覧が表示されます。

エクスプローラー画面

①表示中の階層より上位の階層を表示します。
②フォルダーやファイルをタップして開きます。
③1つ上の階層に移動します。
④並べ替えの条件を指定して、フォルダーとファイルを並べ替えます。
⑤エクスプローラーのメニューを表示します。

おしらせ

- エクスプローラーを使うとWindowsのシステムファイルなども表示できますが、誤ってそれらのファイルを削除したり移動すると、正常に動作しなくなる可能性があるのでご注意ください。
- ファイルをタップしても開かない場合は、対応するプログラムを起動し、プログラムからファイルを開いてください。
- ホーム画面で「Data Folder」をタップしても、エクスプローラーを起動できます。

フォルダーやファイルを操作する

新規フォルダーを作成する

1 エクスプローラー画面で「メニュー」→「新しいフォルダー」

「新しいフォルダー」が作成されます。

2 フォルダー名を入力する

フォルダー名やファイル名を変更する

1 エクスプローラー画面で名前を変更したいフォルダーまたはファイルを1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

2 「名前の変更」をタップする

3 新しい名前を入力する

フォルダーやファイルを削除する

- 削除したファイルは元に戻せません（削除の取り消しはできません）。

1 エクスプローラー画面で削除したいフォルダーまたはファイルを1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

2 「削除」をタップする

確認画面が表示されます。

3 「はい」をタップする

フォルダーやファイルをコピー／移動する

1 エクスプローラー画面でコピー／移動したいフォルダーまたはファイルを1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

2「コピー」または「切り取り」をタップする

3 コピー先または移動先のフォルダーを開く

4 画面下部の空きスペース（ファイルやフォルダーが表示されていない部分）を1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

5「貼り付け」をタップする

エクスプローラーのメニュー

エクスプローラー画面で「メニュー」をタップすると、以下の機能を利用できます。

項目		説明
移動	My Documents	My Documentsに含まれるフォルダーとファイルの一覧を表示します。
	マイデバイス	マイデバイスに含まれるフォルダーとファイルの一覧を表示します。
	フォルダー	フォルダーの階層を選択します。
	パスを開く	パスを入力してネットワーク上の共有フォルダーを開くことができます。一度入力したパスは、履歴から選択して開くことができます。
最新の情報に更新		最新の状態に更新します。
すべてのファイルを表示		チェックを付けると、隠しファイルを含め、すべてのファイルを表示します。
並べ替え		指定した条件（名前、日付、サイズ、種類）でフォルダーとファイルを並べ替えます。
送信		選択したファイルを電子メールに添付して送信します。
ファイルをビームする		選択したファイルをBluetooth通信で送信します。
新しいフォルダー		新規フォルダーを作成します。
名前の変更		フォルダー名やファイル名を変更します。
削除		フォルダーやファイルを削除します。
編集	元に戻す※	直前に行った操作を取り消します。
	切り取り	フォルダーやファイルを切り取ります。
	コピー	フォルダーやファイルをコピーします。
	貼り付け	コピーまたは切り取ったフォルダーやファイルを貼り付けます。
	ショートカットの貼り付け	コピーしたフォルダーやファイルのショートカットを貼り付けます。
	すべて選択	フォルダーやファイルをすべて選択します。

※削除したフォルダーやファイルは元に戻せません。

microSDカードを使う

FOMA端末は、microSDカードやmicroSDHCカードを取り付けることができます。

- 本FOMA端末は、2GBまでのmicroSDカードと16GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2009年11月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードおよびmicroSDHCカードの動作を保証するものではありません。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。
- メールや予定表、仕事などのOutlookデータやお気に入りは、microSDカードに保存できません。ただし連絡先は、電話帳コピーツールを使用して保存できます（P.61）。

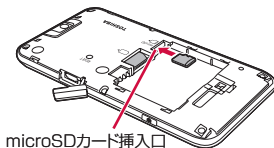
おしらせ

- 同梱しているmicroSDHCカード（8GB／T）は、ご利用のパソコンでは認識しない場合がございます。市販のSDHC規格対応のリーダーライターを購入してご使用いただくか、下記マイクロソフトサイトから必要な情報をダウンロードしてご使用ください。
http://support.microsoft.com/

microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

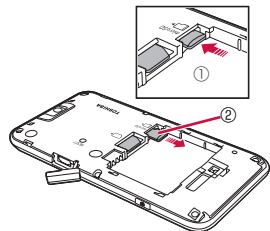
- microSDカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切り、外部接続端子キャップを開けてリアカバーと電池パックを取り外してから行ってください（P.39）。

microSDカードを取り付ける

1 microSDカードの金属端子面を下にして、図の向きで挿入口にロックするまで差し込む

microSDカードを取り外す

1 microSDカードを軽く押しこんでから（①）離す

microSDカードが少し飛び出します。

2 microSDカードをまっすぐ引き出す（②）

microSDカード保存時にファイルを暗号化する

WM6.5 初期設定内容	オフ

microSDカードにファイルを保存するとき、自動的に暗号化して保存することができます。暗号化したファイルは別のFOMA端末やパソコンでは開けず、本FOMA端末でのみ開くことができます。

- マスタークリア（P.149）を行うと、暗号化されたファイルは一切読み出すことができなくなりますのでご注意ください。

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「暗号化」

2 「メモリ カード内のファイルを暗号化する」にチェックを付ける

3 「OK」をタップする

USBマスストレージ設定

WM6.5 初期設定内容	Active Syncモード 高度なネットワーク機能を有効にする：有効

パソコンとFOMA端末を付属のPC接続用USBケーブル T01でつないだとき、パソコン上でFOMA端末に取り付けたmicroSDカードのデータを読み書きできるようにします。

1 「スタート」→「設定」→「接続」→「USB to PC」

2 「マスストレージモード」をタップする

3 「OK」→「はい」

おしらせ

- マスストレージモードでパソコンとUSB接続しているときは、FOMA端末からmicroSDカードにアクセスできません。
- USB接続でパソコンと同期を行う場合は、Active Syncモードに設定してください。
- Active Syncモードでパソコンと USB接続しているときは、パケット通信をご利用になれません。

データを検索する

［検索］

FOMA端末のMy DocumentsやmicroSDカード内に保存されたファイルの名前や、予定表、連絡先、仕事、メモなどのデータやヘルプに含まれる文字列を検索できます。

1 「スタート」→「検索」

検索画面が表示されます。

2 検索したい文字列を入力する

ファイル名や、電子メール、予定表などのデータに含まれる文字列を入力します。

3 「種類」の右にある▼をタップして、検索したいデータの種類を選択する

4 メニューバーの「検索」をタップする

検索結果が表示されます。

5 参照したいファイルやデータをタップする

ファイルやデータが開きます。

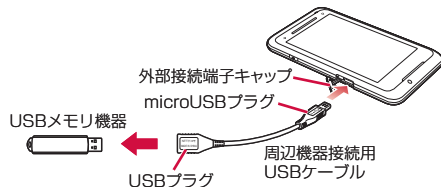
おしらせ

- データによっては、その中に含まれる文字列が検索されないものがあります。
- 「検索」の右にある▼をタップすると、以前入力した文字列の履歴が表示されます。再検索する場合や、文字列を一部変更して再検索する場合に利用できます。
- ホーム画面→「Tools」→「検索」をタップして検索画面を表示することもできます。

USBホスト機能について

本FOMA端末にはUSBホスト機能が搭載されています。付属の周辺機器接続用USBケーブル T01を外部接続端子に接続することで、USBメモリ機器（市販品）を利用することができます。

- USBホスト機能を使用する前に電池パックを充電してください。電池残量が少ないとUSBホスト機能を起動できません。
- USBホスト機能使用中に電池残量が少なくなると、USBホスト機能の停止を予告するメッセージが表示されます。さらに電池残量が少なくなると、USBホスト機能の停止を通知するメッセージが表示され、USBホスト機能が停止します。周辺機器接続用USBケーブルを抜いて充電してください。
- 100mAを超える電流を必要とするUSBメモリ機器には接続しないでください。USBホスト機能が正常に機能しないことがあります。

接続方法

1 FOMA端末の外部接続端子キャップを開け、周辺機器接続用USBケーブルのmicroUSBプラグを差し込む

- microUSBプラグは、刻印がある面を上にして水平に差し込みます。

2 周辺機器接続用USBケーブルのUSBプラグにUSBメモリ機器を差し込む

操作方法

1 「スタート」→「エクスプローラー」

エクスプローラーが起動します。

2 「マイ デバイス」の一覧画面を表示する

- 「マイ デバイス」以外の階層が表示されている場合は、画面左上の▼をタップして、「マイ デバイス」を選択します。

3 「ハード ディスク」をタップする

接続したUSBメモリ機器内のファイルやフォルダーが表示されます。

おしらせ

- ホーム画面で「Data Folder」をタップしても、エクスプローラーを起動できます。

Microsoft My Phoneを利用する

[Microsoft My Phone]

Microsoft® My Phoneは、マイクロソフト社が無償で提供する携帯電話向けオンラインデータ保存サービスです。連絡先、予定、画像、文書、音楽、動画といったデータを簡単にオンラインサービス上に保存できるサービスです。

My Phoneサービスの利用を開始する

1 「スタート」→「Microsoft My Phone」

サービスの利用を確認するメッセージが表示されます。

2 「次へ」をタップする

プライバシーに関する声明とサービス利用規約へのリンクが表示されます。

3 「承諾」をタップする

4 Windows Live IDとパスワードを入力し、「サインイン」→「次へ」をタップする

- Windows Live IDを取得していない場合は、「Windows Live IDの新規作成」をタップし、画面の指示にしたがってWindows Live IDを取得してください。

5 「次へ」→「自動」/「手動」→「次へ」

設定を確認するメッセージが表示されます。

- 「手動」の場合、同期するデータの種類を選択し、「次へ」をタップします。

6 「完了」をタップする

データの同期（初回はMy Phoneサービスサイトへのデータのバックアップ）が始まります。

- バックアップ（同期）するデータの種類をあらかじめ指定したい場合は、「停止」をタップして同期を中止します。「メニュー」→「同期のオプション」を選択したあと、「バックアップするデータを設定する」（P.117）の手順2以降を行ってください。

おしらせ

- 現在地の同期を行う場合は、見晴らしのよい場所での実施をおすすめいたします。
- ActiveSyncを利用して、Microsoft Exchange Serverと同期する設定をしている場合、My Phoneでは連絡先、予定、仕事が同期されません。
- Windows Liveの連絡先は、Windows Liveとの間で同期されます。その他の連絡先はMy Phoneとの間で同期されます。
- FOMAカードに保存した連絡先は同期されません。
- FOMA端末のMy Documents以外に保存されたドキュメントファイルは同期されません。
- Microsoft My Phoneサービスの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
http://myphone.microsoft.com

バックアップするデータを設定する

1 「スタート」→「Microsoft My Phone」→「メニュー」→「同期のオプション」

2 バックアップ(同期)したいデータの種類にチェックを付け、「完了」をタップする

ActiveSync／Windows Mobileデバイスセンターでできること

ActiveSyncおよびWindows Mobileデバイスセンターは、FOMA端末にあるファイルやOutlookなどのデータを、パソコンと連携して操作するためのソフトウェアです。
FOMA端末をActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターをインストールしたパソコンに接続して、以下のことができます。

■パソコンとの同期

- パソコンで利用しているMicrosoft Outlookのデータ（電子メール、予定表、連絡先、仕事、メモ）を、FOMA端末のデータと同期させることができます。
- FOMA端末のお気に入りを、パソコンで利用しているInternet Explorerの「モバイルのお気に入り」と同期させることができます。
- FOMA端末のWord MobileやExcel Mobileのファイルを、パソコンのWordやExcelのファイルと同期させることができます。
- パソコンにWindows Media Player 10以降がインストールされている場合は、静止画、動画、音楽などのメディアファイルを同期させることができます。

■ファイルのコピー／移動

パソコンとFOMA端末の間で、ファイルのコピーや移動を行えます。

■プログラムのインストール

パソコンのCD-ROMドライブを利用するか、パソコンでプログラムをインターネットからダウンロードして、FOMA端末へインストールすることができます。

■その他

- パソコンで表示したWebページのURLを、FOMA端末に転送できます。
- 企業内ネットワークが、Exchange ActiveSyncをインストールしたMicrosoft Exchange Serverに対応している場合、FOMA端末とサーバとの間で電子メール情報を直接同期させることができます。

おしらせ

- パケット通信接続中はパソコンとの同期は行えません。あらかじめFOMA端末のパケット通信回線を切断してください（P.82、P.97）。
- Active Syncモードでパソコンと USB接続しているときは、パケット通信をご利用になれません。
- パソコンのActiveSyncの設定で「デスクトップコンピュータに接続中にデバイスの無線接続を許可する」を選択していない場合、またはWindows Mobileデバイスセンターの設定で「PCへの接続時にデバイス上でデータ接続を許可する」を選択していない場合は、パソコンとの同期中にワイヤレスLAN機能を利用できません。
- Microsoft Outlook Expressのデータは同期できません。
- FOMA端末側のOutlookメール以外の電子メール、SMSメッセージをPCに同期させることはできません。
- パソコンのWordやExcelのデータをWord MobileやExcel Mobileのデータに変換したとき、Word MobileやExcel Mobileがサポートしていない書式や機能は反映されません。
- ActiveSyncとWindows Mobileデバイスセンターの詳しい使いかたは、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターのヘルプをご覧ください。

パソコンの動作環境

お使いのパソコンのOS（オペレーティングシステム）によって、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターのどちらか一方をインストールできます。

- パソコンの動作環境について詳しくは、付属のCD-ROM「お使いになる前にディスク」に収録されている「readme.doc」をご覧ください。日本語版の「readme.doc」は、それぞれ以下のフォルダーに含まれています。
  ・ActiveSync：「ACTIVESYNC」→「JAPAN」→「readme.doc」
  ・Windows Mobileデバイスセンター：
  「WMDC」→「WMDC_SR1_README_ALL_LOCALES.zip」→「WMDC_SR1_README_jpn.doc」

■ActiveSyncをインストールするパソコン

OS	・Microsoft Windows XP Professional（Service Pack 2以降） ・Microsoft Windows XP Home（Service Pack 2以降） ・Microsoft Windows 2000 Professional（Service Pack 4以降） 上記以外のOSについては、付属のCD-ROM「お使いになる前にディスク」に収録されている「readme.doc」をご覧ください。
アプリケーション	電子メール、予定表、連絡先、仕事、メモの同期に必要 ・Microsoft Outlook 2007 ・Microsoft Outlook XP ・Microsoft Outlook 2003
	お気に入りの同期に必要 Internet Explorer 6.0以降
	メディアファイルの同期に必要 Windows Media Player 10以降※
通信環境	・USBポート（USB1.1／USB2.0） ・Bluetooth通信機能

※Windows 2000は、Windows Media Player 10以降のバージョンをサポートしていません。Windows 2000をお使いの場合、Windows Media Player 9シリーズのデバイスへ転送する機能を使って、メディアファイルをFOMA端末に転送してください。

■Windows Mobileデバイスセンターをインストールするパソコン

OS	・Microsoft Windows Vista Ultimate ・Microsoft Windows Vista Enterprise ・Microsoft Windows Vista Business ・Microsoft Windows Vista Home Premium ・Microsoft Windows Vista Home Basic ・Microsoft Windows 7 Professional （2009年11月現在確認）
アプリケーション	電子メール、予定表、連絡先、仕事、メモの同期に必要 ・Microsoft Outlook 2007 ・Microsoft Outlook XP ・Microsoft Outlook 2003
	お気に入りの同期に必要 Internet Explorer 7.0以降
	メディアファイルの同期に必要 Windows Media Player 10以降
通信環境	・USBポート（USB1.1／USB2.0） ・Bluetooth通信機能

ActiveSyncのインストールと設定

ActiveSyncをインストールする

付属のCD-ROM「お使いになる前にディスク」からパソコンにActiveSync 4.5をインストールします。

- 以下の手順でパソコンのMicrosoft Outlookを使用状態に設定してください。
  Outlookの「ツール」メニュー→「オプション」→「その他」タブ→「全般」の「Outlook を既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」にチェックを付ける→「OK」をクリックする
- FOMA端末をパソコンと接続しない状態でインストールしてください。FOMA端末をパソコンに接続した状態でActiveSyncをインストールすると、インストールが最後まで完了しない場合があります。その場合はFOMA端末をパソコンから取り外し、もう一度最初からやり直してください。

- OSがWindows 2000の場合は、以下のいずれかの方法でインストールしてください。
  ・ActiveSync 4.2をインストールしたあと、ActiveSync 4.5をインストールする
  ・Microsoft Windows Installer 3.1をインストールしたあと、ActiveSync 4.5をインストールする

1 「お使いになる前にディスク」をパソコンのCD-ROMドライブにセットする

- 「"お使いになる前にディスク"を使用するにはAdobe Flash Playerのバージョン8.0以降が必要です。…」という画面が表示された場合は、画面の指示にしたがってAdobe Flash Playerをインストールしてください。

2 「日本語」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックする

3 「セットアップとインストール」をクリックする

4 「ActiveSync」にチェックが付いていることを確認し、「インストール」をクリックする

5 マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項の内容を確認し、「同意する」をクリックする

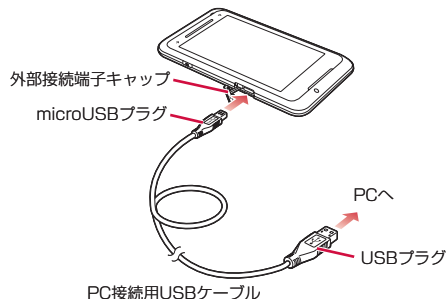
6 「インストールの完了」が表示されたら、「終了」→「閉じる」をクリックする

- 「終了」をクリックしても画面が変わらない場合は、もう一度「終了」をクリックしてください。

同期を設定する

- あらかじめUSB接続の設定をActive Syncモードにしてください（P.114）。

1 FOMA端末の外部接続端子キャップを開け、付属のPC接続用USBケーブル T01を使用して、FOMA端末をパソコンに接続する

- PC接続用USBケーブルのmicroUSBプラグは、刻印がある面を上にしてFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込みます。
- PC接続用USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USBハブやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。

同期セットアップウィザードがパソコン上に表示されます。

2 「次へ」をクリックする

- お使いのパソコンがMicrosoft Exchange Server対応のサーバに接続している場合、FOMA端末をサーバと直接同期させるかどうか確認する画面が表示されます。直接同期させる場合は「Microsoft Exchangeを実行中のサーバーと直接同期する。…」にチェックがあることを確認し、「次へ」をクリックして画面の指示にしたがって設定してください。
  サーバへの接続情報（サーバアドレス、ドメイン名など）については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- Pocket PC名の入力画面が表示された場合は、名前を確認／変更して「次へ」をクリックしてください。

3 同期させたい項目にチェックを付けて、「次へ」をクリックする

- 項目を選択して「設定」をクリックすると、同期の条件を変更できます。

次ページへ続く

4 画面の指示にしたがって設定する

5 「Pocket PC 同期セットアップ ウィザードの完了」が表示されたら、「完了」をクリックする

手順3でチェックを付けた項目の同期が自動的に開始されます。

自動で同期を開始する

FOMA端末とパソコンを付属のPC接続用USBケーブル T01で接続すると、FOMA端末かパソコンのどちらかでデータが更新された場合、設定した同期の条件にしたがって、自動的に同期が行われます。

おしらせ

- 以下の手順で同期させる項目を変更することができます。
  パソコンのActiveSync画面の「ツール」メニュー→「オプション」→同期させる項目にチェックを付けて、「OK」をクリックする

手動で同期を開始する

FOMA端末から手動で同期を開始するには、以下の操作を行ってください。

1 「スタート」→「ActiveSync」→「同期」

おしらせ

- ホーム画面→「Tools」→「ActiveSync」→「同期」をタップして操作することもできます。
- パソコンのActiveSync画面で「同期」をクリックしても、同期を開始できます。

Windows Mobileデバイスセンターのインストールと設定

Windows Mobileデバイスセンターをインストールする

付属のCD-ROM「お使いになる前にディスク」からWindows Vistaを搭載したパソコンに、Windows Mobileデバイスセンターをインストールします。

- 以下の手順でパソコンのMicrosoft Outlookを使用状態に設定してください。
  Outlookの「ツール」メニュー→「オプション」→「その他」タブ→「全般」の「Outlookを既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」にチェックを付ける→「OK」をクリックする
- FOMA端末をパソコンと接続しない状態でインストールしてください。FOMA端末をパソコンに接続した状態でWindows Mobileデバイスセンターをインストールすると、インストールが最後まで完了しない場合があります。その場合はFOMA端末をパソコンから取り外し、もう一度最初からやり直してください。

1 「お使いになる前にディスク」をパソコンのCD-ROMドライブにセットする

- 「"お使いになる前にディスク" を使用するにはAdobe Flash Playerのバージョン8.0以降が必要です。…」という画面が表示された場合は、画面の指示にしたがってAdobe Flash Playerをインストールしてください。
- 自動再生画面が表示された場合は、「Start.exeの実行」をクリックしてください。

2 「日本語」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックする

3 「セットアップとインストール」をクリックする

4 Windows Mobileデバイスセンターにチェックが付いていることを確認し、「インストール」をクリックする

5「インストールの完了」が表示されたら、「終了」→「閉じる」をクリックする

同期を設定する

- あらかじめUSB接続の設定をActive Syncモードにしてください（P.114）。

1 付属のPC接続用USBケーブル T01を使用して、FOMA端末をパソコンに接続する

- 「同期を設定する」の操作1の説明とイラスト（P.119）を参照してください。

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項の画面に続いて、Windows Mobileメンバーセンターへの登録画面が表示されます。それぞれ画面の指示にしたがって操作してください。

2「デバイスのセットアップ」をクリックする

- 「デバイスをセットアップしないで接続」をクリックすると、セットアップが終了します。再度、セットアップする場合は、「Windows Mobileデバイスセンター」を起動し、「モバイルデバイスの設定」、「デバイスのセットアップ」をクリックしてください。

3 同期させたい項目にチェックを付けて、「次へ」をクリックする

- お使いのパソコンがMicrosoft Exchange Server対応のサーバに接続している場合、電子メールサーバ情報の入力画面が表示されます。サーバアドレスやアカウント情報を入力して「次へ」をクリックするか、何も入力しないで「スキップ」をクリックして、次へ進みます。

4 デバイス名を入力し、「セットアップ」をクリックする

セットアップが完了し、自動的に同期を開始します。

おしらせ

- 手順3で「スキップ」を選択した場合、セットアップ後にWindows Mobileデバイスセンターを起動し、「モバイル デバイスの設定」→「詳細」→「Exchange Serverとのワイヤレス同期」で、サーバアドレスやアカウント情報を入力できます。
- FOMA端末とパソコンを接続すると自動的に同期が行われますが、Windows Mobileデバイスセンターは自動的に起動しません。同期の状況を確認したり、設定を変更するには、パソコンのWindows Mobileデバイスセンターを起動してください。

Bluetooth通信で同期する

- Bluetooth通信で同期を行うには、あらかじめFOMA端末とパソコンとの間で、パートナーシップを確立してください（P.159）。
- モードの設定で「このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする」にチェックを付けてください(P.158)。また、ビームの設定で「すべての着信ビームを受信する」にチェックを付けてください（P.160）。

1 パソコン側の設定をする

- パソコンのActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターのヘルプを参照して、Bluetooth通信で同期するための設定をします。
- パソコン本体とBluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。
- 操作2以降はFOMA端末で操作します。

2「スタート」→「設定」→「Bluetooth」→「デバイス」タブ

3 接続するパソコンを選択する

4 サービスの一覧から「ActiveSync」にチェックを付けて、「保存」→「OK」→「×」をタップする

5「スタート」→「ActiveSync」→「メニュー」→「Bluetoothから接続」

- ホーム画面→「Tools」→「ActiveSync」→「メニュー」→「Bluetoothから接続」をタップして操作することもできます。

パソコンのActiveSyncが自動的に起動し、同期が開始されます。

おしらせ

- パソコンとの同期が完了したら、電池の減りを防ぐため、Bluetooth機能をオフにしてください。
- Bluetooth通信でパソコンと接続すると、Windows Media Playerによるメディアファイルの同期ができません。Windows Media Playerを使って同期するには、USB接続をしてください。

アプリケーション

■Word Mobile
Word Mobileを利用する ....[Word Mobile] 124
ファイルを新規作成する.. 124
ファイルを開く／閉じる.. 124
Word Mobileのメニュー 124
■Excel Mobile
Excel Mobileを利用する................... [Excel Mobile] 125
ファイルを新規作成する.. 126
ファイルを開く／閉じる.. 126
Excel Mobileのメニュー.. 126
■PowerPoint Mobile
PowerPoint Mobileを利用する
....[PowerPoint Mobile] 128
スライドショーを見る.. 128
PowerPoint Mobileのメニュー................................. 128
■OneNote Mobile
OneNote Mobileを利用する..... [OneNote Mobile] 129
ファイルを新規作成する.. 129
OneNote Mobileのメニュー....................................... 129
■PDFファイルを見る
Adobe Reader LEを利用する ...[Adobe Reader LE] 130
PDFファイルを閲覧する.. 130
Adobe Reader LEのメニュー 130

Word Mobileを利用する

[Word Mobile]

Word Mobileは、新規でWord文書を作成したり、パソコンで作成したWordファイルを閲覧/編集したりできます。またWord Mobileで作成、編集した文書やテンプレートをdoc、dot、rtf、txt形式で保存することもできます。

●閲覧/編集可能なファイル形式

閲覧	編集
doc、dot、docx、dotx、docm、dotm、rtf、txt	doc、dot、docx、dotx、rtf、txt

おしらせ

- Word Mobileは、変更履歴やパスワードなど、Microsoft Wordの機能を一部サポートしていません。パソコン用のMicrosoft Wordで作成した文書ファイルを保存すると、一部のデータや書式が失われる場合があります。

ファイルを新規作成する

1 「スタート」→「Office Mobile」→「Word Mobile」

新規入力画面が表示されます。

- すでにファイルがある場合は、ファイル一覧が表示されますので、画面左下の「新規」をタップします。

■テンプレートを変更する場合

「メニュー」→「ツール」→「オプション」をタップして、「既定のテンプレート」でテンプレートを選択し、「OK」→「OK」→「新規」をタップします。

- ファイル一覧画面では、「メニュー」→「オプション」をタップすると、テンプレートを選択することができます。

2 テキストを入力する

- 「メニュー」をタップすると、書式を設定したり、日付を挿入することができます。

3 入力が終了したら、「OK」をタップする

自動的にファイル名が付けられ、ファイルが保存されます。

- 「メニュー」→「ファイル」→「名前を付けて保存」で任意のファイル名を付けることもできます。

ファイルを開く/閉じる

ファイルを開く

1 「スタート」→「Office Mobile」→「Word Mobile」

ファイル一覧が表示されます。

- 目的のファイルがない場合は、画面左上の「すべてのフォルダー▼」をタップし、フォルダーを選択します。

2 開きたいファイルをタップする

ファイルが開きます。

ファイルを閉じる

1 「OK」をタップする

ファイルが閉じます。

Word Mobileのメニュー

ファイル一覧のメニュー

項目	説明
名前の変更/移動	選択しているファイル名と保存場所を変更して保存します。
削除	選択しているファイルを削除します。
コピー作成	選択しているファイルのコピーを作成します。
すべて選択	一覧で表示されているファイルをすべて選択します。

項目	説明
電子メールで送信	選択しているファイルをメールに添付して送信します。
ファイルをビームする	選択しているファイルをBluetooth通信で送信します。
オプション	テンプレート、保存先、ファイル一覧で表示するファイル形式を設定します。

編集画面のメニュー

項目		説明
元に戻す		1つ前の状態に戻します。
やり直し		「元に戻す」で取り消した操作を再度実行します。
切り取り		選択した文字列を切り取ります。
コピー		選択した文字列をコピーします。
貼り付け		切り取った文字列やコピーした文字列を貼り付けます。
編集	検索／置換	文字列を検索／置換します。
	クリア	選択した文字列を削除します。
	すべて選択	文書全体を選択します。
書式設定	フォント	文字書式を設定します。
	段落	段落書式を設定します。
ツール	スペルチェック	スペルチェックを行います。
	日付の挿入	カーソル位置に今日の日付を挿入します。
	オプション	テンプレート、保存先、ファイル一覧で表示するファイル形式を設定します。

項目		説明
ファイル	新規作成	新規作成画面を開きます。
	名前を付けて保存	開いている文書を別名で保存します。
	名前の変更／移動	作成済み文書の文書名と保存場所を変更して保存します。
	前回保存したときの状態に戻す	ファイルを開いてから行った変更をすべて取り消して、開く前の状態に戻します。
	削除	開いているファイルを削除します。
	電子メールで送信	開いているファイルをメールに添付して送信します。
	ビーム	開いているファイルをBluetooth通信で送信します。
バージョン情報		バージョン情報を表示します。

編集画面の表示メニュー

項目	説明
ツールバー	ツールバーの表示／非表示を選択します。
ウィンドウに合わせる	スクロールバーの表示／非表示を切り替えます。
ズーム	表示の大きさを選択します（50%〜200%）。

Excel Mobileを利用する

[Excel Mobile]

Excel Mobileは、新規でExcelファイルを作成したり、パソコンで作成したExcelファイルを閲覧／編集したりできます。

●閲覧／編集可能なファイル形式

閲覧	編集
xls、xlt、xlsx、xltx、xlsm、xltm	xls、xlt、xlsx、xltx

おしらせ

- Excel Mobileは、数式やセルコマンドなど、Microsoft Excelの機能を一部サポートしていません。パソコン用のMicrosoft Excelで作成したファイルを保存すると、一部のデータや書式が失われる場合があります。

ファイルを新規作成する

1 「スタート」→「Office Mobile」→「Excel Mobile」

新規入力画面が表示されます。

- すでにファイルがある場合は、ファイル一覧が表示されますので、画面左下の「新規」をタップします。

2 セルをタップし、データを入力する

- 「メニュー」をタップすると、セル・グラフ・記号・関数の挿入や、書式の設定などを行うことができます。

3 入力が終了したら、「OK」をタップする

自動的にファイル名が付けられ、ファイルが保存されます。

- 「メニュー」→「ファイル」→「名前を付けて保存」で任意のファイル名を付けることもできます。

ファイルを開く／閉じる

ファイルを開く

1 「スタート」→「Office Mobile」→「Excel Mobile」

ファイル一覧が表示されます。

- 目的のファイルがない場合は、画面左上の「すべてのフォルダー▼」をタップし、フォルダーを選択します。

2 開きたいファイルをタップする

ファイルが開きます。

ファイルを閉じる

1 「OK」をタップする

ファイルが閉じます。

Excel Mobileのメニュー

ファイル一覧のメニュー

項目	説明
名前の変更／移動	選択しているファイル名と保存場所を変更して保存します。
削除	選択しているファイルを削除します。
コピー作成	選択しているファイルのコピーを作成します。
すべて選択	一覧で表示されているファイルをすべて選択します。
電子メールで送信	選択しているファイルをメールに添付して送信します。
ファイルをビームする	選択しているファイルをBluetooth通信で送信します。
オプション	テンプレート、保存先、ファイル一覧で表示するファイル形式を設定します。

シートのメニュー

項目	説明
元に戻す	1つ前の状態に戻します。
やり直し	「元に戻す」で取り消した操作を再度実行します。
切り取り	選択した文字列を切り取ります。
コピー	選択した文字列をコピーします。
貼り付け	切り取った文字列やコピーした文字列を貼り付けます。

項目			説明
編集	形式を選択して貼り付け		切り取ったデータやコピーしたデータ形式を指定して貼り付けます。
	フィル		セルにデータを一括してコピーしたり、連続したデータを入力します。
	クリア	すべて	選択したセルのデータを削除します。
		書式	選択したセルの書式を削除します。
		数式と値	選択したセルの数式と値を削除します。
	セルの削除		選択したセルを削除します。
	検索／置換		文字列を検索／置換します。
	ジャンプ		指定したセルまたはアクティブセル領域を表示します。
	すべて選択		シート全体を選択します。
挿入	セル		セルを挿入します。
	グラフ		グラフを作成、挿入します。
	記号		記号を挿入します。
	関数		指定した関数を挿入します。
	名前の定義		セルやセル範囲、数式や定数に名前を付けます。
書式設定	セル		セルの書式を設定します。
	グラフ		選択したグラフのタイトルや表示形式を設定します。
	行		自動調整、表示しない、再表示を指定します。
	列		自動調整、表示しない、再表示を指定します。
	シートの変更		シートの表示切り替え、シート名の変更、シートの挿入／削除、位置の移動を行います。
ツール	並べ替え		並べ替えで優先させるセルを指定し、昇順／降順でセルを並べ替えます。
	オートフィルター		フィルターを使用して、必要なデータだけを抽出し、表示します。

項目		説明
ファイル	新規作成	新規作成画面を開きます。
	名前を付けて保存	開いているファイルを別名で保存します。
	名前の変更／移動	作成済みファイルのファイル名と保存場所を変更して保存します。
	前回保存したときの状態に戻す	ファイルを開いてから行った変更をすべて取り消して、開く前の状態に戻します。
	削除	開いているファイルを削除します。
	電子メールで送信	開いているファイルをメールに添付して送信します。
	ビーム	開いているファイルをBluetooth通信で送信します。
バージョン情報		バージョン情報を表示します。

シートの表示メニュー

項目		説明
全画面表示		行列番号やスクロールバーを非表示にして、表示領域を大きくします。
ズーム		表示の大きさを選択します（50% ～150%、および任意）。
シート		シートの表示を切り替えます。
分割（分割の解除）		ウィンドウを分割して表示します。
ウィンドウ枠の固定（ウィンドウ枠固定の解除）		列や行を固定し、表の見出しや項目名がスクロールしても常時見えるようにします（または、設定を解除する）。
ツールバー		ツールバーの表示／非表示を選択します。
ステータスバー		ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。
表示	行列番号	行番号と列番号の表示／非表示を切り替えます。
	水平スクロールバー	水平スクロールバーの表示／非表示を切り替えます。
	垂直スクロールバー	垂直スクロールバーの表示／非表示を切り替えます。

PowerPoint Mobileを利用する
[PowerPoint Mobile]

PowerPoint Mobileは、パソコン用のMicrosoft PowerPointで作成したファイルを閲覧することができます。

●閲覧／編集可能なファイル形式

閲覧	編集
ppt、pps、pptx、ppsx、pptm、ppsm	－

スライドショーを見る

1 「スタート」→「Office Mobile」→「PowerPoint Mobile」

フォルダーやファイルの一覧が表示されます。

- 目的のファイルがない場合は、画面左上の「すべてのフォルダー▼」をタップし、フォルダーを選択します。

2 PowerPointのファイルをタップする

スライドショーが表示されます。

3 表示されたスライドをタップする

次のスライドが表示されます。

4 画面左下の▲をタップし、「スライド ショーの終了」をタップする

ファイルが閉じます。

PowerPoint Mobileのメニュー

ファイル一覧のメニュー

項目	説明
スライドショーの設定	スライドの表示方向や、再生方法を設定します。
名前の変更／移動	選択しているファイル名と保存場所を変更して保存します。
削除	選択しているファイルを削除します。
コピー作成	選択しているファイルのコピーを作成します。
すべて選択	一覧で表示されているファイルをすべて選択します。
電子メールで送信	選択しているファイルをメールに添付して送信します。
ファイルをビームする	選択しているファイルをBluetooth通信で送信します。

スライドショーのメニュー

スライドショーのメニューは、画面左下の▲をタップすると表示されます。

項目	説明
次へ	次のスライドを表示します。
前へ	前のスライドを表示します。
スライドへジャンプ	選択したスライドを表示します。
目的別スライドショー	パソコンで作成した目的別スライドショーの一覧を表示します。
拡大	表示しているスライドを拡大して表示します。
縮小	表示しているスライドを縮小して表示します。
スライドショーの設定	スライドの表示方向や、再生方法を設定します。
リンクの表示	リンク先にジャンプします。
名前を付けて保存	名前を付けてファイルを保存します。
スライドショーの終了	スライドショーを終了します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

OneNote Mobileを利用する
[OneNote Mobile]

OneNote Mobileは、簡単なメモを作成することができます。画像や音声を含んだメモを作成することもできます。

ファイルを新規作成する

1 「スタート」→「Office Mobile」→「OneNote Mobile」→「新規作成」

作成画面が表示されます。
- すでにファイルがある場合は、ファイル一覧が表示されますので、画面左下の「新規作成」をタップします。

2 データを入力する

- 「メニュー」をタップすると、書式の設定、画像の撮影、画像やサウンドの挿入などができます。
- 挿入した画像やサウンドは文字入力パッドの[←]または[←BS]で削除できます。

3 入力が終了したら、「OK」をタップする

自動的にファイル名が付けられ、ファイルが保存されます。
- 画面左下の「完了」をタップしてもファイルを保存できます。

OneNote Mobileのメニュー

ファイル一覧のメニュー

項目	説明
削除	選択しているファイルを削除します。
名前の変更	選択しているファイル名を変更します。
オプション	名前順または更新日順に並べ替えます。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

編集画面のメニュー

項目		説明
元に戻す		1つ前の状態に戻します。
やり直し		「元に戻す」で取り消した操作を再度実行します。
切り取り		選択した文字列を切り取ります。
コピー		選択した文字列をコピーします。
貼り付け		切り取った文字列やコピーした文字列を貼り付けます。
書式	太字	太字にします。
	斜体	斜体にします。
	下線	アンダーラインを付けます。
	取り消し線	取り消し線を付けます。
	すべてクリア	書式をクリアします。
リスト	段落番号	段落番号を自動的に付けます。
	箇条書き	箇条書きになります。
	クリア	リストの形式をクリアします。
画像撮影		カメラが起動し、画像を撮影します。
画像の挿入		画像を挿入します。
サウンドの挿入		音声を録音し挿入します。

Adobe Reader LEを利用する
[Adobe Reader LE]

Adobe Reader LEは、パソコン上で作成したPDFファイル（pdfファイル形式のみ）を閲覧することができます。

PDFファイルを閲覧する

1 「スタート」→「Adobe Reader LE」

マイデバイス内のフォルダーとファイルが一覧表示されます。

2 閲覧するPDFファイルをタップする

ファイルが開きます。

■最近開いたファイルの一覧に目的のファイルがない場合

右下にある「参照」をタップします。マイデバイス内のフォルダーとファイルが一覧表示されるので、目的のファイルをタップします。

3 「メニュー」→「終了」

ファイルを閉じて、Adobe Reader LEを終了します。

Adobe Reader LEのメニュー

閲覧画面のメニュー

項目	説明
開く	別のPDFファイルを開きます。
Adobe Readerについて	Adobe Reader LEの著作権情報とバージョン情報を表示します。
終了	ファイルを閉じて、Adobe Reader LEを終了します。

閲覧画面のツールメニュー

項目	説明
ズーム	表示の拡大／縮小方法を設定します。
移動	指定したページを表示します。

便利な機能

電卓として使う .... [電卓] 132
ゲームで遊ぶ .... [ゲーム] 132
電子辞典を利用する 132
GPSを利用する 133
検索ウィジェットを利用する 135
Windows Marketplace for Mobileを利用する
.... [Marketplace] 135
指定時刻にアラームを鳴らす .... [アラーム] 136
効果音を設定する .... [音設定] 136
通知を音で知らせる .... [通知音設定] 137
省電力モードで使う .... [パワー マネージメント] 137
画面表示を変更する 138

電卓として使う

［電卓］

電卓を利用して、四則演算（＋、－、×、÷）やパーセント計算などができます。

1「スタート」→「電卓」

←	入力した数字を右から1桁ずつ消去します。
C	現在の計算を中止し、表示されている数字を消去します。
MC	メモリに保存された数値を消去します。
MR	メモリに保存された数値を表示します。
M＋	入力値をメモリの数値に加算します。
1／x	逆数計算をします。
%	パーセント計算をします。
√	平方根計算をします。
＋／－	入力した数字の＋／－を切り替えます。

おしらせ

● ホーム画面→「Tools」→「電卓」をタップして操作することもできます。

ゲームで遊ぶ

［ゲーム］

Bubble Breaker、ソリティアの2種類のゲームがあらかじめインストールされています。

Bubble Breaker

隣り合う同じ色のバブル（シャボン玉）を数多く消していくゲームです。一度にたくさんのバブルを消すと、高得点が得られます。

1「スタート」→「ゲーム」→「Bubble Breaker」

おしらせ

●「メニュー」→「オプション」をタップして、サウンドの有効／無効、ゲームのスタイルなどを設定できます。

ソリティア

裏向きに積み重ねられたトランプの山からカードをめくり、同じ種類のカードをAからKまで並べていくゲームです。

1「スタート」→「ゲーム」→「ソリティア」

おしらせ

●「メニュー」→「オプション」をタップして、ゲームのルールやカードの模様を変更できます。

電子辞典を利用する

辞典には、明鏡国語辞典MX／ジーニアス英和辞典MX／ジーニアス和英辞典MXの3種類があります。

1「スタート」→「電子辞典」

2 辞典名の右にある▼をタップして、辞典を選択する

・「メニュー」→「辞典」をタップして切り替えることもできます。

3 単語入力欄に調べたい文字を入力し、「検索」をタップする

入力した文字から予想される単語が、単語候補欄に表示されます。

・単語候補欄から単語を選択することもできます。

おしらせ

- 単語候補欄と検索結果欄の間にある▲をタップすると、検索結果欄が全画面表示されます。「<<」／「>>」をタップすると、前候補／次候補の検索結果が表示されます。
- 電子辞典の使いかたについては、「メニュー」→「ヘルプ」→「電子辞典のヘルプ」を参照してください。

GPSを利用する

本FOMA端末では、GPS機能を利用できます。GPS機能に対応したソフトウェアを使用すると、現在地の確認や目的地までのルート検索などを行うことができます。

- Internal GPS（P.134）を利用すると、GPS測位をよりすばやく行うことができます。

GPSの利用にあたって

- GPSシステムのご利用には十分ご注意ください。システムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

・建物の中や直下
・かばんや箱の中
・密集した樹木の中や下
・自動車、電車などの室内
・FOMA端末の周囲に障害物（人や物）がある場合
・地下やトンネル、地中、水中
・ビル街や住宅密集地
・高圧線の近く
・大雨、雪などの悪天候

いつもNAVIを利用する

［いつもNAVI（無料地図）］

「いつもNAVI（無料地図）」は、今いる場所を確認し、周辺情報を検索することができます。

1 「スタート」→「いつもNAVI（無料地図）」

地図画面が表示されます。

- 初回起動時は、「利用規約を読む（必読）（ブラウザ起動）」をタップするか、「利用規約に同意の上利用」→「OK」をタップします。
- 初期設定では本端末単体で測位を行う設定となっています。
- インターネット接続プロバイダがmopera Uの場合、「メニュー」→「ヘルプ／アプリ終了」をタップし、アプリ設定内の「ネットワークから測位情報を取得」にチェックを付けると、GPS測位補助情報を取得することで測位性能を向上させることができます。なお、GPS測位補助情報の取得にはパケット通信料が発生しますのでご注意ください。
  ※mopera U以外のインターネット接続プロバイダをご利用の場合は、GPS測位補助情報の取得をご利用いただけません。

おしらせ

- ナビゲーション・乗換案内・時刻表・交通渋滞情報・連絡先との連携については、有料版のダウンロードを行ってください。なお、ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- 「地図操作」をタップすると、地図の拡大／縮小や回転、現在地の連続測位などを行うことができます。
- 「いつもNAVI（無料地図）」の詳細については、「メニュー」→「ヘルプ／アプリ終了」→「ヘルプ」を参照してください。

GPS測位補助情報を取得する

［Internal GPS］

GPS測位補助情報をインターネットから取得すれば、「いつもNAVI（無料地図）」以外のGPS機能に対応したソフトウェアを使用した場合でも測位時間を短縮することができます。

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「Internal GPS」

Internal GPS設定画面が表示されます。

2 「Download」→「OK」→「ok」

- GPSデータの取得を自動で更新する場合は、「自動でGPSデータをアップデートする」にチェックを付け、「アップデート間隔」で日にちを選択します。

外付けGPSモジュールを使用する

［外付け GPS］

本FOMA端末は、市販の外付けGPSモジュールに対応しています。外付けGPSモジュールを使用する場合は、以下の設定をしてください。

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「外付け GPS」

GPS設定画面が表示されます。

2 「プログラム」タブ→「GPS プログラム ポート」でポートを選択する

3 「ハードウェア」タブ→「GPS ハードウェア ポート」でポートを選択し、「ボー レート」で数値を選択する

4 「アクセス」タブで、「GPS を自動的に管理する（推奨）」にチェックを付ける

- 「GPS を自動的に管理する（推奨）」を実行することをおすすめします（WM6.5初期設定内容は有効に設定されています）。Windows Mobileは、GPSデバイスへのアクセスを管理し、複数のプログラムが同時にGPSデータを取得できるようにします。

5 「OK」をタップする

検索ウィジェットを利用する

インターネットの情報をニュースや画像、地図などの種類ごとに検索することができます。

1 「スタート」→「検索ウィジェット」

2 検索欄に調べたい語句やキーワードを入力し、「検索」をタップする

情報の種類ごとに自動的に検索されます。

3 閲覧したい情報の種類（「ウェブ」／「ニュース」／「画像」／「地図」など）をタップする

種類ごとの検索結果が表示されます。

おしらせ

- Webページ表示中の画面操作については、P.91を参照してください。
- 検索ウィジェットの使いかたについては、Bingのヘルプを参照してください。

Windows Marketplace for Mobileを利用する

[Marketplace]

Windows® Marketplace for Mobileは、Windows Mobile® 6.5から標準機能となる、Windows Phone向けのアプリケーション配信サービスです。
Marketplaceを使えば、ゲームからビジネス、便利なツール、地図ソフト、さまざまなカテゴリのアプリケーションを、どこにいてもダウンロード・インストールすることができます。

1 「スタート」→「Marketplace」

サービスのインストールを確認するメッセージが表示されます。

2 「はい」をタップし、Marketplaceをインストールする

規約とプライバシーに関する声明へのリンクが表示されます。

3 「承諾」をタップする

Marketplace画面が表示されます。

4 「メニュー」→「サインイン」

5 ご利用のWindows Live IDとパスワードを入力し、「サインイン」をタップする

■サインアウトする場合

「メニュー」→「サインアウト」をタップします。

6 検索欄をタップし、閲覧したいアプリケーションのキーワードを英字で入力する

7 🔍をタップする

該当するアプリケーションが表示されます。

- 人気のアプリケーション順、アプリケーションの更新情報、カテゴリ別に閲覧することもできます。

8 内容を確認したいアプリケーションをタップする

9 「インストール」をタップする

アプリケーションがFOMA端末にインストールされます。

- 有料のアプリケーションで支払い方法を設定していない場合は、画面の指示にしたがって設定してください。

おしらせ

- Marketplace画面で「アプリケーション」をタップすると、購入済みのアプリケーションを確認したり、削除したりできます。
- Windows Marketplace for Mobileについて詳しくは、「Windows Mobileの製品情報について」（P.207）を参照してください。

指定時刻にアラームを鳴らす

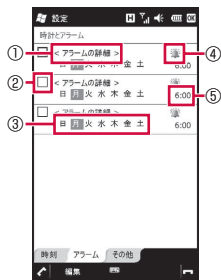
［アラーム］

WM6.5 初期設定内容	オフ

曜日ごとに時刻を指定してアラームを鳴らすことができます。

- 「アラームを消す」をタップするとアラームが止まります。

1 「スタート」→「設定」→「時計とアラーム」→「アラーム」タブ

アラーム画面が表示されます。

①アラーム名称の入力
②アラームの有効／無効の設定
③アラームを鳴らす曜日の選択
④アラーム音などの設定
⑤アラームを鳴らす時刻の設定
（アナログ時計の針をなぞっても時刻を設定できます。）

2 アラーム時刻などを設定し、「OK」をタップする

おしらせ

- ホーム画面→「Settings」→「アラーム」をタップして設定することもできます。

効果音を設定する

［音設定］

WM6.5 初期設定内容	各種イベント（警告、システムイベントなど）：オン プログラム：オン 通知（アラーム、予定等）：オン 画面をタップした時：オフ（大） ボタンを押したとき：オフ（大）

アラーム通知やFOMA端末を操作するときの効果音の有効／無効を設定します。

1 ホーム画面→「Settings」→「各種設定」→「音設定」

音設定画面が表示されます。

2 アラーム通知や効果音を設定し、「OK」をタップする

おしらせ

- 「スタート」→「設定」→「音と通知」→「サウンド」タブをタップして設定することもできます。
- 「音設定」で設定した内容は、Windows Mobileの「音と通知」に反映されます。

通知を音で知らせる

[通知音設定]

電話の着信音やメールの受信音などの各種イベント発生時の通知音を設定します。音のほかにメッセージの表示やお知らせLEDの点滅、バイブの設定などを行うこともできます。

- 音量の調節のしかたについては、「着信音量やスピーカー音量を調節する」(P.53)を参照してください。
- 対象イベントは以下のとおりです。
  着信通知/不在着信通知/留守番電話/同期開始/同期終了/自動受信/接続の確立/接続の終了/ワイヤレスネットワークの検出/新着SMSメッセージ/アラーム/新着電子メールメッセージ/IM：シェイク※/IM：新しいインスタントメッセージ※
  ※Messenger初回起動後に追加されるイベントです。

1 ホーム画面→「Settings」→「各種設定」→「通知音設定」

通知音設定画面が表示されます。

2 いずれかのイベントをタップし、「イベント」欄で設定したいイベントを選択する

3 必要な項目を設定し、「OK」をタップする

おしらせ

- 「スタート」→「設定」→「音と通知」→「通知」タブをタップして設定することもできます。

省電力モードで使う

[パワー マネージメント]

電池パックの充電残量を確認したり、電池を節約する設定をしたりできます。

1 「スタート」→「設定」→「パワー マネージメント」

2 必要な項目を確認/設定し、「OK」をタップする

「バッテリ」タブ	電池パックの状態を確認できます。
「詳細設定」タブ	バッテリ使用時または外部電源使用時に、スリープモードになるまでの時間を選択します。
「Wi-Fi」タブ	ワイヤレスLAN機能に関する設定をします(P.156)。

おしらせ

- スリープモードによってディスプレイの表示が消えたときは、⏻を押すとディスプレイを再表示します。
- ホーム画面→「Settings」→「各種設定」→「省電力設定」をタップして設定することもできます。
  「フルパワー」、「ロングライフ」の設定は変更できません。
- 「パワー マネージメント」で設定した内容は、「省電力設定」の「カスタマイズ」に反映されます。

バックライトを設定する

WM6.5 初期設定内容	バックライトを消すまでのアイドル時間： （バッテリ使用時）30秒 （外部電源使用時）10分 ボタンを押したときまたは画面をタップしたときにバックライトをつける：（バッテリ使用時）オン （外部電源使用時）オン 明るさ：（バッテリ使用時）100 自動で画面の明るさを調整する：オン （外部電源使用時）50

バックライトの明るさやバックライトを消すまでの時間などを設定します。

1「スタート」→「設定」→「システム」→「バックライト」→「バッテリ」タブ

2「バックライトを消すまでのアイドル時間」にチェックを付け、時間を選択する

3「外部電源」タブをタップする

4「バックライトを消すまでのアイドル時間」にチェックを付け、時間を選択する

5「明るさ」タブをタップする

6 スライダーを左右になぞって明るさを調整する

7「OK」をタップする

おしらせ

- ホーム画面→「Settings」→「各種設定」→「省電力設定」をタップして設定することもできます。
- 「バックライト」で設定した内容は、「省電力設定」の「カスタマイズ」に反映されます。

画面表示を変更する

画面デザインをカスタマイズする

［デザイン］

WM6.5 初期設定内容	テーマ：Classic Blue 背景：オフ

スタートメニューの背景イメージや、カーソルなどの配色を、テーマごとに変更できます。

1「スタート」→「設定」→「Today」→「デザイン」タブ

2「デバイスのテーマを選択」の一覧からテーマを選択する

- 背景イメージをテーマ以外の画像にしたいときは、「この画像を背景に使用する」にチェックを付けてから「参照」をタップして、画像ファイルを指定します。

3「OK」をタップする

ホーム画面に表示する項目を設定する

1「スタート」→「設定」→「Today」→「アイテム」タブ

2 ホーム画面に表示したい項目にチェックを付ける

- 「Windows標準」以外の項目にチェックを付けると、「Windows標準」のチェックが外れます。
- 「Windows標準」にチェックを付けると、それ以外の項目のチェックが外れます。

■項目を並べ替える場合

「日付」以外の項目を選択し、「上へ移動」／「下へ移動」をタップします。

3「OK」をタップする

おしらせ

- 「Stripe Menu」のチェックを外すと、ホーム画面のストライプが非表示になります。
- 「Stripe Menu」のチェックを付けると、他のチェックは無効になります。

画面を調整する

［画面］

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「画面」

2 必要な項目を設定し、「OK」をタップする

「全般」タブ	・画面の向きを縦／横（右きき）／横（左きき）から選択します。 ・スタイラスペン（試供品）でタップした位置が画面の位置とずれているときは、「画面の補正」をタップし、画面設定画面に戻るまで+マークのタップを繰り返します。
「文字サイズ」タブ	スライダーを左右になぞって、文字の大きさを調整します。

地域設定を変更する

［地域］

WM6.5 初期設定内容	日本語（日本）

地域設定を変更すると、本FOMA端末で表示する数値、通貨、時刻、日付が、選択した地域の表示に変更されます。

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「地域」

2 「地域」タブで、リストの中から地域を選択する

自動的にほかのタブの設定も変更されます。詳細設定を行う場合は、該当タブをタップして変更してください。

3 「OK」をタップする

おしらせ

- 地域設定を変更しても、本FOMA端末のオペレーティングシステムの言語は変更されません。
- 設定を変更すると、再起動を促すメッセージが表示されますので、電源を一度切ってから、再度電源を入れてください。

端末管理

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る
....[スキャン機能] 142
プログラムをインストールする.................................... 146
メモリの使用量を確認する..............................[メモリ] 147
ボタンの操作を調整する...................................[ボタン] 147
バージョン情報や端末情報を確認する
....[バージョン情報] 148
カスタマーフィードバックについて............................ 148
エラー報告について.. 148
FOMA端末をリセット（再起動）する......................... 148
登録データを一括して削除する......[マスタークリア] 149

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

［スキャン機能］

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやメールなど外部からFOMA端末に取り込んだファイルを検知して、障害を引き起こす可能性を含むファイルの削除や通知を行います。

- 必ずパターンデータを最新の状態にしてからスキャンを行ってください。
- 起動中のアプリケーションはスキャンできないため必ず終了してください。終了しない場合は正しくスキャンできません。アプリケーションの終了方法は、それぞれのアプリケーション作成者にお問い合わせください。
- チェックのために使用するパターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。なお、自動更新設定が「有効」の場合、パターンデータがバージョンアップされたときに自動的にダウンロードと更新が行われます（P.145）。
- パケット通信接続中はパターンデータを更新できません。ブラウザを使用したりメールを送受信した直後は、それぞれのアプリケーションを終了しても、パケット通信回線に接続されたままになっています。「パケット通信回線を切断する」（P.82、P.97）を参照して、パケット通信回線を切断してください。
- 各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害等の発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータはFOMA端末の機種ごとにデータの内容が異なります。よって当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

手動で全ファイルをスキャンする

［スキャン］

- 必ずパターンデータを最新の状態にしてからスキャンを行ってください（P.145）。
- スキャンを実施する前に、すべてのアプリケーションを手動で終了してください（P.36）。

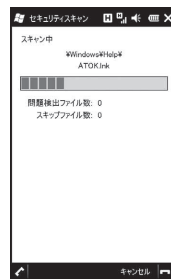
1 「スタート」→「SecurityScan」

- 「パターンデータ更新を起動してください」という画面が表示された場合は、「ok」をタップして、パターンデータを更新してください（P.145）。

2 「スキャン」→「OK」

- microSDカードやUSBメモリ機器などの外部メディアをFOMA端末に取り付けている場合は、「スキャン」→スキャン範囲を選択→「OK」→「OK」をタップします。

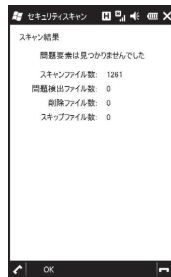
セキュリティスキャン画面　　スキャン中画面

端末管理

スキャン結果の表示について

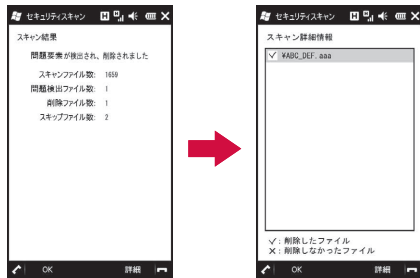
スキャンされた問題要素の表示について

検出された問題要素によって、表示されるメッセージと操作が異なります。

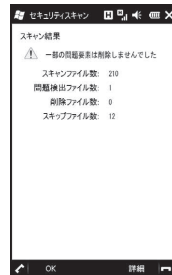
■「問題要素は見つかりませんでした」が表示されたとき

「OK」をタップして画面を閉じてください。

■「問題要素が検出され、削除されました」が表示されたとき

「OK」をタップして画面を閉じてください。

- 「詳細」をタップすると削除されたファイルを確認できます。

■「一部の問題要素は削除しませんでした」が表示されたとき

「詳細」をタップして削除しなかったファイルを確認してください。

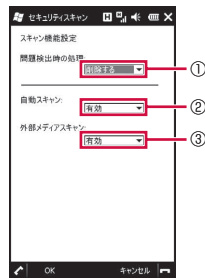
削除しなかったファイルは障害を引き起こす可能性があるので手動で削除することをおすすめします。

スキャン機能を設定する

［スキャン機能設定］

WM6.5 初期設定内容	問題検出時の処理：削除する 自動スキャン：有効 外部メディアスキャン：有効

問題検出時の動作やスキャン機能の有効／無効を設定します。

1 「スタート」→「SecurityScan」

2 「メニュー」→「スキャン機能設定」

①問題を検出した場合、データを自動的に削除するか設定します。
②ファイル更新時に自動的にスキャンするか設定します。
③microSDカードやUSBメモリ機器など、外部メディアをスキャン対象とするか設定します。

端末管理

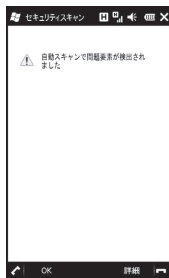
次ページへ続く

3「OK」をタップする

自動的にファイルをスキャンする

[自動スキャン]

自動スキャンが「有効」に設定されていると、変更やコピーが行われたファイルに対して自動的にスキャンを行います。問題要素が検出されると通知画面が表示されます。

- 終了するには「OK」をタップします。
- 「詳細」をタップするとスキャン結果が表示されます。

自動スキャン結果の表示について

[自動スキャン結果]

自動スキャンの結果を確認します。

1「スタート」→「SecurityScan」

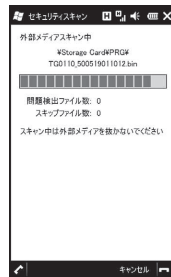
2「メニュー」→「自動スキャン結果」

自動スキャンの詳細情報が表示されます。

3「OK」をタップする

自動的に外部メディアのファイルをスキャンする

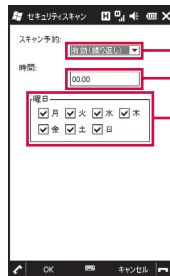
[外部メディアスキャン]

外部メディアスキャンが「有効」に設定されていると、microSDカードやUSBメモリ機器などの外部メディアをFOMA端末に取り付けたとき、外部メディアの全ファイルに対して自動的にスキャンを行います。

指定した時刻に全ファイルをスキャンする

[スキャン予約]

WM6.5 初期設定内容	スキャン予約：有効（繰り返し） 時間：00：00 曜日：月・火・水・木・金・土・日にチェック

1「スタート」→「SecurityScan」

2「メニュー」→「スキャン予約」

①スキャン予約の設定を行います。
②スキャンを実施する時間を設定します。
③スキャンを実施する曜日を設定します。

3 「OK」をタップする

スキャン予約が「有効（繰り返し）」に設定されていると、指定した時刻に外部メディアを含むFOMA端末内の全ファイルに対してスキャンを行います。

パターンデータを更新する

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

- 最新のパターンファイルをダウンロード（通信料無料）してからスキャンを行ってください。

1 「スタート」→「SecurityScan」

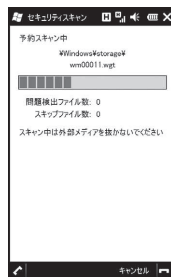
• 「パターンデータ更新を起動してください」という画面が表示された場合は、「ok」をタップしてください。

2 「更新」→「はい」→「はい」

• パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

自動でパターンデータを更新する

［自動更新設定］

パターンデータの自動更新を「有効」に設定すると、新たな問題が発見された場合、自動的にFOMA端末内のパターンデータを更新するよう設定できます。

1 「スタート」→「SecurityScan」

2 「メニュー」→「自動更新設定」→「有効」→「はい」→「はい」

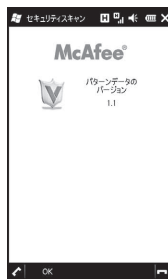
おしらせ

- パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- 以下の場合はパターンデータを更新できません。
  - FOMAカードが未挿入
  - FOMAカード不正
  - デバイスロック中
  - PINロック中
  - PINロック解除コードロック中
  - パソコンとの同期中
  - インターネット接続中
  - 電子メール受信中
  - パケット通信中
  - 圏外にいる場合
  - ワイヤレスマネージャーの「電話」がオフの場合
  - 時計を設定していない場合
  - 外部機器接続中
  - 海外で利用している場合
  - ほかのアプリケーションを起動中
- パターンデータの自動更新に失敗した場合、[V]が表示されますので、パターンデータの更新をしてください（P.145）。

端末管理

パターンデータのバージョンを確認する
［バージョン表示］

1 「スタート」→「SecurityScan」

2 「メニュー」→「バージョン表示」

3 「OK」をタップする

プログラムをインストールする

パソコンでインターネットに接続してダウンロードしたプログラムを、ActiveSyncを使ってFOMA端末にインストールすることができます。
また、Marketplaceからプログラムをインストールすることもできます。詳しくはP.135を参照してください。
詳しいインストール方法については、各プログラムの提供者の説明にしたがってください。

- プログラムのインストールは、安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったプログラムなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。
- お客様がインストールを行ったプログラムなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- プログラムによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。

おしらせ

- マスタークリア（P.149）を行うと、お買い上げ後にインストールしたプログラムはFOMA端末から削除されます。必要なプログラムは、microSDカードなどに保存されることをおすすめします。

プログラムを削除する

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「プログラムの削除」

削除可能なプログラムの一覧が表示されます。

2 削除したいプログラムを選択→「削除」→「はい」

メモリの使用量を確認する

［メモリ］

FOMA端末およびFOMA端末に取り付けた外部メディア（microSDカードやUSBメモリ機器）のメモリ使用状況を確認できます。

FOMA端末のメモリ空き容量を確認する

FOMA端末のデータ記憶用メモリとプログラム実行用メモリの使用状況を確認できます。

- FOMA端末の動作が遅くなったり、プログラムの動作が不安定になったりした場合は、実行中のプログラムを終了するなどしてプログラム実行用メモリの空き容量を確保してください。
- データ記憶用メモリの空き容量が極度に低下すると、連絡先などへの登録や、ファイルやフォルダーの操作ができなくなることがあります。不要なファイルを削除してください。

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「メモリ」→「メイン」タブ

おしらせ

- メモリ画面下部に表示されている「サイズの大きいファイルを検索できます。」の「検索」をタップして、64Kバイトより大きいファイルを検索できます。

外部メディアのメモリ空き容量を確認する

microSDカードやUSBメモリ機器など、FOMA端末に取り付けた外部メディアのメモリ使用状況を確認できます。

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「メモリ」→「メモリカード」タブ

2 ▼をタップして、「Storage Card」または「ハード ディスク」を選択する

- microSDカードのメモリ使用状況を確認するには、「Storage Card」を選択します。USBメモリ機器のメモリ使用状況を確認するには、「ハード ディスク」を選択します。

メモリの空き容量を増やす

以下の方法で利用可能なメモリの空き容量を増やすことができます。

- 現在使用していないプログラムを終了する（P.36）
- Internet Explorer Mobileの一時ファイルや履歴を削除する（P.95）
- 不要なファイルを削除する（P.112）
- 使用していないプログラムを削除する（P.146）

ボタンの操作を調整する

［ボタン］

FOMA端末にテンキーやキーボード（市販品）を接続した際、ボタン（キー）を押したときの動作を設定できます。

- すべてのテンキーやキーボード（市販品）の動作を保証するものではありません。

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「ボタン」

2 「移動開始までの待ち時間」／「移動速度」のスライダーを左右になぞって、待ち時間／速度を調整する

3 「OK」をタップする

バージョン情報や端末情報を確認する
[バージョン情報]

本FOMA端末のオペレーティングシステムのバージョンやソフトウェアのバージョン、デバイス名、ワイヤレスLAN用のMACアドレスなどを確認できます。

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「バージョン情報」

2 必要な項目を確認/入力し、「OK」をタップする

「バージョン」タブ	オペレーティングシステム(Windows Mobile® 6.5 Professional)のバージョンなどを確認できます。
「デバイスID」タブ	パソコンとの同期やBluetooth通信で使用されるデバイス名を変更したり説明を入力することができます。
「著作権」タブ	この製品の著作権について確認できます。
「バージョン情報」タブ	ソフトウェアのバージョンや製造者、IMEI(携帯端末に与えられる個別のシリアルナンバー)、ワイヤレスLANへの接続に必要なMACアドレスなどを確認できます。

カスタマーフィードバックについて

ソフトウェアの改善に役立てるため、マイクロソフト社にソフトウェア使用状況に関する匿名情報を提供するかどうかを設定します。

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「カスタマー フィードバック」

2 「フィードバックを送信する(推奨)」または「フィードバックを送信しない」をタップする

3 「完了」をタップする

おしらせ

- フィードバック情報は、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターでパソコンと同期中またはワイヤレスLAN接続中に送信されるため、パケット通信料は発生しません。

エラー報告について

エラー報告を有効にすると、プログラムエラーが発生したとき、マイクロソフト社のテクニカルサポートセンターに匿名でエラー情報を送信することができます。

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「エラー報告」

2 「エラー報告を有効にする(推奨)」または「エラー報告を無効にする」をタップする

3 「OK」をタップする

FOMA端末をリセット(再起動)する

データが正常に表示されなかったり、タップやキー操作が正しく働かない場合は、リセット操作を試してみてください。リセットを行うと編集中のデータは失われますが、保存したデータは失われません。

1 ⏻を押したままにする

電源OFF確認画面が表示されますが、そのまま⏻を押し続けます(10秒以上)。
FOMA端末の電源が切れて少したつと、FOMA端末が1回振動し、お知らせLEDが緑色に点灯します。お知らせLEDの点灯を確認したら、⏻から指を離してください。
FOMA端末が再起動します。

おしらせ

- 外部接続端子キャップを開けてリアカバーを取り外し(P.38)、スタイラスペン(試供品)でRESETボタンを押してリセットすることもできます。
- 電子メール受信後、数分以内にFOMA端末をリセットすると、受信したメールがFOMA端末に保存されないことがあります。その場合は、再度メールを受信してください(P.81)。
- プログラムのインストールや設定変更の直後にFOMA端末をリセットすると、プログラムがインストールされないことや設定変更されないことがあります。その場合は、再度プログラムのインストールや設定変更を行ってください。

登録データを一括して削除する

［マスタークリア］

FOMA端末をWM6.5初期設定内容の状態に戻します。

- この操作を行うと、ご購入後にFOMA端末にお客様がインストールしたプログラムや登録したデータはすべて削除され、設定はWM6.5初期設定内容の状態に戻りますので、メモを取ったりデータをバックアップすることをおすすめします。
- この操作を行うと、microSDカードに保存されている暗号化（P.114）されたファイルは一切読み出すことができなくなりますのでご注意ください。

■マスタークリアで削除されるデータ

- メールに保存されているメッセージ
- メールアカウントの設定
- 連絡先、仕事、予定表、メモの登録内容
- お客様がFOMA端末で撮影し保存した静止画や動画
- お客様がコピー／ダウンロードして保存したファイル
- お客様がインストールしたプログラム
- パソコンとの同期設定
- スキャン機能の更新パターンデータ
- その他、お買い上げ以降に登録・変更されたすべてのデータおよび設定内容

おしらせ

- FOMAカードに登録したりコピーした連絡先やSMSは削除されません。

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「マスタークリア」

2 コード入力欄に「1234」を入力し、「リセット」をタップする

マスタークリアが完了して少したつと、FOMA端末が再起動します。

データ通信／ワイヤレス LAN

パケット通信を利用する.. 152
インターネット経由で社内LANに接続する .... [VPN] 154
ワイヤレスLAN機能を利用する 154
Bluetooth機能を利用する...................... [Bluetooth] 158
ドメインへの登録 160
mopera U 160
Biz・ホーダイ／Biz・ホーダイ ダブル／
Biz・ホーダイ シンプル 162

パケット通信を利用する

■パケット通信とは

パケット通信では、送受信されたデータ量に応じて課金され、受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsの通信速度※でデータを送受信します。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。少ないデータ量を高速でやり取りするのに適しています。また、FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスし、データの送受信を行うこともできます。

※7.2Mbps、384kbpsは規格上の最大値で、実際の通信速度はネットワークの混み具合や通信環境により異なります。FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに非対応のアクセスポイントへの接続時は、通信速度が遅くなる場合があります。

おしらせ

- Active Syncモードでパソコンと USB接続しているときは、パケット通信をご利用になれません。USB接続の設定をマスストレージモードにするか（P.114）、FOMA端末から付属のPC接続用USBケーブル T01を外してください。
- ワイヤレスLAN機能が利用可能のときは、パケット通信をご利用になれません。ワイヤレスLAN機能をオフにしてからご利用ください（P.155）。
- Bluetooth機能がオンのときは、パケット通信をご利用になれません。Bluetooth機能をオフにしてからご利用ください（P.158）。
- データ容量の大きいファイルやデータなどを送受信した場合、通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。定額制サービスのBiz・ホーダイ／Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルのご利用をおすすめします。
- FOMAハイスピードエリア以外では、通信速度が遅くなる場合があります。
- 64Kデータ通信には対応していません。

■mopera Uについて

- 別途お申し込みが必要です。
- インターネット接続サービスのmopera Uにお申し込みいただいたお客様は、FOMA端末ですぐにインターネットをご利用になれます。詳しくは、ドコモのホームページでご確認ください。
- mopera U未契約の方は、「スタート」→「mopera U端末設定」からアクセスすると、お申し込み画面（オンラインサインアップ）に進むことができます。

■Biz・ホーダイ／Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルについて

- mopera Uに加えてBiz・ホーダイ、またはBiz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルを契約すると、定額制サービスをご利用になれます。Biz・ホーダイ、およびBiz・ホーダイ ダブル／Biz·ホーダイ シンプルについては、「Biz·ホーダイ／Biz·ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプル」（P.162）を参照してください。
- Biz・ホーダイまたはBiz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルを契約された場合は、「mopera U(Biz・ホーダイ)」を通常使う接続先に設定してください。
- Biz・ホーダイおよびBiz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルの適用外の通信を行う場合は、ご利用料金が高額にならないようにご注意ください。

パケット通信を設定する

Biz・ホーダイ／Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルをご利用にならない場合は、以下の手順でパケット通信接続のアクセスポイントを設定してください（「mopera U端末設定」（P.161）では設定できません）。

- アクセスポイント名（APN）やユーザー名、パスワードなど、接続に必要な情報は、ご利用のインターネット事業者またはネットワーク管理者にご確認ください。

1 ホーム画面→「Settings」→「簡単接続設定」→「ネットワーク設定」

ネットワーク設定画面が表示されます。

2「ネットワーク設定」をタップする

3「パケット通信」をタップし、「次へ」をタップする

4 アクセスポイント名(接続先)を入力し、「次へ」をタップする

- 半角英数字で入力してください。

5 ユーザー名を入力し、「次へ」をタップする

- 半角英数字で入力してください。

6 パスワードを入力し、「次へ」をタップする

- 半角英数字で入力してください。

7「ドメイン」、「IPアドレス」、「サーバーアドレス」、「認証方式」の順にタップして、必要な情報を入力し、「OK」をタップする

- インターネット事業者またはネットワーク管理者が指定した情報を画面の指示にしたがって入力してください。

8 接続名を入力し、「OK」をタップする

- 最大20文字で入力してください。

ネットワーク設定画面

おしらせ

- 認証方式は、あとから以下の操作で変更できます。
「スタート」→「設定」→「接続」→「GPRS設定」→接続先を選択→「編集」→「設定なし」／「CHAP」／「PAP」→「OK」

接続先の設定を編集する

1 ネットワーク設定画面で「ネットワーク設定変更」をタップする

2 設定内容を変更したい接続先を選択し、「編集」をタップする

3 画面の指示にしたがって入力されている情報を修正する

設定した接続先を削除する

1 ネットワーク設定画面で「ネットワーク設定変更」をタップする

2 削除したい接続先を選択→「削除」→「はい」

通常使う接続先を設定する

インターネットや電子メールを使用するとき自動的に接続するネットワーク（アクセスポイント）を、通常使う接続先に指定しておきます。

1「スタート」→「設定」→「接続」→「接続」→「詳細設定」タブ

2「ネットワークの選択」をタップする

ネットワーク管理画面が表示されます。

3「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」から接続先を選択する

- ご利用のインターネット接続プロバイダがmopera Uの場合は、「mopera U」を選択します。

4「編集」をタップする

5 一覧から通常接続するアクセスポイントにチェックを付けて、「OK」をタップする

- Biz・ホーダイまたはBiz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルを契約している場合は、「mopera U(Biz･ホーダイ)」にチェックが付いていることを確認して、「OK」をタップします。

おしらせ

- 操作1は、ホーム画面→「Settings」→「簡単接続設定」→「ネットワーク設定」→「詳細設定」→「詳細設定」タブをタップすることもできます。

インターネット経由で社内LANに接続する [VPN]

VPN（Virtual Private Network）は、インターネット経由で自宅のパソコンや社内ネットワーク（イントラネット）へ安全にアクセスするための接続方法です。公衆網であるインターネット上に仮想的な専用回線を用意し、暗号化したデータを送受信することで、第三者によるデータの盗聴や改ざんなどを防ぎます。

- ホスト名またはIPアドレス、VPNの種類、ユーザー名、パスワードなど、接続に必要な情報は、ネットワーク管理者にご確認ください。
- インターネットを利用できるよう、「パケット通信を設定する」（P.152）であらかじめ接続先の設定を行ってください。

1 「スタート」→「設定」→「接続」→「接続」

2 「既定の社内ネットワーク設定」の「新しいVPNサーバー接続の追加」をタップする

3 必要な情報を入力する

- 名前（一覧に表示する接続名）とホスト名／IPを入力し、VPNの種類を選択したら「次へ」をタップして、以降の画面で必要な情報を入力してください。
- IPアドレスやDNSサーバアドレスを手動で入力する場合は、「詳細設定」をタップして入力し、「OK」をタップしてください。

4 「完了」をタップする

ワイヤレスLAN機能を利用する

本FOMA端末のワイヤレスLAN機能を利用して、自宅や社内ネットワークの無線アクセスポイントに接続できます。また、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。
ドコモ公衆無線LANサービス（有料）にご加入いただくと、空港、駅、ファーストフード店、カフェなどで、無線による最大54Mbps※の高速インターネットアクセスが可能になります。詳しくはドコモのホームページをご確認ください。
※理論値であり、実効速度は通信環境や電波状況、接続する端末の仕様などにより異なります。

■アクセスポイントに接続するまでの流れ

利用形態を決める

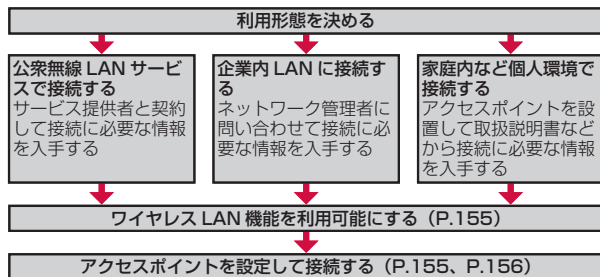
↓

公衆無線 LAN サービスで接続する	企業内 LAN に接続する	家庭内など個人環境で接続する
サービス提供者と契約して接続に必要な情報を入手する	ネットワーク管理者に問い合わせて接続に必要な情報を入手する	アクセスポイントを設置して取扱説明書などから接続に必要な情報を入手する

↓

ワイヤレス LAN 機能を利用可能にする（P.155）

↓

アクセスポイントを設定して接続する（P.155、P.156）

■Bluetooth対応機器との電波干渉について

本FOMA端末のワイヤレスLAN機能とBluetooth対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、Bluetooth対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. FOMA端末とBluetooth対応機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、Bluetooth対応機器の電源を切ってください。

ワイヤレスLAN機能を利用可能にする

- **パケット通信接続中はワイヤレスLAN機能を利用可能にできません。**
  パケット通信回線を切断してから操作してください（P.82、P.97）。

1 「スタート」→「設定」→「接続」→「ワイヤレスマネージャー」

2 「Wi-Fi」をタップする

ワイヤレスLAN機能が利用可能になると、タイトルバーに が表示され、自動で近くの利用可能な無線アクセスポイントを検出します。

■接続したいアクセスポイントが検出されなかった場合

「アクセスポイントを設定する」（P.156）を参照してください。

接続したいアクセスポイントが検出された場合

タイトルバーに が表示され、アクセスポイント（ネットワーク）を自動で検出したことを通知するメッセージ画面が表示されます。以下の操作でアクセスポイントに接続できます。

1 「インターネット設定（またはVPN経由）」または「社内ネットワーク設定」を選択し、「接続」をタップする

- 「複数のネットワークが検出されました」という画面が表示されたら、ネットワーク（アクセスポイント）を選択して「OK」をタップしてから、この操作を行います。

2 ネットワークキーを入力し、「接続」をタップする

ワイヤレスLAN機能をオフにする

ワイヤレスLANに接続しないときは、電池の減りを防ぐため、ワイヤレスLAN機能を「Off」にしてください。

1 「スタート」→「設定」→「接続」→「ワイヤレスマネージャー」

2 「Wi-Fi」をタップして、「Off」を表示させる

3 「完了」をタップする

おしらせ

- FOMA端末の電源を切ると、ワイヤレスLAN機能がオフになります。
- 電池残量が少なくなると、ワイヤレスLAN機能の終了を通知する画面が表示され、ワイヤレスLAN機能がオフになります。「ok」をタップしてメッセージ画面を閉じて、電池パックを充電してからワイヤレスLAN機能を利用可能にしてください。

自動的にワイヤレスLAN機能をオフにする

WM6.5 初期設定内容	利用可能ネットワーク通知をオンにする：オン 次の時間未接続の場合、Wi-Fiをオフにする：オフにしない

アクセスポイントに未接続のまま一定時間が過ぎると、ワイヤレスLAN機能がオフになるように設定できます。

1 「スタート」→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 「メニュー」→「詳細設定」

3 「次の時間未接続の場合、Wi-Fiをオフにする」の一覧からワイヤレスLANがオフになるまでの時間を選択する

4 「保存」をタップする

ワイヤレスLANの省電力設定

WM6.5 初期設定内容	サスペンドしない：オフ WOW有効：オフ Wi-Fi省電力設定：省電力優先

ワイヤレスLAN接続中にFOMA端末が自動でスリープモードにならないように設定できます。また、ワイヤレスLAN接続中にスリープモードになっても、アクセスポイントから通知を受信すると、自動的にスリープモードから復帰するように設定できます。

1 「スタート」→「設定」→「パワー マネージメント」→「Wi-Fi」タブ

2 必要な項目を設定する

項目	説明
Wi-Fi接続時のサスペンド設定	「サスペンドしない」にチェックを付けると、ワイヤレスLAN接続中にFOMA端末が自動でスリープモードになるのを禁止します。
WOW有効	チェックを付けると、アクセスポイントからFOMA端末宛ての通知を受信したとき自動的にスリープモードから復帰します。
Wi-Fi省電力設定	「省電力優先」／「自動優先」／「送信レート優先」から選択します。

3 「OK」をタップする

おしらせ

- ホーム画面→「Settings」→「各種設定」→「省電力設定」をタップして設定することもできます。

アクセスポイントを設定する

Wi-Fi設定画面で、SSID（ネットワーク名）、セキュリティの種類などの接続情報を登録したり、ホーム・アクセスポイントを設定したりできます。

- 接続に必要な情報は、お使いのワイヤレスLANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。社内ネットワークの無線アクセスポイントに接続する場合は、必要な情報をネットワーク管理者にご確認ください。
- お使いのワイヤレスLANアクセスポイントが、MACアドレスを登録している機器のみと接続するように設定されているときは、FOMA端末のMACアドレスをワイヤレスLANアクセスポイントに登録してください。MACアドレスの確認方法は、P.148を参照してください。

1 ホーム画面→「Settings」→「簡単接続設定」→「Wi-Fi設定」

Wi-Fi設定画面が表示されます。

Wi-Fi設定画面

■アクセスポイントを編集する場合

Wi-Fi設定画面の一覧から設定を変更したいアクセスポイントを選択し、「変更」をタップして編集を行い、「次へ」をタップします。接続名の入力画面で「Ok」をタップすると、変更内容が保存され、自動的にアクセスポイントへの接続を開始します。

■アクセスポイントを削除する場合

Wi-Fi設定画面の一覧から削除したいアクセスポイントを選択し、「削除」→「はい」をタップします。

2 「新規作成」をタップする

3 SSID（ネットワーク名）とCh番号（チャンネル番号）を入力し、「次へ」をタップする

- SSIDは最大32文字の半角英数字で入力してください。
- チャンネル番号は1～11の半角数字を入力してください。

4 セキュリティの種類と暗号化の種類を選択し、「次へ」をタップする

- 選択したセキュリティの種類と暗号化の種類の組み合わせにより、操作5を省略して、操作6に進みます。

5 ネットワークキーを入力してキーインデックスを選択し、「次へ」をタップする

6 接続名を入力し､｢Ok｣をタップする

- 接続名は最大35文字（¥ / : * ? " < > | は使用不可）で入力してください。

設定を保存すると、自動的に登録したアクセスポイントへの接続を開始します。

アクセスポイントの一覧を更新する

1 Wi-Fi設定画面で｢新規作成｣→｢一覧更新｣

ワイヤレスLAN機能が利用可能になります。利用可能な無線アクセスポイントが自動で検出されて、一覧に表示されます。

アクセスポイントの優先順位を変更する

1 Wi-Fi設定画面の一覧から優先順位を変更したいアクセスポイントを選択し､ ／ をタップする

ホームアクセスポイントを設定する

1 Wi-Fi設定画面の一覧からホームに設定したいアクセスポイントを選択し､｢Home AP｣をタップする

ホームアクセスポイントにが表示されます。

アクセスポイントを指定して接続する

1 Wi-Fi設定画面(P.156)で接続したいアクセスポイントを選択し､｢接続｣をタップする

接続中のアクセスポイントにが表示されます。

接続を切断する

1 Wi-Fi設定画面(P.156)で｢切断｣をタップする

ネットワークアダプタの情報を設定する

ワイヤレスLAN接続に使用するネットワークアダプタの情報（IPアドレスやDNSサーバアドレスなど）を設定します。

1 ｢スタート｣→｢設定｣→｢接続｣→｢Wi-Fi｣→｢ネットワーク アダプター｣タブ

2 ネットワークカードの接続先として｢インターネット設定｣または｢社内ネットワーク設定｣を選択する

3 ｢AR6000 WLAN Adapter SD｣をタップする

4 ｢サーバー割り当てのIPアドレスを使用する｣または｢指定したIPアドレスを使用する｣を選択する

- 「指定したIPアドレスを使用する」を選択した場合、ネットワーク管理者が指定したIPアドレスなどを入力します。
- 必要に応じて「ネーム サーバー」タブをタップして、DNSサーバのアドレスなどを入力します。

5 ｢OK｣をタップする

おしらせ

- 操作4で「指定したIPアドレスを使用する」を選択してIPアドレスを入力すると、ワイヤレスLAN機能を「Off」にしても、パケット通信によるインターネット接続ができなくなることがあります。その場合、操作4で「サーバー割り当てのIPアドレスを使用する」を選択すると､パケット通信で接続できるようになります。
- 「スタート」→「設定」→「接続」→「ワイヤレスマネージャー」→「メニュー」→「Wi-Fi設定」をタップしても設定できます。

Bluetooth機能を利用する

[Bluetooth]

本FOMA端末のBluetooth機能を利用して、近くにあるBluetooth対応機器と無線でデータをやりとりできます。Bluetooth対応イヤホンマイクやワイヤレスヘッドホンと接続すると、ハンズフリーで通話したりワイヤレスで音楽を聴いたりできます。

- ActiveSyncを利用したパソコンとの同期も行えます。詳しくは、「Bluetooth通信で同期する」（P.121）を参照してください。
- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては、P.199を参照してください。
- 設定や操作方法については、接続するBluetooth対応機器の取扱説明書もご覧ください。
- 本FOMA端末とすべてのBluetooth対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

■Bluetooth機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本FOMA端末とほかのBluetooth対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■ワイヤレスLAN対応機器との電波干渉について

本FOMA端末のBluetooth機能とワイヤレスLAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、ワイヤレスLAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. FOMA端末とワイヤレスLAN対応機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、ワイヤレスLAN対応機器の電源を切ってください。

■Bluetooth機能のモードについて

Bluetooth機能には以下の3種類のモードがあります。

モード	説明
On	登録されているBluetooth対応機器に接続できます。また、本FOMA端末から通信範囲内にあるBluetooth対応機器を検出できます。
Off	Bluetooth機能を「Off」にします。
検出可能	Bluetooth機能がオンのときに実行できるモードで、通信範囲内にあるBluetooth対応機器から本FOMA端末を検出可能な状態にします。

■Bluetoothパスコードについて

Bluetoothパスコードは、接続するBluetooth対応機器どうしがはじめて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスコード（最大16文字の半角英数字）を入力する必要があります。

Bluetooth機能をオンにする

- パケット通信接続中は、Bluetooth機能をオンにできません。あらかじめパケット通信回線を切断してください（P.82、P.97）。

1 「スタート」→「設定」→「Bluetooth」→「モード」タブ

2 「Bluetooth をオンにする」にチェックを付ける

- チェックを外すとオフになります。

■FOMA端末を検出可能モードにする場合

「このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする」にチェックを付けます。

3 「OK」をタップする

おしらせ

- Bluetooth通信で接続しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth機能をオフにしてください。
- Bluetooth機能のオン／オフ設定は、電源を切っても変更されません。
- Bluetooth機能はFOMA端末の電源を切った状態では使用できません。
- ワイヤレスマネージャーでオン／オフまたは検出可能／オフを切り替えることもできます（P.73）。

パートナーシップを確立する

本FOMA端末と相手機器との間で安全にデータのやりとりが行えるように、パートナーシップを確立します。

- あらかじめ本FOMA端末のBluetooth機能をオンにしてください。
- 相手機器を本FOMA端末から10m以内に設置してください。

1 「スタート」→「設定」→「Bluetooth」

2 「デバイス」タブ→「新しいデバイスの追加」

検索に応答した機器が表示されます。

3 一覧から接続する相手機器を選択し、「次へ」をタップする

4 パスコードを入力し、「次へ」をタップする

- 最大16文字の半角英数字を入力してください。

5 相手機器側でパートナーシップを受け入れる操作を行う

- 本FOMA端末で入力したのと同じパスコードを入力してください。

6 「デバイスが追加されました」画面が表示されたら、「完了」をタップする

7 一覧から相手機器をタップする

「パートナーシップの設定」画面が表示されます。

8 使用したいサービスにチェックを付け、「保存」をタップする

相手機器からのパートナーシップ要求を受け入れる

- あらかじめ本FOMA端末のBluetooth機能を検出可能モードにしてください（P.158）。

1 「スタート」→「設定」→「Bluetooth」→「モード」タブ

2 「このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする」にチェックを付ける

3 接続を要求する通知画面が表示されたら、「はい」をタップする

4 パスコードを入力し、「次へ」をタップする

5 「デバイスが追加されました」画面が表示されたら、「完了」をタップする

6 「デバイス」タブをタップし、一覧から相手機器をタップする

「パートナーシップの設定」画面が表示されます。

7 使用したいサービスにチェックを付け、「保存」をタップする

パートナーシップを削除する

1 「スタート」→「設定」→「Bluetooth」→「デバイス」タブ

2 削除したい相手機器を1秒以上タップする

ポップアップメニューが表示されます。

3 「削除」→「はい」

ビームでデータを送受信する

- データをやりとりする相手機器を本FOMA端末から10m以内に設置してください。

ビーム受信を設定する

WM6.5 初期設定内容	すべての着信ビームを受信する：オン

Bluetooth通信で送られてきたデータを本FOMA端末で受信するように設定します。

1 「スタート」→「設定」→「接続」→「ビーム」

2 「すべての着信ビームを受信する」にチェックを付ける

3 「OK」をタップする

ビームでデータを受信する

- あらかじめ本FOMA端末のBluetooth機能を検出可能モードにしてください（P.158）。

1 データの受信を通知する画面で「はい」をタップする

- 通知画面が表示されていない場合は、•⊙をタップするか、ホーム画面で「通知」をタップすると表示されます。

ビームでデータを送信する

連絡先、予定表、仕事などのデータや、静止画、動画などのファイルを、ほかのBluetooth対応のパソコンなどに送信できます。

例：連絡先をビームで送信する

1 送信したい連絡先を選択し、「メニュー」をタップする

2 「連絡先の送信」→「ビーム」

3 デバイスの一覧から受信側の相手機器をタップする

ドメインへの登録

FOMA端末を会社のドメインに登録して、社内ネットワーク管理者がFOMA端末を管理できるように設定できます。

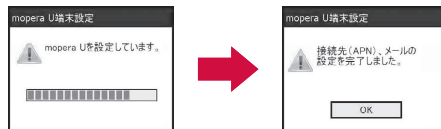
- 登録に必要な情報は、ネットワーク管理者にご確認ください。

1 「スタート」→「設定」→「接続」→「ドメインへの登録」

2 「登録」をタップする

3 画面の指示にしたがって登録する

mopera U

インターネット接続サービスmopera Uに加えてBiz・ホーダイ／Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルを契約された場合は、はじめてFOMA端末の電源を入れたときに、パケット通信接続の設定を自動で行います。設定が完了したら、そのままインターネットをご利用になれます。

おしらせ

- ドコモショップなどで設定が完了した場合など、上記画面が表示されない場合があります。
- mopera Uのご契約内容により、表示される内容が異なります。
- Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルを予約された場合には、予約された月の翌月1日に変わる前にパケット通信接続の設定変更を自動で行います。その際、圏外などで設定変更できなかった場合には、手動で行ってください。
- FOMA端末、電波の状態により、正常に設定されない場合がありますので、ネットワーク管理画面（P.153）で正常に設定されていることを確認してください。

mopera Uの設定内容を変更する

mopera Uをご利用いただくために必要な設定内容（ユーザーID、パスワード、メールアドレスなど）を変更する場合は、mopera U端末設定を行ってください。

- サイト接続中の画面はイメージです。表示内容など、実際の画面と異なる場合があります。

1 「スタート」→「mopera U端末設定」

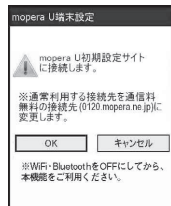
2 「mopera U初期設定サイトに接続します。」が表示されたら「OK」をタップする

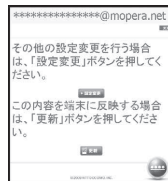
通常利用する接続先を通信料無料の接続先（0120.mopera.ne.jp）に変更します。
ブラウザが起動し、「mopera U初期設定サイト」（http://start.mopera.net/）が表示されます。

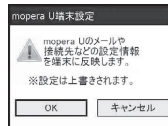
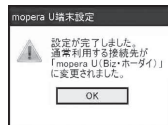
- ワイヤレスLAN機能およびBluetooth機能を無効（オフ）にしてから、本機能をご利用ください。

3 ネットワーク暗証番号を入力し、「次へ」をタップする

- ネットワーク暗証番号の入力を3回間違えるとロックがかかります。解除方法については、取扱説明書裏面の「ドコモ·スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。

4 ユーザーID、パスワード、メールアドレスなどを確認／変更し、「次へ」をタップする

5 「更新」をタップする

- 変更したい項目がある場合は「設定変更」をタップし、内容を変更してから「更新」（または「完了」）をタップしてください。

6 「OK」をタップする

ダウンロードされた設定情報がFOMA端末に反映されます。すでにメールやネットワークの設定が済んでいる場合は、上書きされますのでご注意ください。

7 「設定が完了しました。通常利用する接続先が「mopera U(Biz・ホーダイ)」に変更されました。」が表示されたら「OK」をタップする

おしらせ

- 手順1～7の設定を途中で終了または中断した場合、通常利用する接続先が「0120.mopera.ne.jp」に変更されたままの場合があります。「mopera U端末設定」を再度実行するか、ネットワーク管理画面で通常利用する接続先を変更してください（P.153）。

mopera Uをご利用になれないときは

mopera Uをご利用になれない場合、以下をご確認ください。

状況	対処方法
mopera Uのアクセスポイントに接続できない。	・外部機器接続中またはBluetooth機能がオンでないかどうかをお確かめください(P.155、P.158)。 ・ご契約の内容をお確かめください。ご契約内容確認後、「通常使う接続先を設定する」(P.153)を参照の上、接続先を設定してください。
mopera Uには接続されているが、インターネットにアクセスできない。	「mopera U端末設定」を途中で終了または中断した場合、通常利用する接続先が「0120.mopera.ne.jp」に変更されたままの場合があります。 「mopera U端末設定」を再度実行するか、ネットワーク管理画面で通常利用する接続先を変更してください(P.153、P.161)。
海外で接続できない。	海外では、Biz・ホーダイおよびBiz・ホーダイ ダブル/Biz・ホーダイ シンプルをご利用になれません。Biz・ホーダイ定額対応アクセスポイント以外への接続をご利用ください。
端末設定の途中で電源を切ってしまった。	「mopera U端末設定」を再度実行してください(P.161)。
端末設定を中断したい。	「mopera U端末設定」を中断するには、以下の方法があります。 ・ブラウザを終了する ・回線を切断する ・各画面で「キャンセル」をタップする 中断した場合、通常利用する接続先が「0120.mopera.ne.jp」に変更されたままの場合があります。 「mopera U端末設定」を再度実行するか、ネットワーク管理画面で通常利用する接続先を変更してください(P.153、P.161)。

Biz・ホーダイ/Biz・ホーダイ ダブル/Biz・ホーダイ シンプル

Biz・ホーダイは、定額料金でiモード以外のFOMAパケット通信(パソコンなどの外部機器に接続しての利用は除きます)が利用できるサービスです。また、Biz・ホーダイ ダブル/Biz・ホーダイ シンプルは、Biz・ホーダイ定額対応アクセスポイントを利用した国内におけるFOMAパケット通信(パソコンなどの外部機器に接続しての利用は除きます)、FOMAのiモード通信、iモードフルブラウザ通信、当社が指定したISP以外のISP接続通信およびパソコンなどの外部機器を接続した通信が利用できる2段階のパケット定額サービスです。
ご利用のプロバイダが「mopera U」の場合、通常使う接続先としてBiz・ホーダイ定額対応アクセスポイントが登録済みです。
パケット定額サービスをご利用いただくために、Biz・ホーダイ定額対応アクセスポイントの設定を行ってからご利用ください。設定後は、インターネットアクセスやメールの送受信を行なうとき、自動的にBiz・ホーダイ定額対応アクセスポイントに接続されます。

注意事項

- ご利用いただくには事前に「Biz・ホーダイ」または「Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプル」のご契約が必要です（「Biz・ホーダイ」は、2008年12月31日をもって新規受付を終了させていただきました）。
- Biz･ホーダイ対応プロバイダである「mopera U」（Uスタンダードプラン、Uライトプラン）または「ビジネスmoperaインターネット」とのご契約が必要となります。
- ネットワークの混雑状況によっては、従量制でパケット通信をご利用の場合に比べて、通信が遅くなることや接続しづらくなることがあります。また、特にご利用の多いお客様（当日を含む直近３日間のパケット通信が300万パケット以上）は、それ以外のお客様と比べて通信が遅くなることがあります。なお、一定時間内に著しく大量なデータ通信があった場合、または接続時間が長時間にわたる通信があった場合は、その通信が中断されたり、それ以降一定時間接続できなくなることがあります。
- Biz・ホーダイまたはBiz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルのご契約を解約する手続きについては、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。
- パケット通信接続中は、Active SyncモードでパソコンとUSB接続を行ったり、Bluetooth機能やワイヤレスLAN機能を有効にすることができません。
- 「Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプル」などをご契約で、国際ローミング時にパケット通信をご利用される場合はBiz・ホーダイ定額対応アクセスポイントから従量制対応アクセスポイントへ設定を変更していただくことが必要となります。また、帰国前には、必ず従量制対応アクセスポイントからBiz･ホーダイ定額対応アクセスポイントへの設定変更をしてください。

■Biz・ホーダイについて

Biz・ホーダイ定額対応アクセスポイントを利用した、国内におけるFOMAパケット通信（パソコンなどの外部機器に接続しての利用は除きます）が定額の対象となります。Biz・ホーダイ定額対応アクセスポイントを利用していない通信は定額対象外になり、利用したパケット通信量に応じた通信料金がかかります。

■Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルについて

対象通信はBiz・ホーダイ定額対応アクセスポイントを利用した国内におけるFOMAパケット通信（パソコンなどの外部機器を接続しての利用は除きます）、FOMAのiモード通信、iモードフルブラウザ通信、当社が指定したISP以外のISP接続通信およびパソコンなどの外部機器を接続したパケット通信となります。

※上記の注意事項は、2009年11月現在のものです。

Biz・ホーダイ定額対応アクセスポイントの設定

定額通信サービスをご利用いただくために、Biz・ホーダイ定額対応アクセスポイントの設定を行います。
ご利用のプロバイダが「mopera U」の場合、通常使う接続先としてBiz・ホーダイ定額対応アクセスポイントが登録済みです。

1 **「スタート」→「設定」→「接続」→「接続」→「詳細設定」タブ**

2 **「ネットワークの選択」をタップする**

ネットワーク管理画面が表示されます。

3 **「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」から「mopera U」を選択し、「OK」をタップする**

4 **「設定」タブ→「既存の接続を管理」をタップする**

5 **「mopera U（Biz･ホーダイ）」が選択されていることを確認し、「ok」をタップする**

Biz・ホーダイ定額対応アクセスポイントへの通信をご利用になれないときは

Biz･ホーダイ接続をご利用になれない場合は、以下をご確認ください。

状況	対処方法
Biz・ホーダイに接続できない。	外部機器接続中またはBluetooth機能がオンでないかどうかをお確かめください(P.155、P.158)。
海外で接続できない。	海外では、「Biz・ホーダイ」および「Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプル」をご利用になれません。Biz・ホーダイ定額対応アクセスポイント以外への接続をご利用ください。
電波状況が悪い。	電波の安定している場所へ移動してご利用ください。
Biz・ホーダイ定額対応アクセスポイント以外に接続してしまう場合	Biz・ホーダイ定額対応アクセスポイント※に接続するようにモデム設定を変更してください。

※Biz・ホーダイ定額対応アクセスポイントは、Biz・ホーダイとBiz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルで共通です。

以上の方法をお試しになってもBiz・ホーダイ接続をご利用になれない場合は、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。

Biz・ホーダイ定額対応アクセスポイントを再登録する

誤って「mopera U(Biz・ホーダイ)」を削除した場合は、以下の手順で本FOMA端末に接続先を再登録します。

1 **「スタート」→「設定」→「接続」→「接続」→「詳細設定」タブ**

2 **「ネットワークの選択」をタップする**

ネットワーク管理画面が表示されます。

3 **「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」から「mopera U」を選択し、「OK」をタップする**

4 **「設定」タブ→「既存の接続を管理」→「追加」をタップ**

5 **「接続名」に「mopera U(Biz･ホーダイ)」を入力→「モデムの選択」から「パケット通信(3G,GPRS)」を選択→「次へ」をタップする**

6 **「アクセスポイント名」に「mpr2.bizho.net」を入力し、「次へ」をタップする**

- アクセスポイント（接続先）名は半角英数字で入力してください。

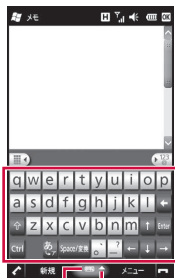
7 **「完了」をタップする**

- ユーザー名やパスワード、ドメインは入力不要です。

文字入力

文字を入力する 166
ATOKを設定する .... [ATOK設定] 169

文字を入力する

本FOMA端末は、文字入力パッド表示アイコンが出ている画面でアイコンをタップし、表示された文字入力パッドから目的の文字を入力することができます。文字入力パッドを閉じるときは、再度文字入力パッド表示アイコンをタップします。

入力モードを切り替える

入力モードには、以下の7種類があります。

- T-Keyboard
- 手書き入力
- ひらがな／カタカナ
- 定型文
- ローマ字／かな
- 文字一覧
- 手書き検索

T-Keyboardで入力する

T-Keyboardには、以下の3種類があります。

- QWERTYパッド
- 10キーパッド
- 数字・記号パッド

■QWERTYパッドで入力する

QWERTYパッドでは、ひらがな／カタカナ／英字／数字／記号を入力することができます。

1 入力モード切り替え矢印をタップし、「T-Keyboard」をタップする

2 ［キーボード］／［キーボード］をタップしてQWERTYパッドに切り替える

3 入力したい文字をタップする

- ［⇧］をタップするたびに、大文字画面と小文字画面が切り替わります。また、［⇧］をタップしたままにすると、数字／記号画面に切り替わります。
- ［あ］をタップすると、入力モードがカタカナ／英大文字／英小文字／ひらがなの順に切り替わります。
- 文字を削除する場合は、［←］をタップするとカーソルの左側の文字が削除されます。
- 文字を漢字に変換する場合は「Space／変換」をタップし、入力したい漢字を選択します。

■数字・記号パッドで入力する

1 入力モード切り替え矢印をタップし、「T-Keyboard」をタップする

2 123@をタップして数字･記号パッドに切り替える

3 入力したい文字をタップする

- 1/18または>をタップすると次の数字／記号画面が表示され、<をタップすると前の数字／記号画面が表示されます。

■10キーパッドで入力する

携帯電話にあるようなパッドで、ひらがな／カタカナ／英字／数字／記号を入力することができます。

1 入力モード切り替え矢印をタップし､｢T-Keyboard｣をタップする

2 をタップして10キーパッドに切り替える

3 入力したい文字が割り当てられているボタンをタップする

10キーパッド上部に候補の文字が表示されます。

4 入力したい文字をタップする

- 「カナ」をタップすると、10キーパッドの表示がカタカナ／英大文字／英小文字／数字／記号／ひらがなの順に切り替わります。

ひらがな／カタカナ方式で入力する

1 入力モード切り替え矢印をタップし､｢ひらがな／カタカナ｣をタップする

2 文字入力パッドで入力したい文字をタップする

- ひらがなを入力する場合は「かな」を、カタカナを入力する場合は「カナ」をタップします。また､小文字を入力する場合は「小字」をタップします。文字を漢字に変換する場合は｢変換｣をタップし、入力したい漢字を選択します。

ローマ字／かな方式で入力する

1 入力モード切り替え矢印をタップし､｢ローマ字／かな｣をタップする

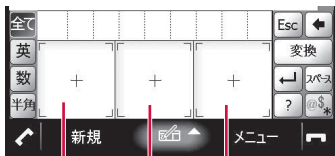
2 文字入力パッドで入力したい文字をタップする

- ひらがなを入力する場合は「かな」を、カタカナを入力する場合は「カナ」をタップします。文字を漢字に変換する場合は「変換」をタップし、入力したい漢字を選択します。

手書き入力方式で入力する

1 入力モード切り替え矢印をタップし、「手書き入力」をタップする

2 手書き入力欄に文字を書き込む

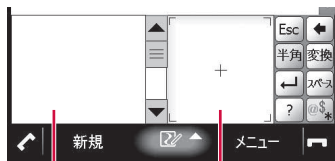
- 「全て」をタップすると、ひらがな／カタカナ／英字／数字／記号すべての文字の候補が表示されます。英字／数字だけを入力する場合は、「英」／「数」をタップします。

手書き検索を使って入力する

手書き入力で書き込んだ文字の画数が多いなどの理由で、正しく認識されない場合は、手書き検索が便利です。

1 入力モード切り替え矢印をタップし、「手書き検索」をタップする

2 手書き入力欄に文字を書き込む

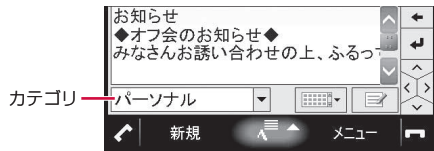
書き込んだ文字の認識候補が一覧表示されます。

3 候補の中から入力したい文字をタップする

定型文を入力する

定型文や顔文字、飾り罫などを入力することができます。

1 入力モード切り替え矢印をタップし、「定型文」をタップする

2 カテゴリを選択し、一覧から入力したい定型文などをタップする

- をタップすると一覧の表示方法を変更できます。
- をタップすると「定型文編集ツール」が表示され、定型文の追加／変更／削除ができます。

文字一覧から入力する

文字コード表から文字や記号を入力することができます。

1 入力モード切り替え矢印をタップし、「文字一覧」をタップする

2 「シフトJIS」または「Unicode」を選択する

3 文字カテゴリを選択し、一覧から入力したい文字をタップする

ATOKを設定する

[ATOK設定]

WM6.5 初期設定内容	オン

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「ATOK設定」

2 「日本語入力にATOKを使用する」にチェックを付ける、またはチェックを外す

3 「OK」→「はい」

おしらせ

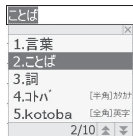
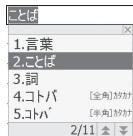
- ATOKの有効／無効を切り替えると、FOMA端末が再起動します。
- ATOK設定を無効にすると、「プロパティ」の設定はできません。

後変換候補を設定する

「Space／変換」をタップして変換したときの候補の一覧に、全角カタカナや半角カタカナなど、変換した文字を追加するかしないかの設定ができます。

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「ATOK設定」→「プロパティ」→「入力･変換」タブ

2 各後変換候補のチェックを付ける、またはチェックを外し、「OK」をタップする

☐ 全角ｶﾀｶﾅ の場合

☑ 全角ｶﾀｶﾅ の場合

変換辞書による文字変換

WM6.5 初期設定内容	オン

推測変換を有効にすると、文字を入力するごとに候補語の絞り込みができます。また、横画面／縦画面ごとに候補提示行数を変更することができます。

■推測変換の設定を無効にするには

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「ATOK設定」→「プロパティ」→「推測変換」タブ

2 「推測変換を有効にする」のチェックを外し、「OK」をタップする

よく使う単語をあらかじめ登録する

［単語登録］

よく使う単語をあらかじめユーザー辞書に登録しておくと、その読みを入力して変換したときに優先して表示するようにできます。

新しい単語を登録する

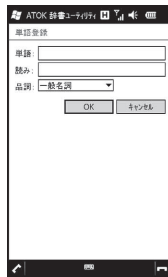
1 「スタート」→「設定」→「システム」→「ATOK設定」→「プロパティ」→「学習」タブ

2 「登録単語の編集」→「編集」→「登録」

単語登録画面が表示されます。

3 「単語」に登録する単語を入力する

4 「読み」に読みかたを入力する

5 品詞を選択し、「OK」をタップする

おしらせ

- Microsoft IME辞書ツールで単語登録をする場合は、ATOK設定を無効（P.169）にしてから以下の操作を行います。
  「スタート」→「設定」→「個人」→「入力」→「入力方法」タブ→「ひらがな／カタカナ」／「ローマ字／かな」→「オプション」

登録した単語を削除する

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「ATOK設定」→「プロパティ」→「学習」タブ→「登録単語の編集」

2 削除したい単語を選択する

3 「編集」→「削除」→「はい」

選択した単語が単語一覧から削除されます。

4 「×」をタップする

使用する辞書を設定する

FOMA端末にインストールされている辞書を、文字の変換時に使用する辞書として設定できます。

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「ATOK設定」→「プロパティ」→「辞書」タブ

2 「基本辞書」／「補助辞書」一覧で使用する辞書にチェックを付ける

3 「OK」をタップする

学習した内容をリセットする

［学習データのリセット］

学習データは、一度入力した文字列を自動的に記憶し、変換時の候補として表示されます。学習データをリセットすると、学習内容が消去され、WM6.5初期設定内容の状態に戻ります。

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「ATOK設定」→「プロパティ」→「学習」タブ

2 「学習データのリセット」→「はい」

3 「OK」をタップする

学習データがWM6.5初期設定内容の状態に戻ります。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス 172
留守番電話サービス .... [留守番電話] 172
キャッチホン .... [キャッチホン] 173
転送でんわサービス .... [転送でんわ] 174
迷惑電話ストップサービス .... [迷惑電話ストップ] 175
番号通知お願いサービス 176
OFFICEED 176

利用できるネットワークサービス

本FOMA端末では、以下のドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

● ネットワークサービスについて詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

サービス名	月額使用料	お申し込み	参照先
留守番電話サービス	有料	必要	P.172
キャッチホン	有料	必要	P.173
転送でんわサービス	無料	必要	P.174
迷惑電話ストップサービス	無料	不要	P.175
発信者番号通知サービス	無料	不要	P.45
番号通知お願いサービス	無料	不要	P.176
公共モード（ドライブモード）	無料	不要	P.54
公共モード（電源OFF）	無料	不要	P.55
OFFICEED	有料	必要	P.176

おしらせ

● サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスの設定はできません。
● お申し込み方法については、取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。
● 本書では各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。

留守番電話サービス

［留守番電話］

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

● 伝言メッセージは1件あたり最長3分、最大20件まで録音でき、最長72時間保存されます。
● 留守番電話サービスの開始後、かかってきた電話に応答しなかった場合には、不在着信として記憶され、が表示されます。
● 伝言メッセージが録音されると、と件数が表示されます。は、すべての伝言メッセージを保存または消去すると消えます。
● 伝言メッセージが録音されると、送信元が「留守番電話システム」、本文が「VM：XX」（Xは伝言メッセージの件数）の通知SMSを受信します。SMS一覧画面から通知SMSを選択しても、留守番電話サービスセンターにアクセスできません。
● が表示されている場合、メニューバーの「留守番電話」をタップすると留守番電話サービスセンターにつながります。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始する

お客様のFOMA端末に電話がかかる

電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

相手が伝言メッセージを録音する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「#」を入力すると、すぐに録音できる状態になります。

留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしていることが通知される

伝言メッセージを再生する

留守番電話サービスを利用する

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「ネットワークサービス」

2 「1. 留守番電話」をタップする

3 利用したい項目を選択する

項目	説明
留守番電話サービス開始	「はい」を選択して、留守番電話サービスを開始します。
留守番呼出時間設定	呼出時間（0～120秒）を入力し、「接続」をタップします。 呼出時間を0秒に設定した場合、かかってきた電話は着信履歴に記憶されず、直接留守番電話サービスセンターにつながります。
留守番サービス停止	「はい」を選択して、留守番電話サービスを停止します。
留守番設定確認	現在の設定内容を確認します。
留守番メッセージ再生	「はい」を選択すると、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。音声ガイダンスの指示にしたがって伝言メッセージを再生します。
留守番サービス設定	「はい」を選択すると、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。音声ガイダンスの指示にしたがって設定を変更します。
メッセージ問合せ	伝言メッセージがあるかどうか確認します。問い合わせ後、問い合わせが完了したことを通知するメッセージが表示されます。
件数増加時鳴動設定	新しい伝言メッセージをお預かりしたときに、音や振動でお知らせします。 「はい」を選択して、「音と通知」の「通知」タブにある「電話：留守番電話」を設定します。
着信通知開始	電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源を入れたときや圏内に入ったときにSMSでお知らせします。 「全着信」を選択すると、すべての着信を通知します。 「発番号あり」を選択すると、番号を通知している着信のみ通知します。
着信通知停止	「はい」を選択して、着信通知を停止します。
着信通知開始設定確認	現在の着信通知の設定を確認します。

4 「ok」をタップする

おしらせ

- ホーム画面→「Settings」→「ネットワークサービス」→「1. 留守番電話」をタップして操作することもできます。

キャッチホン

[キャッチホン]

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

おしらせ

- 保留中も、電話を発信した方に通話料金がかかります。

キャッチホンを設定する

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「ネットワークサービス」

2 「2. キャッチホン」をタップする

3 利用したい項目を選択する

項目	説明
キャッチホンサービス開始	「はい」を選択して、キャッチホンサービスを開始します。
キャッチホンサービス停止	「はい」を選択して、キャッチホンサービスを停止します。
キャッチホン設定確認	現在の設定内容を確認します。

4 「ok」をタップする

おしらせ

- ホーム画面→「Settings」→「ネットワークサービス」→「2. キャッチホン」をタップして操作することもできます。

通話を保留にして、かかってきた電話に出る

1 **通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら「応答」をタップする**

最初の相手との通話が保留になり、あとからかかってきた電話を受けることができます。

2 **最初の相手との通話に切り替える**

■あとからかかってきた相手との通話を終了する場合

「終了」をタップします。
あとからかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■あとからかかってきた相手との通話を保留にする場合

「切り替え」をタップします。
あとからかかってきた相手との通話が保留になり、最初の相手との通話に切り替わります。「切り替え」をタップするたびに通話相手が切り替わります。

おしらせ

- 通話中保留にしているときに電話がかかってくると、保留が解除され、「ププ…ププ…」という音が聞こえます。「応答」をタップすると、最初の相手との通話が保留となり、あとからかかってきた電話を受けることができます。

通話を保留にして、別の相手に電話をかける

1 **通話中に「保留」をタップする**

最初の相手との通話が保留になります。
- 「連絡先」をタップして連絡先を検索することもできます（P.59）。

2 **別の相手の電話番号を入力する**

新しくかけた相手との通話ができます。

■新しくかけた相手との通話を終了する場合

「終了」をタップします。
新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■新しくかけた相手との通話を保留にする場合

「切り替え」をタップします。
新しくかけた相手との通話が保留になり、最初の相手との通話に切り替わります。「切り替え」をタップするたびに通話相手が切り替わります。

おしらせ

- 「キャッチホン」および「転送でんわサービス」をご契約いただいていない場合、通話中に「保留」をタップしても、一時保留にはなりません。

転送でんわサービス

［転送でんわ］

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた電話を転送するサービスです。

- 転送でんわサービスの開始後、かかってきた電話に応答しなかった場合には、不在着信として記憶され、が表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する

転送でんわサービスを開始に設定する

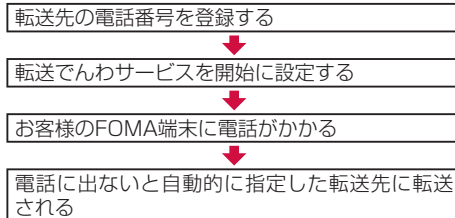
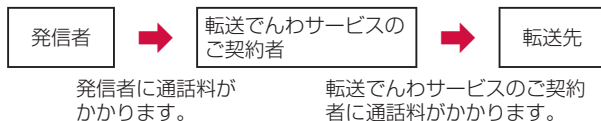
お客様のFOMA端末に電話がかかる

電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

転送でんわサービスの通話料

発信者		転送でんわサービスのご契約者		転送先

発信者に通話料がかかります。

転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

おしらせ

- 転送でんわサービスを開始していても、着信音が鳴っている間に応答すればそのまま通話できます。

転送でんわサービスを設定する

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「ネットワークサービス」

2 「3. 転送でんわ」をタップする

3 利用したい項目を選択する

転送サービス開始	「はい」を選択して転送先電話番号と呼出時間（0〜120秒）を入力し、「接続」をタップして、転送でんわサービスを開始します。 呼出時間を0秒に設定した場合、かかってきた電話は着信履歴に記憶されず、直接転送先に転送されます。
転送サービス停止	「はい」を選択して、転送でんわサービスを停止します。
転送先変更	転送先の電話番号を変更し、「接続」をタップします。「はい」を選択して、変更と同時に、転送でんわサービスを開始できます。
転送先通話中時設定※	「接続する」を選択すると、転送先が通話中のとき、かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
転送サービス設定確認	現在の設定内容を確認します。

※「留守番電話サービス」のご契約が必要です。

4 「ok」をタップする

おしらせ

- ホーム画面→「Settings」→「ネットワークサービス」→「3. 転送でんわ」をタップして操作することもできます。

転送ガイダンスの有無を設定する

電話を転送するとき、電話をかけてきた相手に、電話を転送することを告げる音声ガイダンスを流すかどうかを設定します。

1 →「1」「4」「2」「9」→通話

- 音声ガイダンスにしたがって設定してください。

迷惑電話ストップサービス

［迷惑電話ストップ］

いたずら電話などの迷惑電話を拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 相手の電話番号が非通知の場合でも、着信応答した直後に着信拒否登録することができます。
- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、不在着信履歴にも記憶されません。

着信拒否する電話番号を登録する

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「ネットワークサービス」

2 「4. 迷惑電話ストップ」をタップする

次ページへ続く

3 利用したい項目を選択する

迷惑電話着信拒否登録	「はい」を選択して、最後に着信応答した相手の電話番号を拒否登録します。
電話番号指定拒否登録	着信拒否したい電話番号を入力し、「接続」をタップして登録します。
迷惑電話全登録削除	「はい」を選択して、拒否登録した電話番号をすべて削除します。
迷惑電話1登録削除	「はい」を選択して、最後に登録した電話番号を1件削除します。同じ操作を繰り返して、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。
拒否登録件数確認	登録した件数を確認します。

4 「ok」をタップする

おしらせ

- 着信拒否する電話番号は、30件まで登録できます。30件を超えて登録しようとすると確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、最も古い登録番号を削除して、新しい番号を登録します。
- 着信拒否登録した日時や電話番号は確認することができません。電話番号を入力して拒否登録するときは、お間違えのないようにご注意ください。
- ホーム画面→「Settings」→「ネットワークサービス」→「4. 迷惑電話ストップ」をタップして操作することもできます。

番号通知お願いサービス

発信者番号が非通知の電話がかかってきたとき、発信者に対して番号通知を依頼するガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

- このサービスで着信を拒否した電話は、不在着信履歴に記憶されません。
- 公衆電話や海外からの着信など電話番号の通知ができない場合は、番号通知お願いサービスのガイダンスは流れずに着信します。

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「ネットワークサービス」

2 「6. 番号通知お願いサービス」をタップする

3 利用したい項目を選択する

番号通知お願いサービス開始	「はい」を選択して、番号通知お願いサービスを開始します。
番号通知お願いサービス停止	「はい」を選択して、番号通知お願いサービスを停止します。
番号通知お願いサービス設定確認	現在の設定内容を確認します。

4 「ok」をタップする

おしらせ

- ホーム画面→「Settings」→「ネットワークサービス」→「6. 番号通知お願いサービス」をタップして操作することもできます。

OFFICEED

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。

- ご利用には、別途お申し込みが必要となります。
- 詳しくは、ドコモの法人向けホームページをご覧ください。
http://www.docomo.biz/html/product/officeed/

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）は、海外の通信事業者のネットワークを利用して、電話やデータ通信をご利用いただけるサービスです。
WORLD WING対応のFOMAカード（緑色／白色）を本FOMA端末に取り付けることで、海外でも日本国内と同じ電話番号を使って電話の発着信やSMSの送受信ができます。

- 海外のネットワークには、以下の3種類の通信方式があります。
  - **3Gネットワーク**
    世界標準規格である3GPP（3rd Generation Partnership Project）※に準拠した第3世代移動通信方式です。
    ※第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
  - **GSM（Global System for Mobile Communications）ネットワーク**
    世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動通信方式です。
  - **GPRS（General Packet Radio Service）ネットワーク**
    GSM通信方式を利用して、GPRSによる高速パケット通信を利用できるようにした第2.5世代移動通信方式です。
- 3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。
- WM6.5初期設定内容は、海外でFOMA端末の電源を入れると自動的に利用できるネットワークを検索し、滞在先の通信事業者に切り替わるように設定されています。
- ご利用の際にはWORLD WINGのお申込状況をご確認ください。

おしらせ

- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、渡航先の通信事業者などの事情により、翌月以降の請求書にてお支払いいただく場合があります。また、同一課金対象期間のご利用であっても、同一月に請求されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

海外でご利用になる前の確認

出発前の確認

海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下を合わせてご覧ください。

- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- 『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』
- ドコモの『国際サービスホームページ』

おしらせ

- 一部を除くネットワークサービスの設定／解除などは海外からも操作できますが、接続する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。また、日本国内でのみ操作が可能なネットワークサービスもあります。
- 海外で留守番電話、転送でんわ、番号通知お願いサービスなどをご利用になるには、あらかじめ「遠隔操作設定」を設定する必要があります。遠隔操作設定については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。

ご契約について

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。

海外で利用できる通信サービス

海外で利用できる通信サービスは以下のとおりです。

（○：利用可能、×：利用不可）

通信サービス	説明	3G	GSM	GPRS
音声電話	海外でも同じ電話番号のまま、滞在国内での発着信や、日本や別の国への国際電話発信ができます。	○	○	○
SMS	海外でも同じ電話番号のまま、SMSの送受信ができます。	○	○	○
電子メール	海外でもパケット通信で電子メールの送受信ができます。	○	×	○
ブラウザ	海外でもパケット通信でインターネットに接続して、Webページを閲覧できます。	○	×	○

おしらせ

- 海外では、Biz・ホーダイ／Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプルをご利用になれません。Bizホーダイ定額対応アクセスポイント以外への接続をご利用ください。
- 使用する通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。接続可能な国・地域および通信事業者などの情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。

海外でのお問い合わせについて

海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをお取りください。
海外での紛失や盗難、精算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料も、お客様のご負担となりますのでご注意ください。

- 各お問い合わせ先電話番号の前に、滞在先の「国際電話アクセス番号（表１）」または「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表２）」の入力が必要です。
- 国際電話アクセス番号、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

■主要国の国番号

国際電話を利用するときは、以下の番号をご使用ください。

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1	ドイツ	49
イギリス	44	トルコ	90
イタリア	39	日本	81
インド	91	ニューカレドニア	687
インドネシア	62	ニュージーランド	64
エジプト	20	ノルウェー	47
オーストラリア	61	ハンガリー	36
オーストリア	43	フィジー	679
オランダ	31	フィリピン	63
カナダ	1	フィンランド	358
韓国	82	フランス	33
ギリシャ	30	ブラジル	55
シンガポール	65	ベトナム	84
スイス	41	ペルー	51
スウェーデン	46	ベルギー	32
スペイン	34	香港	852
タイ	66	マカオ	853
台湾	886	マレーシア	60
チェコ	420	ロシア	7
中国	86		

※上記以外の国の番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』でご確認ください。

■主要国の国際電話アクセス番号（表1）

海外からのお問い合わせ時にユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）が利用できない場合は、国際電話アクセス番号をご使用ください。主要国の国際電話アクセス番号は以下のとおりです。

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	デンマーク	00
アメリカ合衆国	011	ドイツ	00
アラブ首長国連邦	00	トルコ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イタリア	00	ノルウェー	00
インド	00	ハンガリー	00
インドネシア	001	フィリピン	00
オーストラリア	0011	フィンランド	00
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021／0014
韓国※	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810

※KT／KTF網での発信時は、+発信のみ対応しています。001ではかかりません。

■ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号を入力し、対応する番号に電話をかけると、海外からでも各種お問い合わせをすることができます。
各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は以下のとおりです。

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
オーストラリア	0011	フィリピン	00
オーストリア	00	フィンランド	990
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021
韓国	001	ブルガリア	00
コロンビア	009	ペルー	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マレーシア	00
タイ	001	南アフリカ共和国	09
台湾	00	ルクセンブルク	00

※ユニバーサルナンバーは携帯電話や公衆電話、ホテルなどからご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。
※ユニバーサルナンバーは、上記表に記載のある国のみご利用可能です。
※ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります（お客様の負担となります）。ホテル側に確認されてからご利用ください。

充電について

- ACアダプタ（別売）の取り扱い上のご注意については、P.11を参照してください。
- ACアダプタ（別売）での充電については、P.40を参照してください。

滞在先での確認

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると、利用可能な通信事業者に自動的に接続されます。

- 電池の残量および電波の受信レベルが十分であることを確認してください。
- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定して発着信しても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴から電話をかけることはできません。

おしらせ

- 接続する通信事業者を手動で設定することもできます（P.183）。

ディスプレイの表示について

通信事業者名

WM6.5 初期設定内容	表示する

ローミング中に接続している通信事業者名をホーム画面に表示するかどうかを設定します。

1 ホーム画面→「Settings」→「各種設定」→「事業者名表示」

2 「表示する」または「表示しない」を選択し、「OK」をタップする

おしらせ

- 「表示する」に設定していても、日本国内にいるときは、ホーム画面にドコモの事業者名は表示されません。

滞在国の日付と時刻

FOMA端末の時計を滞在国の時間に合わせます。

1 時刻設定画面（P.44）で「訪問先」をタップし、滞在国のタイムゾーン、現在時刻、日付を設定する

2 「OK」→「はい」

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にネットワークが検索され、FOMAネットワークに設定されます。

- 「モード」を「自動」または「3G」に設定してください（P.183）。
- 「ネットワークの選択」を「自動」に設定してください（P.183）。

滞在先での電話のかけかた／受けかた

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国からほかの国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

1 をタップする

電話画面が表示されます。

2 ＋（「0」を1秒以上タップ）→国番号→地域番号（市外局番）→電話番号の順に入力する

- 地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国･地域では「0」が必要な場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内外にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

3 通話 をタップする

滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 をタップする

電話画面が表示されます。

2 電話番号を入力する

- 一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）＋電話番号を入力します。
- 電話をかける相手が「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として（国番号として「81」（日本）を入力）電話をかけてください。

3 通話 をタップする

滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

おしらせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80）-XXXX-XXXX

海外利用に関する設定を行う

海外で本FOMA端末を利用するには、滞在先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。WM6.5初期設定内容は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。

手動でネットワークを切り替える場合は、以下の手順で設定してください。

ネットワークの種類（モード）を設定する

WM6.5 初期設定内容	自動

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「電話」→「モード」タブ

2 モードを選択する

自動	利用できるネットワークを自動的に切り替えます。
3G	3Gネットワークを利用します。
GSM／GPRS	GSM／GPRSネットワークを利用します。

3 「OK」をタップする

おしらせ
- モードを「自動」に設定しているときに同じ通信事業者のGSM／GPRSネットワークと3Gネットワークを同時に検出すると、3Gネットワークに接続します。
- 滞在先でモードを「GSM／GPRS」に設定した場合は、日本に帰国後、「自動」または「3G」に設定してください。

優先する通信事業者を設定する

FOMA端末に複数のネットワーク設定をしている場合、接続する通信事業者の優先順位を設定します。

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「電話」→「ネットワーク」タブ

2 「優先するネットワーク」の「ネットワークの設定」をタップする

3 優先する通信事業者のネットワークを選択し、優先する順に並べ替える
- 優先するネットワークの一覧からネットワークを選択し、「上へ移動」／「下へ移動」をタップします。

4 「OK」をタップする

おしらせ
- ネットワークの設定内容は、FOMAカードに記憶されます。

手動で通信事業者を設定する

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「電話」→「ネットワーク」タブ

2 「ネットワークの選択」で「手動」を選択する

3 通信事業者を選択し、「OK」をタップする

おしらせ
- 滞在先でネットワークの選択を「手動」にして通信事業者を設定した場合は、日本に帰国後、「自動」に設定してください。

付録／困ったときには

メニュー一覧 186
マルチアクセスについて .... [マルチアクセス] 189
FOMA端末から利用できるサービス 189
オプション・関連機器のご紹介 190

■困ったときには

こんな表示が出たら 191
故障かな？と思ったら、まずチェック 193
保証とアフターサービス 195
ソフトウェアを更新する .... [ソフトウェア更新] 197
主な仕様 199
携帯電話機の比吸収率などについて 200
FCC notice 201
FCC RF exposure information 201
Body-worn operation 201
Declaration of Conformity 202
European Union Directives Conformance Statement 202
輸出管理規制 202
知的財産権について 203
Windows Mobileの製品情報について 207

メニュー一覧

スタートメニューをタップすると表示されます。

アプリケーション		概要	参照先
Today		ホーム画面（Today画面）を表示します。	P.21
電話		電話をかけることができます。	P.48
SMS		SMSの送受信ができます。	P.83
電子メール		メールの送受信ができます。	P.80
連絡先		友人や知人の氏名、電話番号、勤務先、住所などを登録します。	P.58
Internet Explorer		Webページを閲覧したり、プログラムやファイルをインターネットからダウンロードできます。	P.92
予定表		会議などの予定を登録します。	P.63
設定			
	Bluetooth	Bluetooth機能をオンにして、ほかのBluetooth対応機器と接続します。	P.121、P.158
	Today	ホーム画面をWindows MobileのToday画面に変更できます。また、スタートメニューとToday画面の背景イメージや、タイトルバーとメニューバーの配色を、テーマごとに変更できます。	P.28、P.138
	パワー マネージメント	バッテリー残量を表示したり、スリープモードになるまでの時間を設定したりできます。	P.137、P.156
	ロック	デバイスロックのパスワードの設定ができます。	P.72
	時計とアラーム	日付と時刻の変更や特定の曜日と時刻にアラームを設定できます。	P.44、P.136
	音と通知	メール受信やアラームなどのイベントごとに通知音やお知らせLEDの点滅などを設定します。	P.136

アプリケーション			概要	参照先
	システム			
		ATOK設定	変換辞書の設定や単語登録ができます。	P.169
		Internal GPS	GPSデータをインターネットから取得します。	P.134
		エラー報告	エラー報告機能の有効／無効を設定します。この機能が有効のときプログラムエラーが発生すると、プログラムとFOMA端末の状態を示す技術データがテキストファイルでログ化されます。エラーが発生したとき送信を選択すると、マイクロソフト社のテクニカルサポートセンターにログが送信されます。	P.148
		カスタマーフィードバック	Windows Mobileソフトウェアの使用状況に関する匿名情報をマイクロソフト社に送信するかどうかを設定します。	P.148
		スリープモードLED設定	お知らせLEDでスリープモード中であることをお知らせするかどうかを設定します。	P.43
		ソフトウェア更新	専用のダウンロードサイトからFOMA端末の修正用ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。	P.197
		タスクマネージャー	実行中のアプリケーションを切り替えたり終了します。	P.36
		バックライト	バックライトの明るさやバックライトを消すまでの時間などを設定します。	P.138
		バージョン情報	OSやソフトウェアのバージョンやMACアドレスなどの機器情報を確認します。	P.148
		フローティングパッド設定	フローティングパッド（右きき用／左きき用）を使用するかどうかを設定します。	P.35
		ブラウザ設定	Internet Explorer Mobileの動作を速くするかどうかを設定します。	P.96

アプリケーション			概要	参照先
		プログラムの削除	インストールしたプログラムを削除します。	P.146
		マスタークリア	お買い上げ以降に登録したすべてのデータを消去し、FOMA端末をWM6.5初期設定内容の状態に戻します。	P.149
		メモリ	FOMA端末および外部メディアのメモリ使用状況を確認できます。	P.147
		モーション センサー設定	FOMA端末を持ち替えたり、振ったり、叩いたりして、画面の縦横を切り替えたり、アプリケーションを起動したりする操作の有効／無効を設定します。	P.34
		モーション センサー調整	モーションセンサーを初期化して、モーションコントロールの動作を調整します。	P.34
		動画質設定	動画再生時に、高画質化エンジンを使用するかどうかを設定します。	P.108
		地域	FOMA端末で表示する数値、通貨、日時の表示方法を、選択した地域ごとに設定できます。	P.44、P.139
		外付け GPS	市販の外部GPS機器からGPSデータを取得するための設定を行います。	P.134
		暗号化	microSDカードにファイルを保存するときに、自動的に暗号化されるように設定します。	P.114
		画面	画面の補正や文字サイズを設定します。	P.139
		省電力設定	電池を節約する設定をします。	P.137、P.156
		管理プログラム	社内システム管理者によってインストールされたプログラムの履歴を確認します。	－
		証明書	インストールされている証明書についての情報を表示します。	P.73

アプリケーション			概要	参照先
	個人			
		オーナー情報	お客様ご自身の情報やメモを入力できます。	P.45
		ネットワーク サービス	留守番電話、キャッチホン、転送でんわ、迷惑電話ストップ、発信者番号通知、番号通知お願いサービスの設定ができます。	P.45、P.172
		ボタン	市販のテンキーやキーボードを接続した際、キーの「移動開始までの待ち時間」や「移動速度」を変更するときに使用します。	P.147
		マナーモード	マナーモードの設定ができます。	P.56
		入力	文字入力や手書き入力に関する設定をします。	P.66、P.169
		公共モード	電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。	P.54、P.55
		電話	着信音などの電話の設定をカスタマイズしたり、ネットワークやセキュリティなどに関する設定ができます。	P.45、P.55、P.71、P.183
	接続			
		GPRS設定	GPRS接続におけるセキュリティの認証方式を設定します。	P.153
		USB to PC	パソコンとのUSB接続を、Active Syncモードまたはマスストレージモードに切り替えます。	P.114
		Wi-Fi	ワイヤレスLAN接続の設定をします。	P.155
		ドメインへの登録	FOMA端末を会社のドメインに登録して、社内システム管理者がFOMA端末を管理できるように設定します。	P.160
		ビーム	FOMA端末がBluetooth通信で送られてきたデータを受信できるように設定します。	P.160

次ページへ続く

アプリケーション			概要	参照先
		ワイヤレス マネージャー	通話および通信機能のオン／オフを切り替えます。	P.73
		接続	FOMA端末がインターネットや社内ネットワークに接続するための設定をします。	P.154
	Microsoft My Phone		マイクロソフト社のオンラインデータ保存サービスを利用できます。	P.116
お使いになる前に			FOMA端末の基本操作を確認できます。	P.30
画像とビデオ			FOMA端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画の表示、整理、並べ替えができます。	P.103
Windows Media			音楽や動画を再生できます。	P.105
Marketplace			好みのアプリケーションを探してFOMA端末にインストールできます。	P.135
Messenger			Windows Live Messengerを起動します。	P.86
Microsoft My Phone			マイクロソフト社のオンラインデータ保存サービスを利用できます。	P.116
Windows Live			マイクロソフト社が提供するオンラインサービスを利用します。	P.84
電卓			加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算ができます。	P.132
ゲーム			Bubble Breaker、ソリティアの2種類のゲームがあります。	P.132
	Bubble Breaker		シャボン玉を消して､点数を競うゲームをはじめます。	P.132
	ソリティア		トランプを並べていくゲームをはじめます。	P.132
メモ			文字入力パッドでタップまたは手書きしたメモを作成します。	P.66
仕事			現在の仕事の進捗や優先度などを管理できます。	P.61

アプリケーション		概要	参照先
Office Mobile		Office文書の作成や表示ができます。	P.124
	Excel Mobile	Excel Mobileを利用できます。	P.125
	OneNote Mobile	OneNote Mobileを利用できます。	P.129
	PowerPoint Mobile	PowerPoint Mobileを利用できます。	P.128
	Word Mobile	Word Mobileを利用できます。	P.124
エクスプローラー		ファイルの整理や管理をします。	P.112
ActiveSync		FOMA端末とパソコンの間で情報の同期ができます。	P.120
タスク マネージャー		実行中のアプリケーションを切り替えたり終了します。	P.36
検索		FOMA端末のMy Documentsおよびmicro SDカード内のファイル名や、連絡先やメモなどのデータに含まれる文字列を検索します。	P.115
ヘルプ		ヘルプを利用します。	P.30
Adobe Reader LE		PDFファイルを表示できます。	P.130
ｉモード.net モバイルモード		FOMA端末からｉモードメールの送受信が行えます。	P.84
mopera U端末設定		mopera Uのお申し込みや設定内容の変更をします。	P.79、P.161
NetFrontWidgetsPlayerV2		ウィジェットプレイヤーを起動します。	P.28
NFBrowser		NetFront Browserを起動してWebページを閲覧できます。	P.96
PhotoBase		静止画のトリミングやコントラスト調整をしたり、フレームを貼り付けたりすることができます。	P.109
SecurityScan		FOMA端末に取り込んだデータやプログラムをスキャンします。	P.142
UIMマネージャー		FOMAカードに保存されている連絡先を管理します。	P.60

アプリケーション	概要	参照先
VideoEditor	静止画を組み合わせてフォトムービーを作成したり、動画に音楽や音声、字幕などを追加したりできます。	P.109
いつもNAVI（無料地図）	今いる場所を確認し、周辺情報を検索することができます。	P.134
カメラ	静止画や動画を撮影します。	P.100
検索ウィジェット	マイクロソフト社の検索エンジンBingを利用できます。	P.135
電子辞典	国語辞典、英和辞典、和英辞典を利用できます。	P.132
電話帳コピーツール	別のFOMA端末またはWindows Mobile端末との間で、連絡先データの全件移行を行います。	P.61
Kinoma Play	FOMA端末内やWeb上にある音楽やビデオ、写真などを簡単に再生したり、ポッドキャストやRSSリーダーに登録したサイトの最新情報を取得できます。	P.104

マルチアクセスについて

［マルチアクセス］

マルチアクセスとは、電話、パケット通信、SMSを同時に使用できる機能です。これによって通話中にメールを受信したり、インターネット接続中に電話をかけたりできます。

マルチアクセスの組み合わせについて

マルチアクセスで処理できる動作は以下のとおりです。

新たに発生した通信／現在の状態	電話の発着信	ブラウザを利用したインターネット接続	電子メールの送受信	SMSの送受信
通話中	○※	○	○	○
パケット通信中	○	○	○	○
SMS送受信中	○	○	○	○

○：ご利用できます。
×：ご利用できません。
※：キャッチホンをご契約いただき、サービス中に設定している場合に発着信が可能です。

FOMA端末から利用できるサービス

番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） ※電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

次ページへ続く

おしらせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込み94.5円）がかかります（2009年11月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込み105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などが不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2009年11月現在）。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらずに、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないよう、移動せずに行い、通報後はすぐに電源を切らずに10分程度は着信できる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・電池パック T02
・リアカバー T02
・FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01
・イヤホン変換アダプタ（マイク／スイッチ付）T01
・PC接続用USBケーブル T01
・周辺機器接続用USBケーブル T01
・FOMA ACアダプタ 01／02※1
・FOMA DCアダプタ 01／02※1
・FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※1
・FOMA 乾電池アダプタ 01※1
・車載ハンズフリーキット 01※2
・ワイヤレスイヤホンセット P01
・ワイヤレスイヤホンセット 02
・骨伝導レシーバマイク 02
・Bluetoothヘッドセット F01※3
・Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01

※1 本FOMA端末と接続するには、FOMA 充電microUSB変換アダプタT01が必要です。
海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。
※2 本FOMA端末とBluetooth通信で接続できます。
※3 Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01が必要です。

こんな表示が出たら

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
保存されていないデータは全て失われます。端末の電源をOFFしますか？	⏻を長く押したときに表示されます。電源をオフにするには「電源OFF」をタップします。	P.43
暗証番号（PIN）を入力してください。 あと3回試行できます。 緊急電話のみ暗証番号（PIN）なしでかけられます。	暗証番号（PINコード）を有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。	P.71
暗証番号（PIN）が正しくありません。もう一度暗証番号(PIN)を入力してください。 あと2回試行できます。 緊急電話のみ暗証番号（PIN）なしでかけられます。	正しくない暗証番号（PINコード）を入力すると表示されます。正しいPINコードを入力してください。	P.71
緊急電話は可能です。	デバイスロック中に表示されます。パスワードを入力し、🔓をタップしてください。	P.72
パスワードが間違っています。	パスワードに誤りがあるときに表示されます。正しいパスワードを入力してください。	P.72
SIMカードが未挿入です。 通信事業者によっては緊急電話が可能です。	FOMAカードが正しく挿入されていない状態で電源を入れたときに表示されます。FOMAカードが正しく挿入されているか確認してください。 なお、FOMAカードが正しく挿入されていない場合、日本国内では、緊急通報（110番、119番、118番）を含め音声発信できません。	P.37
SIMカードが無効です。 通信事業者によっては緊急電話が可能です。	指定以外のFOMAカードが挿入されたときに表示されます。ドコモが指定したFOMAカードを挿入してください。	P.37
電話の機能は現在停止中です。 電話の機能を有効にしますか？	ワイヤレスマネージャーの「電話」がオフの状態で、電話をかけようとしたとき、またはActiveSyncでExchange Serverと同期しようとしたとき表示されます。「はい」をタップすると、ワイヤレスマネージャーの「電話」がオンになります。	P.73
SMS メッセージを送信できません。	SMSを送信しようとしたとき、本文が長すぎたり、宛先の携帯電話番号が正しくない場合に表示されます。	P.83
このメッセージを下書きフォルダーに保存しますか？	電子メールを作成したり編集しているとき、下書きフォルダーに保存する前に閉じようとしたときに表示されます。保存するときは「はい」をタップします。	P.81
接続中… 接続先：mopera U（Biz・ホーダイ） 接続先 the Cellular Network..	パケット通信のために、ネットワークに接続しようとしているときに表示されます。接続が完了するとパケット通信を利用することができます。	P.152
原因不明のエラーのため接続できません。	USB接続やワイヤレスLAN、Bluetooth通信中に、パケット通信を利用しようとした場合などに表示されます。「閉じる」をタップして、続けて表示されるエラーメッセージ（原因）を確認してください。問題が解決しない場合は、リセットしてからやり直してください。	P.148

次ページへ続く

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
接続制限 パケット通信中のため、ご利用できません。 パケット接続を終了してから行ってください。	パケット通信接続中に、ワイヤレスLAN機能またはBluetooth機能を有効にしようとすると表示されます。また、パケット通信接続中に、Active SyncモードでパソコンとUSB接続すると表示されます。パケット通信回線を切断してください。	P.82、P.97
接続制限 外部機器接続中のため、ご利用できません。 外部機器接続を終了してから行ってください。	Active SyncモードでパソコンとUSB接続中に、パケット通信で接続しようとすると表示されます。USB接続の設定をマスストレージモードにするか、付属のPC接続用USBケーブル T01をFOMA端末から外してください。 ワイヤレスLAN機能またはBluetooth機能が有効のとき、パケット通信で接続しようとすると表示されます。 サスペンド（スリープモード）機能によりワイヤレスLAN接続が切断されると、サスペンド機能からの復帰後（再接続中）に表示される場合があります。	P.114、P.155、P.158
FOMA通信がOFFのため更新できません	ワイヤレスマネージャーの「電話」がオフの状態で、スキャン機能のパターンデータを更新しようとしたとき表示されます。ワイヤレスマネージャーの「電話」をオンにしてから操作してください。	P.73
他のアプリケーションが接続中のため更新できません 接続を解除し、再度パターンデータ更新を実行してください	パケット通信接続中やパソコンとの同期中に、スキャン機能のパターンデータを更新しようとしたとき表示されます。パケット通信回線を切断してください。同期中の場合は、付属のPC接続用USBケーブル T01をFOMA端末から外すなどして、同期の接続を無効にしてください。	P.82、P.97、P.119
選択した連絡先を完全に削除しますか？	連絡先を削除しようとしたときに表示されます。削除するときは「はい」をタップします。	P.60
連絡先は完全に削除されます。続行しますか？	連絡先に登録されている内容の1つを削除しようとしたときに表示されます。連絡先を削除するときは「はい」をタップします。	P.60
名前などの連絡先情報を入力し、「検索」をタップしてください。	Exchange Serverを利用しているとき、共有連絡先の中を検索するときに表示されます。	P.59
この定期的な予定をすべて削除しますか？それとも、今回の予定のみを削除しますか？	定期的なパターンで登録した予定を削除しようとしたときに表示されます。「すべて」をタップすると、このパターンで登録されている予定すべてが削除されます。「今回のみ」をタップすると、今削除しようとしている予定のみが削除されます。	P.65
この定期的な予定をすべて編集しますか？それとも、今回の予定のみを編集しますか？	定期的なパターンで登録した予定を編集しようとしたときに表示されます。「すべて」をタップすると、このパターンで登録されている予定すべてが編集されます。「今回のみ」をタップすると、今編集しようとしている予定のみが編集されます。	P.64
会議の変更を保存し、出席者に更新メッセージを送りますか？	出席者が設定されている予定の内容を変更しようとしたときに表示されます。出席者に予定の変更をメールで知らせるときは「はい」をタップします。	P.65
会議を削除し、出席者に取り消しメッセージを送りますか？	出席者が設定されている予定を削除しようとしたときに表示されます。出席者に予定の削除をメールで知らせるには「はい」をタップします。	P.65

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
XXXがBluetoothによるデバイスへの接続を要求しています。デバイスの一覧にXXXを追加しますか？	ほかのBluetooth対応端末からFOMA端末に対してBluetooth通信による接続の要求があった場合に表示されます。接続する場合は「はい」をタップします。	P.159
サーバーにアクセスできませんでした。サーバーの名前を確認してください。	Exchange Serverの名前が正しくないときに表示されます。Exchange Serverの名前については、管理者に問い合わせてください。	P.119、P.121
ユーザー情報：正しいExchange Serverの資格情報を指定してください。	Exchange Serverにアクセスするためのユーザー名やパスワードが正しくないときに表示されます。	P.119、P.121
このソースを削除すると、ソースとの同期関係とそのソースによって使用されているアイテムのみが削除されます。そのほかのアイテムはデバイスに残ります。続行しますか？	FOMA端末に登録した同期するパソコンやExchange Serverの設定を削除するときに表示されます。削除するときは「はい」をタップします。	－
ActiveSyncをサポートするPCとの既存のBluetoothパートナーシップが見つかりません。パートナーシップをセットアップしますか？	Bluetooth通信によってパソコンと同期しようとしたとき、パソコンとのパートナーシップが設定されていないときに表示されます。パートナーシップの設定を行うときは、「はい」をタップします。	P.121、P.159

故障かな？と思ったら、まずチェック

- まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.197）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

症状	チェックする箇所	参照先
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか？ • 電池切れになっていませんか？	P.38、P.42
充電ができない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか？ • アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライタソケットに正しく差し込まれていますか？ • ACアダプタ（別売）をご使用の場合、組み合わせて使用する付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタ T01が、FOMA端末およびACアダプタと正しく接続されていますか? • 付属のPC接続用USBケーブル T01をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか？ • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇してお知らせLEDが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	P.38、P.41
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、通話などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	P.8
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか？ 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	P.14、P.40

次ページへ続く

症状	チェックする箇所	参照先
電源断・再起動が起きる	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。	P.13
電源を入れたのに操作できない	• PINコードを入力する画面が表示されていませんか？ PINコードを入力してください。	P.71
を左右になぞったのに操作できない	• パスワード入力の画面が表示されていませんか？ デバイスロックが設定されていますので、パスワードを入力し、をタップしてください。	P.72
タッチパネルをタップしたときの画面の反応が遅い	• FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	−
FOMAカードが認識されない	• FOMAカードを正しい向きで挿入していますか？	P.37
電話がつながらない	• FOMAカードが正しくFOMA端末に取り付けられていますか？ • 市外局番から入力していますか？ • ワイヤレスマネージャーの「電話」がオフになっていませんか？	P.37、P.73
着信音が鳴らない	• 着信音量を「バイブ」または「オフ」にしていませんか？ • 通知音設定の電話を「バイブ」にしていませんか？ • 公共モード、マナーモードを設定していませんか？ • 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか？	P.53、P.54、P.55、P.56、P.173、P.174
通話ができない	• 電源を入れ直すか、電池パックまたはFOMAカードを取り付け直してください。 • 電波の性質により、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態（）でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。	P.37、P.38、P.42
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態でFOMA端末から発信できない	• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	P.42
画面をタップしても動かない	• 電源を入れ直してください。	P.42
ディスプレイが暗い	• バックライトの明るさの設定を確認してください。	P.138
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 受話音量を変更していませんか？	P.53
圏外が表示され、国際ローミングサービスが利用できない	• 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？ • 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』で確認してください。 • 日本国内から海外へ移動したあとにネットワークの種類（「モード」）を「自動」または対応しているネットワークに切り替えてください。日本国内で「自動」にしていた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。	P.183

症状	チェックする箇所	参照先
海外で利用中に突然、発信や着信ができなくなった	• ドコモ インフォメーションセンターで、ご利用累積額をご確認ください。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめご利用停止目安額が設定されています。超過するとサービスがすべて停止します。ご利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算していただくことで、サービスを再開します。 • ネットワークの種類（「モード」）を確認してください。「自動」に設定されていると、特定のネットワークを受信し利用できない場合があります。滞在先で接続するネットワーク（「3G」または「GSM／GPRS」）に変更してください。	取扱説明書裏面、P.183
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	• 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。	P.181
データ転送が行われない	• USBハブを使用していませんか？USBハブを使用すると、正常に動作しない場合があります。	P.119
microSDカードに保存したデータが表示されない	• パソコンとマスストレージモードでUSB接続していませんか？	P.114
Bluetooth対応機器と接続ができない／検索しても見つからない	• Bluetooth対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth対応機器（市販品）とFOMA端末の双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。	P.159
FOMA端末の動作が遅くなった／プログラムの動作が不安定になった／一部のプログラムを起動できない	• FOMA端末のデータ記憶用メモリおよびプログラム実行用メモリの使用状況を確認し、実行中のプログラムを終了したり不要なファイルを削除したりして、メモリの空き容量を確保してください。	P.147
データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない	• FOMA端末をリセット（再起動）してください。	P.148

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって連絡先などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、連絡先などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。
  ※本FOMA端末は、電話帳コピーツールを使って連絡先データをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障受付窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
  ※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なこともありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - ・火災・けが・故障の原因となります。
  - ・改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。
    ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - ・液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - ・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定が、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。

- 修理返却品は、故障箇所に関係なく、ワイヤレスLAN用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、受話口部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（連絡先機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。

FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアを更新する

［ソフトウェア更新］

ソフトウェア更新について

インターネット上のダウンロードサイトからFOMA端末の修正用ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。インターネットを利用したソフトウェア更新には、ActiveSyncなどを使ってパソコン経由でダウンロードしたファイルをFOMA端末に取り込んで行う方法とFOMA端末だけで行う方法があります。

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された連絡先、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のFOMA端末の状態によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗し、操作できなくなることがあります。
- ソフトウェア更新は、電池残量が十分にある状態（ホーム画面のタイトルバーに▮▮▮が表示されている状態）で実行してください。
- 以下の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - 電池残量が十分でないとき
  - メモリ空き容量が不十分
  - 圏外のとき（FOMA端末だけで更新する場合）
  - ワイヤレスマネージャーの「電話」がオフの場合（FOMA端末だけで更新する場合）
- ソフトウェア更新（ダウンロード、更新ファイルのインストール）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新ファイルのインストール中は、電話の発着信を含めすべての機能を利用できません。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

ソフトウェア更新の前に必要な確認と準備

ソフトウェア更新の前に以下の準備を行います。

- FOMA端末のソフトウェアバージョンを確認する（P.148）
- FOMA端末のデータ記憶用メモリの空き領域を確認する（P.147）
- FOMA端末で実行中のすべてのプログラムを終了する（P.36）
- FOMA端末を充電する（P.40）

おしらせ

- 万が一のトラブルに備え、FOMA端末内のお客様情報やデータのバックアップをおすすめします。

パソコン経由で更新する

1 ダウンロードサイトから、ソフトウェア更新ファイルをパソコンにダウンロードする

- ドコモのホームページから、本FOMA端末専用のダウンロードサイトにアクセスできます。

2 ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターを使ってFOMA端末の「My Documents」へソフトウェア更新ファイルをコピーする

- ActiveSyncおよびWindows Mobileデバイスセンターについて詳しくは、P.117を参照してください。

3 FOMA端末で「My Documents」を開いて、ソフトウェア更新ファイルを表示する

4 ソフトウェア更新ファイルをタップして実行する

メモリの空き容量や電池残量などのチェックを行ったあと、インストールを確認する画面が表示されます。

5 「今すぐインストール」をタップする

起動中の機能が終了してFOMA端末が再起動し、ソフトウェア更新ファイルのインストールが開始されます。
ソフトウェア更新が完了すると、FOMA端末が再起動します。

6 「完了」をタップする

FOMA端末だけで更新する

- 接続形態や接続環境によってはダウンロードに時間がかかる場合があります。また、ダウンロードにかかる通信料は、ご契約内容によって変わります。通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- ソフトウェア更新は、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態（Y.ıl）で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。

1 「スタート」→「設定」→「システム」→「ソフトウェア更新」

ダウンロードサイトへの接続を確認する画面が表示されます。

2 「OK」をタップする

ダウンロードサイトに接続します。

3 必要な更新ファイルを選択してダウンロードする

- ダウンロードのしかたについては、「Webページからデータをダウンロードする」（P.95）を参照してください。

4 「パソコン経由で更新する」の操作3以降を行う

主な仕様

■本体

品名		T-01A
サイズ		高さ約130mm×幅約70mm×厚さ約9.9mm
質量		約129g（電池パック装着時）
メモリ		ROM 512MB RAM 256MB
連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約250時間 移動時（自動）：約130時間 移動時（3G固定）：約160時間
	GSM	静止時（自動）：約180時間
連続通話時間	FOMA／3G	約210分
	GSM	約200分
FOMA ACアダプタ（別売）での充電時間		約160分
FOMA DCアダプタ（別売）での充電時間		約160分
液晶部	種類	TFT
	サイズ	約4.1inch
	発色数	65,536色
	ドット数	480×800ドット（ワイドVGA）
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/4.0 inch
カメラ有効画素数		約320万画素
記録画素数（最大時）		約320万画素（2048×1536）
デジタルズーム		最大約6.4倍（23段階）
音楽再生	Windows Media Audio（WMA）ファイル	連続再生時間約600分（バックグラウンド再生対応）
	MP3ファイル	連続再生時間約600分（バックグラウンド再生対応）
ワイヤレスLAN		IEEE802.11b/g準拠
Bluetooth機能	対応バージョン	Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDRに準拠※1
	出力	Bluetooth標準規格Power Class 2
	見通し通信距離※2	約10m以内
	対応プロファイル※3	Headset Profile（HSP） Hands-Free Profile（HFP） Advanced Audio Distribution Profile（A2DP） Audio/Video Remote Control Profile（AVRCP） Object Push Profile（OPP） Serial Port Profile（SPP） Human Interface Device Profile（HID） Phone Book Access Profile（PBAP）

※1 本FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※2 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
※3 Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。
なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくても電子メールを作成したり、アプリケーションを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■電池パック

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	1000mAh

ファイル形式

FOMA端末で撮影した静止画と動画は以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	3GPP、MP4	3gp、mp4

■静止画の撮影枚数（目安）

解像度	本体メモリに保存できる撮影枚数	microSDカード（64MB）に保存できる撮影枚数
320×240（QVGA）	約8000枚	約1800枚
640×480（VGA）	約4000枚	約900枚
1280×960（4VGA）	約1700枚	約400枚
1600×1200（UXGA）	約1200枚	約300枚
2048×1536（QXGA）	約800枚	約200枚

※削除可能プリインストールデータ削除時
※撮影条件は、ズーム：なし、画質：ノーマル

■動画の撮影時間（目安）

解像度	本体メモリに保存できる撮影時間	microSDカード（64MB）に保存できる撮影時間
320×240（QVGA）	約92分	約23分
640×480（VGA）	約29分	約7分

※削除可能プリインストールデータ削除時
※撮影条件は、ズーム：なし、画質：ノーマル、種別：画像＋音声
※撮影制限時間は、1件につき最大約10分となります。

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種［T-01A］の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。
この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。
この携帯電話機T-01AのSARの値は、0.523W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/

東芝のホームページ
http://www.toshiba.co.jp/product/etsg/cmt/index_j3.htm
※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

FCC notice

- This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF exposure information

Your Toshiba phone is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.614 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.742 W/kg.

Body-worn operation

This phone was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID SP2-TM5-J01.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at
http://www.phonefacts.net.

Declaration of Conformity

The product “T-01A” is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.
The Declaration of Conformity is found on
http://www.toshiba.co.jp/product/etsg/cmt/index_j3.htm
(Japanese only)

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radiofrequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.491 W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

European Union Directives Conformance Statement

CE0682ⓘ

Hereby, Toshiba Information Systems UK (Ltd), declares that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び列国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合せください。

知的財産権について

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモード.net」「docomo PRO series」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「OFFICEED」「IMCS」「mopera U」「セキュリティスキャン」「パケ・ホーダイ」「Biz・ホーダイ」および「FOMA」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴは商標です。
- Bluetooth®およびBluetooth®ロゴは、Bluetooth® SIG. Inc.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- AdobeおよびAdobe Reader、FlashはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Mobile®、ActiveSync®、Outlook®、Excel®、PowerPoint®、Windows Media®、Windows Live™、およびInternet Explorer®のロゴは、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee,Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

- 『ジーニアス英和辞典MX』『ジーニアス和英辞典MX』
  © KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2008
  『明鏡国語辞典MX』
  © KITAHARA Yasuo & Taishukan, 2008
  [編集・発行]大修館書店
  ※本辞典は、大修館書店が『ジーニアス英和辞典 第4版』『ジーニアス和英辞典 第2版』『明鏡国語辞典』を元に、モバイル端末用に再編集したものです。

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront BrowserおよびNetFront Widgetsを搭載しています。
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
  © 2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- ArcSoft and the ArcSoft logo are registered trademarks of ArcSoft, Inc. in the United States, P. R. China, EU, and Japan.

- Kinoma PlayおよびKinoma, Inc.の名称、ロゴは米国およびその他の国におけるKinoma, Inc.の登録商標または商標です。
- カザアナの名称、ロゴは日本国およびその他の国における株式会社カザアナの登録商標または商標です。

snapdragon™

- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA．LLCにお問い合わせください。

Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。

- Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

ArcSoftエンドユーザライセンス契約

本エンドユーザライセンス契約は、ソフトウェアのエンドユーザであるお客様とArcSoft, Incとの間に締結される法的なソフトウェアライセンス契約です。本ArcSoftソフトウェア（以下「本ソフトウェア」と称します）を使用する前に、本契約をよくお読みください。携帯機器に本ソフトウェアをインストールして使用すると、本契約を読んだ上で契約条件に同意したものとみなされます。

1. ライセンスの許諾　本ライセンスにより、お客様は、本パッケージまたは製品に含まれる本ソフトウェアを1台の携帯機器で使用することができます。ソフトウェアの被許諾者はそれぞれ、プログラムを一度に1台の携帯機器でのみ「使用」することができます。本ソフトウェアは、RAMに読み込まれたとき、または携帯機器のメモリーカードもしくはその他の固定記憶装置にインストールされたときに「使用」されたものとみなされます。お客様は、改変、変換、リバースアセンブル、逆コンパイル、逆アセンブルを行ってはならず、(i) 本ソフトウェアのソフトウェア保護メカニズム（本ソフトウェアの機能を制限もしくは制御するために使用されるメカニズムを含みますがこれに限定されません）の無効化、迂回、除去、解除もしくは回避、または、(ii) 本ソフトウェアのソースコードもしくは基本となるアイデア、アルゴリズム、構造もしくは構成の抽出を試みてはならないものとします（適用法により当該行動を禁止できない場合は除きます）。

2. 著作権　本パッケージまたはデバイスに含まれるソフトウェアは、米国著作権法、国際協定の各規定、および適用される他のあらゆる国内法によって保護されています。本ソフトウェアについては、他のあらゆる著作物（書籍、音楽録音など）と同様に扱う必要があります。本ライセンスは本ソフトウェアの貸与または賃貸を許可するものではなく、また、本ソフトウェアに添付資料がある場合にはその資料のコピーは禁止されています。

3. 所有権　本ソフトウェアおよび添付ドキュメンテーションならびに上記のコピーに関する権利、所有権、およびあらゆる知的財産権は、ArcSoftまたはその第三許諾者にのみ帰属するものとします。お客様は、著作権法その他あらゆる準拠法に従うことに同意するものとします。お客様は、本ソフトウェアに、ArcSoftまたはその第三許諾者の貴重な機密情報およびトレードシークレットが含まれていることを認めるものとします。

4. ソフトウェアのアップデート　本ソフトウェアは、ArcSoftのサーバと同期化して、バグ修正、パッチ、拡張機能、補足プラグイン、新規バージョンなど、本ソフトウェアで利用可能なアップデート（以下「アップデート」と総称します）がないかどうかを確認することがあります。本ソフトウェアから、本ソフトウェアの最新版に関する情報のリクエストがArcSoftのサーバに送信されます。アップデートが利用可能な場合は、お客様はダウンロードするかどうかを選択することができます。アップデートをダウンロードする前に、本ソフトウェアがお客様の許諾を求めます。本ソフトウェアをインストールし、アップデートの自動確認を無効にしない場合は、ArcSoftのサーバにリクエストを自動送信してアップデートを受信することに同意したものとみなされます。

5. 保証の否認　ArcSoftは、商品性および特定目的適合性に関する黙示保証、知的財産の非侵害に関する保証などを含め（これに限定されません）、明示、黙示を問わず、本ソフトウェアについて一切の保証を行わず、本契約に明記されていないすべての保証を明示的に否認します。お客様は、本ソフトウェアの品質および性能に関する全リスクを負担するものとします。本ソフトウェアに欠陥があることが判明した場合、必要なサービス、修理または修正の全費用を負担するのは、ArcSoftまたは指定再販業者ではなく、お客様です。但し、ArcSoftに故意または重過失がある場合を除きます。

次ページへ続く

6. 限定責任　お客様の唯一の救済手段として、ArcSoftおよびそのライセンサがお客様に保証する責任範囲は、第5条に定める内容に限定されます。本ソフトウェアの使用または使用不能から生じる結果的もしくは付随的損害、出費、利益もしくは財産の逸失、またはその他の損害に関しては、たとえArcSoftまたはそのライセンサが損害の可能性を予見していた場合にも、ArcSoftおよびそのライセンサがお客様や第三者に対して責任を負うことはありません。法域によっては結果的または付随的損害に対する免責や責任制限を認めていないため、上記の制限がお客様に適用されない場合があります。

7. 輸出　お客様は、米国またはその他の国の政府から適切な許可を得ることなく、本ソフトウェアを組み込んだ製品を輸出または再輸出しないこととします。

8. 米国政府の権利の制限　お客様が米国政府の部署または機関である場合、本ソフトウェアおよび関連ドキュメンテーションはそれぞれ、適宜、DFAR Section 227.7202およびFAR Section 12.212(b)に定められた「商用コンピュータソフトウェア」「商用コンピュータソフトウェアドキュメンテーション」とみなされます。米国政府による本ソフトウェアまたは関連ドキュメンテーションの使用、改変、複製、発表、実行、表示または開示については、本契約の諸条件のみが適用されるものとし、本契約の条件によって明示的に許可されていない限り、禁止されるものとします。提供された技術データのうち、上記の規定が適用されないものについては、DFAR Section 227.7015(a)に定められた「技術データ商用品目」とみなされます。当該技術データの使用、改変、複製、発表、実行、表示または開示には、DFAR Section 227.7015(b)の条件が適用されるものとします。

9. 高リスク行為　本ソフトウェアはフォールトトレラントではなく、フェールセーフ機能を必要とする危険な環境下における使用には適していません。また、本ソフトウェアの障害が、死亡、傷害または深刻な物的損害にただちにつながる恐れがある他の用途（以下「高リスク行為」と総称します）にも適していません。ArcSoftは、高リスク行為への適用性に関する明示または黙示の保証を明確に否認します。

10. プライバシーポリシー　本ソフトウェアの登録およびアクティベーションのプロセスにおいて、お客様の氏名、電話番号、住所、Eメールアドレスなどの個人情報の提供をお願いすることがあります。ArcSoftは、お求めの製品をお届けするために必要な場合を除いては、お客様の個人情報をいかなる第三者とも共有することはなく、また、いかなる第三者に売却することもありません。

11. 使用状況の追跡　ArcSoftは、製品の使いやすさを高めるために、特定の製品機能の使用状況に関する情報を記録することがあります。匿名性を維持するため、収集する使用状況の情報には、対応する個人情報は一切含まれません。

12. ライセンスの終了　お客様が本ソフトウェアを無断で複製した場合、または本ライセンス契約の条件に従わなかった場合には、お客様の本ソフトウェアに関する権利は、直ちに、または30日以内の通知をもって終了します。本ライセンスが終了した場合、お客様は、本ソフトウェアのすべてのコピーを本ソフトウェアの入手先へ返却しなければなりません。

13. 準拠法　本製品を米国内で購入された場合は、本契約はカリフォルニア州法に準拠します。それ以外の場合は、お客様が本製品を購入された各国法または各地域法に準拠します。

Windows Mobileの製品情報について

Windows MobileおよびWindows Mobileアプリケーションについては、『マイクロソフトWindows Mobileホーム』で情報をご覧いただけます。
http://www.microsoft.com/windowsmobile/ja-jp/default.mspx

索引

索引 210

索引

あ

アイコン……22
アラーム
　仕事……61
　時計とアラーム……136
　予定表……63
暗号化……114
暗証番号……70
　デバイスロックのパスワード……70
　ネットワークサービス……70
　PIN1コード／PIN2コード……70
いつもNAVI（無料地図）……134
インターネット……92
ウィジェット……28
エクスプローラー……112
エラー報告……148
オーナー情報……45
お気に入り……93、94
音設定……136
音と通知……136
おまかせロック……74

か

学習データのリセット……170
ガジェット……23
　カレンダー……24
　切り替え……24
　世界時計……24
　Information……24
　To Do……24
カスタマー フィードバック……148
画像とビデオ……103
カメラ……100
　撮影画面の見かた……100
　撮影モード……101
　静止画撮影……102
　設定……101
　動画撮影……102
画面……139
　画面の補正……139
　文字サイズの変更……139
キー操作ロック……72
キャッチホン……173
ゲーム……132
　ソリティア……132
　Bubble Breaker……132
検索……115
検索ウィジェット……135
公共モード（電源OFF）……55
公共モード（ドライブモード）……54
国際電話……51
国際ローミングサービス……178

さ

サムネイル設定……27
事業者名表示……181
仕事……61
　オプション設定……62
　確認……62
　削除……62
　状態の設定……63
　送信……63
　登録……61
　表示方法の変更……62
　変更……62
自分の電話番号を確認……45
充電……40
受話音量……53
省電力設定……137
省電力モード……137
証明書……73
初期設定……43
ズームバー……93、101
スキャン機能……142
スクロール……32、91
スタートメニュー……29
　項目の並べ替え……30
　デザインの変更……138
ステレオイヤホンマイク……52
ストライプ設定……28
スピーカー音量……53
スピードダイヤル……50
スマートダイヤル……50
スリープモードLED設定……43
静止画……102
　再生……103
　撮影……102
　スライドショー……103
設定……186
　個人……187
　システム……186
　接続……187
ソフトウェア更新……197

た

タイトルバー……21
タスク マネージャー……36
タッチパネル……31
単語登録……170
地域……139
着信音量……53
通知音設定……137

通話時間……49
通話履歴……49
デバイスロック……52、72
　通知アイコン……73
電源ON／OFF……42
電子辞典……132
電子メール
　削除……82
　下書き……81
　受信……81
　新規作成……80
　設定……79
　転送……82
　返信……81
　保存……82
転送でんわサービス……174
電卓……132
電池パック……40
　寿命……40
　使用時間の目安……40
　電池残量の確認……42
　取り付けかた……38
　取り外しかた……39
電話帳コピーツール……61
電話を受ける……52
電話をかける……48
　スピードダイヤル……50
　スマートダイヤル……50
　発着信履歴から……49
　連絡先から……51
動画……102
　再生……104
　撮影……102
動画質設定……108
ドメインへの登録……160

な

入力モード……166
　定型文……168
　手書き検索……168
　手書き入力方式……168
　ひらがな／カタカナ方式……167
　文字一覧……168
　ローマ字／かな方式……167
　T-Keyboard入力……166
ネットワークサービス……172
ネットワーク設定……153

は

バージョン情報……148
パケット通信……152
パケット通信回線の切断……82、97
パスワード……70
バックライト……138
発信者番号通知設定……45
発信者番号の通知／非通知(186／184)…49
パワー マネージメント……137
番号通知お願いサービス……176
ハンズフリー……52
比吸収率（SAR）……200
日付／時刻の設定……44
フォルダー……112
プッシュ信号……51
ブラウザ
　設定……96
　Internet Explorer……92
　NetFront Browser……96
ブラウザ設定……96
フローティングパッド……34
フローティングパッド設定……35
プログラム……146
　インストール……146
　削除……146
ヘルプ……30
　オンライン……30
　東芝Help……30
変換辞書……169
ボイスメモ……66
　再生……67
　録音……66
　録音形式変更……67
ホーム画面……21、138
　ガジェット……23
　機能ランチャー……25
　サムネイル設定……27
　ストライプエリアの操作……25
　ストライプ設定……28
ボタン……147

ま

マスタークリア……149
マナーモード……56
マルチアクセス……189
迷惑電話ストップサービス……175
メール……78
メールグループ
　送信……59
　登録……58
メールBOX……82
　並べ替え……82
　フォルダーの作成……83
メニュー一覧……186
メニューバー……23
メモ……66
　削除……67

送信……67
手書き……66
ボイスメモ……66
文字入力パッドの入力……66
メモリ使用量……147
外部メディア……147
FOMA端末……147
モーションコントロール……31
モーションセンサー設定……34
モーションセンサー調整……34
文字入力……166

や

予定表……63
オプション設定……64
削除……65
送信……65
登録……63
表示……64
変更……64

ら

リセット（再起動）……148
リダイヤル……49
留守番電話サービス……172
連絡先……58
削除……60
送信……59、60
登録……58
登録内容確認……59
変更……59

わ

ワイヤレスマネージャー……73
ワイヤレスLAN機能……154

英字

ACアダプタ……40
ActiveSync……117
Adobe Reader LE……130
ATOK設定……169
Biz･ホーダイ／Biz･ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ シンプル……162
Bluetooth機能……158
DCアダプタ……40
Excel Mobile……125
FOMAカード……37
暗証番号……37
色の違い……37
取り付けかた／取り外しかた……37
連絡先のコピー……60
GPRS設定……153
GPS……133
外付け GPS……134
Internal GPS……134
Hotmail……87
i モード.net モバイルモード……84
Internet Explorer Mobile……92
お気に入りに登録……93
画像の保存……94
起動……92
キャッシュの削除……95
セキュリティの設定……95
データのダウンロード……95
テキストのコピー……94
ホームの設定……95
URL……92、94
Kinoma Play……104
Messenger……86
microSDカード……113
Microsoft My Phone……116
mopera U……160
NetFront Browser……96
NetFront Widgets Player……28
Office Mobile……124
OFFICEED……176
OneNote Mobile……129
PhotoBase……109
PIN1コード／PIN2コード……70
PowerPoint Mobile……128
SMS……83
作成……83
受信……83
送信……83
メールグループの登録……58
Stripe Menu……21
Today画面……28
UIMマネージャー……60
USBホスト機能……115
USB to PC……114
VideoEditor……109
VPN……154
Wi-Fi設定……156
Windows Live……84
Windows Liveメール……87
Windows Marketplace for Mobile……135
Windows Media Player……105
Windows Mobileデバイスセンター……117
Word Mobile……124
WORLD CALL……51

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き
※ご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合
携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
・航空機内　・病院内
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード】→P.56
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します。

【公共モード（ドライブモード／電源OFF)】→P.54、P.55
電話をかけてきた相手に、運転中または通話を控える必要のあるような場所にいるか、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスで応答します。

【バイブ】→P.54、P.56
電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収・リサイクルに出しましょう。

T-01Aに関するお問い合わせ〈ドコモ・スマートフォン・ケア〉

0120-045-360
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
受付時間：午前9：30～午後9：00

smartphonecare@nttdocomo.com
ドコモスマートフォンサイト　http://smartphone.nttdocomo.co.jp/

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）**113**（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。
■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号（表1）**-81-3-5366-3114***（無料）
*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※T-01Aから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）**-800-0120-0151***
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P.180をご覧ください。

海外での故障に関して〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号（表1）**-81-3-6718-1414***（無料）
*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※T-01Aから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）**-800-5931-8600***
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P.180をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客さまが購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口にご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

Li-ion 00
環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

PRINTED WITH SOY INK
Trademark of American Soybean Association
この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　株式会社東芝

'09.11（1.3版）
Printed in China